令和９年度

東京都立高等学校に
入学を希望する皆さんへ



東京都教育委員会

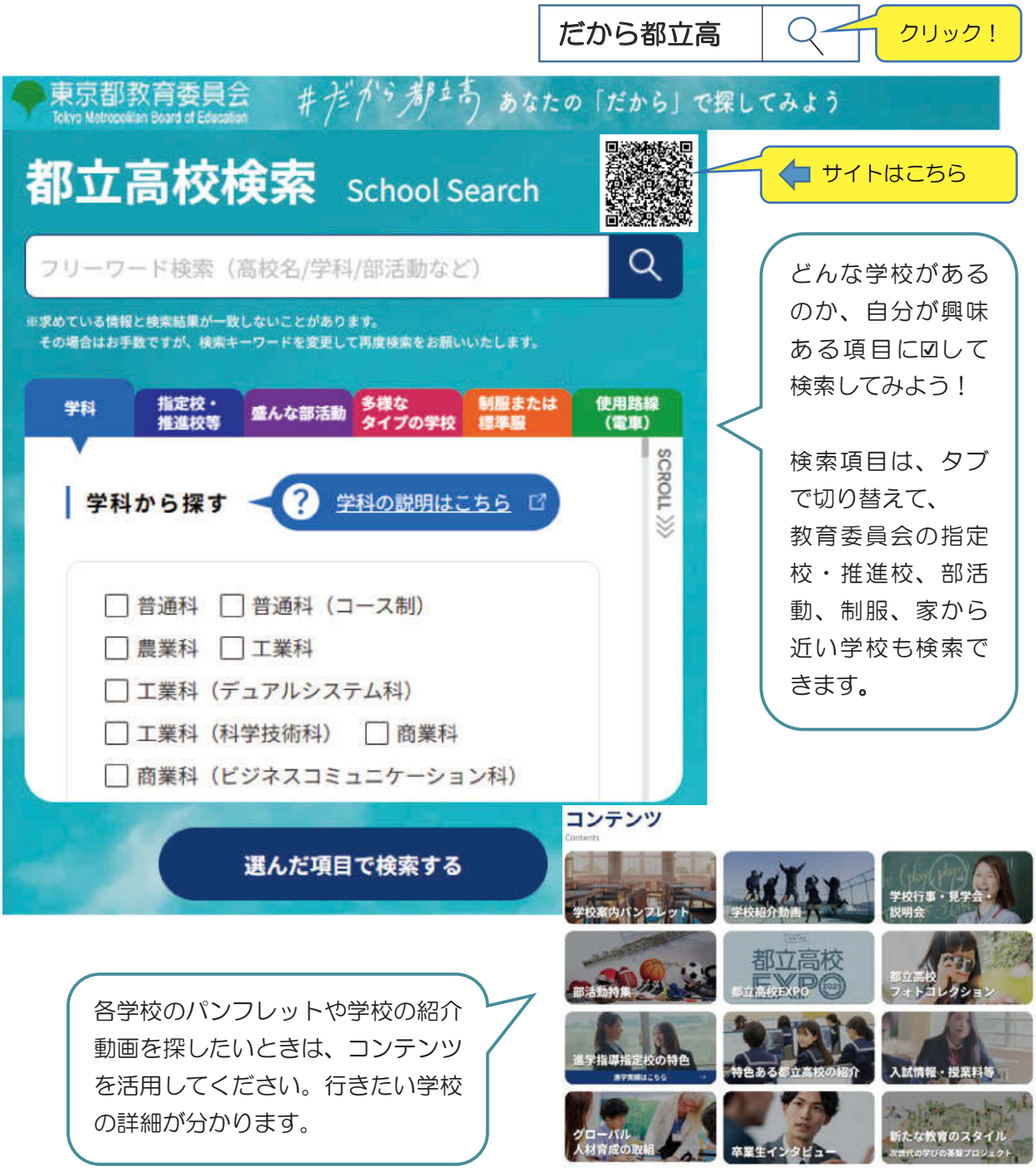
《本冊子の活用について》

この冊子は、都立高校へ入学を希望する皆さんが、自分自身で中学校卒業後の進路を考えたり、中学校の先生や保護者の方々に進路について相談したりする際に活用できるよう作成したものです。

都立高校の入試の日程や仕組み、都立高校の種類と内容など、役立つ情報を掲載しましたので、ぜひ活用してください。

なお、この冊子に掲載の情報は、変更になる場合があります。令和９年度入試等の詳しい情報は、「東京都立高等学校募集案内」（１０月下旬発行予定）でお知らせします。

東京都教育委員会は、行きたい学校を見付けるための検索サイトを用意しています。



目　次

令和９年度入試の日程

1　都立高校の特色・魅力 …… 1
2　都立高校等の種類と内容
　課程 …… 16
　学年制と単位制 …… 16
　都立高校の学科 …… 16
3　専門高校（職業学科）の紹介
　専門高校（職業学科）の一覧 …… 20
　農業 …… 21
　工業 …… 23
　工業（デュアルシステム） …… 25
　科学技術 …… 26
　ビジネス・商業 …… 27
　ビジネスコミュニケーション …… 28
　情報 …… 28
　産業 …… 29
　水産（海洋国際） …… 30
　家庭 …… 31
　福祉 …… 32
4　総合学科の高校の紹介 …… 33
5　その他の学科の高校の紹介
　理数 …… 34
　芸術 …… 35
　体育 …… 36
　国際関係 …… 37
6　多様なタイプの学校の紹介
　チャレンジスクール …… 38
　エンカレッジスクール …… 39
　昼夜間定時制高校 …… 40
7　特色ある教育活動を行う学校の紹介
　進学指導重点校、進学指導特別推進校 …… 41
　進学指導推進校、進学指導研究校 …… 42
　進学指導等の充実事業推進校 …… 43
　東京サイエンスハイスクール、理数研究拠点校 …… 44
　Tokyo-IBLハイスクール、チーム・メディカル …… 45
　Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20、
　Tokyo Metropolitan Global Education Network School for English Education
　…… 46
8　コースを設置する普通科高校の紹介
　普通科コース …… 47
9　島外生徒受入選考を活用した島しょの都立高校への進学について …… 48
10　都立高校の入試の仕組み …… 49
11　インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査について …… 53
12　調査書の記載 …… 54
13　マークシート方式による学力検査 …… 58
14　在京外国人生徒等対象の入試について …… 60
15　都立高校入試　インターネット出願について …… 61
16　都立高校の入試についてＱ＆Ａ …… 62
17　入学考査料及び授業料等について …… 70
18　都立高校への転学・編入学について …… 72
19　都立高等学校一覧 …… 74
　都立高等学校等の配置図（令和８年度） …… 78
20　受検上の配慮について …… 80
【参考】入学後の合理的配慮について …… 81
【参考】都立特別支援学校高等部の入学相談及び入学者選考について …… 81
【参考】東京都立産業技術高等専門学校について …… 82

令和９年度入試の日程

推薦に基づく入試

全日制

※定時制の新宿山吹高校（情報科2・4部）でも、全日制と同じ日程で、推薦に基づく入試を実施します。

志願者情報入力期間
１２月１８日（金）
～1月１８日（月）午後5時
書類提出期間
１月８日（金）～１月１８日（月）

個人面接、集団討論、実技検査等：１月２６日（火）、１月２７日（水）

合格発表　２月２日（火）

在京外国人生徒等対象、ＩＢコースの入試

在京外国人生徒等対象（国際高校以外）

入学願書受付　1月20日（水）・21日（木）

作文・面接　１月２６日（火）

合格発表　２月２日（火）

国際バカロレア（ＩＢ）コース（国際高校）

志願者情報入力期間
１２月１８日（金）
～1月１８日（月）午後5時
書類提出期間
１月８日（金）～１月１８日（月）

英語運用能力検査等：１月２６日（火）、１月２７日（水）

合格発表　２月２日（火）

学力検査に基づく入試（第一次募集・分割前期募集、通信制（前期選抜））

全日制

志願者情報入力期間
１２月１８日（金）～2月4日（木）午後5時
書類提出期間
１月２９日（金）～2月4日（木）

取下げ　2月10日（水）

再提出　2月12日（金）

定時制のうち、以下の昼夜間定時制高校では、出願後の取下げ・再提出により志願変更ができます。
【志願変更ができる高校】
六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校、立川緑高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校、砂川高校

学力検査　２月２１日（日）

合格発表　３月　１日（月）

定時制

（全日制と同じ）

通信制（前期）

通信制課程を設置する一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校のうち、いずれか１校に出願することができます。
また、通信制前期選抜と全日制や定時制の第一次募集の両方を志願することはできず、志願変更もできません。

学力検査　２月２２日（月）

（合格発表　３月　１日（月））

帰国・引揚生徒対象、在京外国人生徒等対象の入試

帰国・引揚生徒対象

志願者情報入力期間　※帰国
１２月１８日（金）
～2月4日（木）午後5時
書類提出期間　※帰国
1月29日（金）～2月4日（木）

入学願書受付　※引揚
2月4日（木）・5日（金）

取下げ　2月10日（水）

再提出　2月12日（金）

学力検査　2月15日（月）

合格発表　2月17日（水）

在京外国人生徒等対象（国際高校）

志願者情報入力期間
１２月１８日（金）
～2月4日（木）午後5時
書類提出期間
1月29日（金）～2月4日（木）

作文・面接　2月15日（月）

合格発表　2月17日（水）

帰国・引揚生徒対象又は在京外国人生徒等対象（国際高校）の志願者は、一般の都立高校の第一次募集・分割前期募集等にも出願できます。ただし、帰国・引揚生徒対象又は在京外国人生徒等対象（国際高校）に合格した場合、それ以後の都立高校の受検はできません。

学力検査に基づく入試（分割後期募集・第二次募集、通信制（後期選抜））

全日制

入学願書受付　３月　４日（木）

取下げ　３月　５日（金）

再提出　３月　８日（月）

学力検査　３月　９日（火）

合格発表　３月１２日（金）

※在京外国人生徒等対象の入試、国際バカロレアコースの入試（国際高校）、帰国・引揚生徒対象の入試においては、第二次募集を実施しません。

定時制

定時制のうち、以下の昼夜間定時制高校では、全日制第二次募集と同じ日程で分割後期募集を実施します。
【分割後期募集を行う昼夜間定時制高校】
一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校（一般枠）、砂川高校

入学願書受付　３月２５日（木）

学力検査　３月２６日（金）

合格発表　３月２９日（月）

通信制（後期）

学力検査の日程が異なるため、一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校にそれぞれ出願することができます。

入学願書受付　４月　１日（木）・２日（金）

学力検査　４月　４日（日）※一橋高校
４月　５日（月）※新宿山吹高校
４月　６日（火）※砂川高校

合格発表　４月　９日（金）

※「インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査」は、全日制の第二次募集と同じ日程で実施します。ただし、志願変更はできません。
また、分割募集を実施する都立高校においては、追検査を実施しません。
追検査についての詳細は５３ページを御覧ください。

1 都立高校の特色・魅力

都立高校には、魅力ある先進的な取組がいっぱい！
ここではその特色ある取組の一部を掲載しています。

海外留学等

次世代リーダー育成道場

○都立学校に通う生徒を対象に、他者と協働しながら地球規模の課題等の解決に向けて貢献する人材を育成する事業です。
○留学先は、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカ合衆国、カナダを予定しており、約 11 か月間のホームステイをしながらホストスクールに通います。
○理数や STEAM 教育等の専門性が高く特色ある教育が受けられる学校が集まる地域に留学できるアドバンストクラスがあります。
○留学前の事前研修で、学術的知識や能力、リーダーシップ、グローバルマインド等を身に付けます。
○帰国後の事後研修で、次世代リーダー育成道場修了生として、その成果を東京都に還元します。

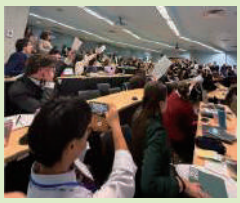


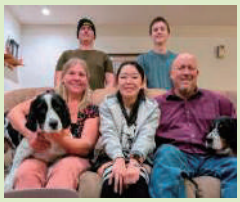
【事前研修の様子】


ゼミナール研究発表


生け花体験

【留学中の様子】


ホストスクールでの
授業の様子


ホストファミリーとの生活

修了生の声



高校で留学すると、早くから広い世界を知り、たくさんの選択肢に挑戦できる時間があります。

これまでとは全く違う環境で生活することで、様々な生き方を知り、高校卒業後の進路を考える参考になりました。



よくある質問

どのような学校の生徒が、参加していますか。

これまで、全日制・定時制の普通科、農業科、工業科、ビジネス科、産業科、水産科、芸術科、国際学科、総合学科といった多様なタイプの学校から生徒が参加しています。

日本の在籍校での進級や卒業の扱いはどのようになりますか。

留学の期間は、「留学」の扱いにできるため、ホストスクールで修得した単位を所属校の単位に振り替え、入学時の学年で進級や卒業が可能です。

海外の大学に進学する修了生はどのくらいいますか。

約 12 人に1人が海外の大学に進学しています。
※H25からR3までに卒業した修了者数

都立高校における国際交流

◆世界を知ろう、世界で学ぼう、自分の世界を広げよう◆

東京都教育委員会では、グローバル人材を育成する取組の一環として、国際交流に力を入れています。
都立高校では、以下のほかにも、学校独自の取組など、様々な国際交流を実施しています。

派遣　＜３週間留学＞都立高校から世界へ　＜１週間派遣＞様々な国での海外体験

都立高校生「Global Challenge」

全都立高校及び中等教育学校後期課程の生徒が、「３週間」の海外留学に参加し、海外で通用する英語力等を鍛えます。

＜令和８年度派遣予定国＞

オーストラリア、カナダ、ニュージーランド



<現地校での授業体験>

都立高校生「Global Visit」

実践的な国際交流により、「豊かな国際感覚」を醸成し、現地の高校生と文化体験や共生社会に関する意見交換などを行い、交流を深めます。

＜令和８年度派遣予定国＞

インドネシア、イギリス、トルコ他、９カ国



<現地生徒との交流>

受入　校内や都内での海外留学生との交流

東京グローバルフレンドシッププログラム

海外留学生を学校に受け入れて、相互に学校生活や文化を紹介し、異文化理解と交流を深めます。

＜令和８年度受入予定国＞

オーストラリア、カナダ、フランス他、７カ国



<各授業での体験・交流>

＜海外派遣に参加した都立高校生の声＞

○現地高校での交流を通して、学びたいこと、身に付けたいこと、なりたい自分像が明確にある同年代から刺激を受けた。様々なことに挑戦し続けたい。

○英語を使ってコミュニケーションをとることの重要性を実感したことに加え、現地の言葉を使うことで、相手との距離が近くなることも実感できた。

○世界を舞台に活躍されている、日本大使館や日本企業の方々からの講話を聞き、自分自身の進路を改めて見つめ直し、深く考える素晴らしい機会となった。

派遣の様子は、こちらの動画を御覧ください。

オンライン英会話

◆「使える英語力」を身に付けよう◆

グローバル人材の育成に向けた「使える英語力」の強化を目指し、「聞く」「話す」活動を中心に個々の生徒のコミュニケーション能力の伸長を図るため、ネイティブ講師との１対１での対話によるオンライン英会話を実施しています。令和５年度から都立高校及び中等教育学校全校に取組を拡大しています。

○英会話の内容例

・教科書の内容を題材にした会話
・スピーチやプレゼンテーションに向けた練習
・資格検定試験のリスニング・スピーキング対策
・国際交流行事や海外修学旅行等に向けた会話の練習　等



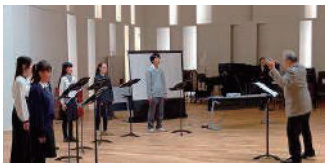
<三田高校：授業でのオンライン英会話活用の様子>

得意な分野（理数・芸術）の才能を伸ばす特別プログラム

理数・芸術分野に興味・関心の高い生徒を対象として、著名人による講演会や研究機関等見学（理数）、演奏会鑑賞・美術館等見学（芸術）、大学教授等による指導等、高度な教育プログラムを構築し、国内外で活躍する科学者・研究者・芸術家の育成を目指します。

（参加した高校生の声）

・（理数）研究の仮説の考え方や専門的な知識など、高校では学べない深いところまで知ることができた。
・（芸術）自分を表現する方法はたくさんあるということを知り、創作意欲が湧いた。

（写真は昨年度のプログラムの様子）

一人１台の学習者用端末

都立高校の生徒は、一人１台の学習者用端末（スマート・スクール端末）を毎日の学習や学校との連絡など、高校生活に不可欠なツールとして使います。



授業で使用する資料の配布やレポートの提出はスマート・スクール端末を通して行われます。学校からの連絡、委員会や部活動の情報交換などにおいても使われます。

自宅では、授業で課されたレポートや、自らテーマを設定する課題研究の論文などに取り組むために使用します。調べたことを発表するための資料を整えたり、スライドを作成したりすることもあります。



スマート・スクール端末は、生徒自身が管理します。使いやすくなるよう、自分の端末をカスタマイズすることができます。勉強に役立つものなど、必要なアプリ・ソフトウェアをインストールできます。

この端末は、都立高校の生徒にとって、高校生活を充実させるマストアイテムです。

都立高校への入学時に、学習者用端末（スマート・スクール端末）の準備が必要です。

都立高校では、教育活動のあらゆる場面において、高校段階の学びにふさわしい生徒所有の一人1台の端末を活用することにより、一人一人の力を最大限に伸ばしていきます。

端末の購入には、東京都から支援があり、保護者負担額は原則3万円です。

令和８年度入学生の端末購入にかかる保護者負担額は、以下のとおりです。

（令和９年度入学生に対する支援内容については今後決定します。）

保護者負担額※　30,000円	東京都支援額

端末価格

※　扶養する２３歳未満の子等が３人以上いる世帯や給付型奨学金受給対象世帯については、保護者負担額を更に軽減する制度があります。（給付型奨学金については７１ページ参照）
詳細は、以下のリンクを御参照ください。

端末購入支援金について	https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/admission/tuition/tuition/device_monetary_assistance

令和９年度入学生向け支援の詳細は、上記ホームページにて随時お知らせします。

【問い合わせ先】　東京都教育庁企画部デジタル推進課　　電話　03（5320）7867（代表）

都立工科高校

都立工科高校は、実践的なものづくり技能の習得の促進に加え、デジタルスキルやグローバルスキルの習得に向けた支援が充実しており、生徒一人一人が多様な進路を実現できるようにサポートしていきます。

1　ものづくり技能の習得支援

実践的なものづくり技能の習得を促進する「資格取得アシスト制度」

工業系分野の資格取得にチャレンジする生徒を支援するため、都立工科高校では、資格の取得にかかった費用が最大半額補助されます。

2　デジタルスキルの習得支援

「プログラミング教材」「ITパスポート講座」「デジタルスキル特別講習」

AIやIoTなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化する中でも活躍できるよう、プログラミングなどの実践的なデジタルスキルの習得に向けた取組が充実しています。

＜実施講座＞　プログラミング講座（Python等）、ITパスポート検定対策講座、デジタルスキル特別講習
（①アプリ制作、②Web制作、③プログラミングスキル、④ゲーム制作）

3　グローバルスキルの習得支援

民間事業者を活用した「英検講座」

グローバル化が進む社会において活躍できるよう、ビジネス現場で必須となる「使える英語力」の育成に力をいれていきます。実用英語技能検定の受験対策の指導を通じて、実用性の高い英語の技能習得を支援します。

＜実施講座＞　英検3級・準2級・2級・準1級、中学英語の復習講座　※英検講座については、二次試験対策も含む

4　大学等の進学支援

民間事業者を活用した「ライティング講座」

都立工科高校は理工系大学等への進学に向けた支援も充実しています。

＜実施講座＞　ライティング講座（大学進学希望者向けの総合型選抜試験対策としての小論文作成）

令和７年度の学科改編

六郷工科高等学校　ものづくり工学科



既存の学科を1つの学科に統合し、学びたい科目を選び教科等横断的に学習する学科になりました。1年次は機械・自動車・電気・情報・デザインを学習します。2年次以降は選択した科目を学習し、専門的な知識・技術を身に付け、これからの「ものづくり業界」で活躍できる人材を育成していきます。

●新たな学科の特色

・「好きを究める授業が選べる」をキャッチフレーズに、単位制の強みを生かした自身が学びたい科目を教科横断的に学習します。
・幅広い工業分野に関する総合的な専門知識を身に付け、就職だけでなく総合型選抜試験を活用し、理工系大学や美術系大学の進学を目指すことができます。

(学校HP)

令和６年度の学科改編

社会の変化に合わせ、既存の工業系学科を先進的な学科へとリニューアル（改編等）しました。

中野工科高等学校　**食品サイエンス科**（エンカレッジスクール）

＜食品工業 × 工業化学 × デザイン＞

豊かな食文化を誇る**日本の「食」**を工業的に捉え、調理・製造や分析、デザイン等の観点からアプローチし、これからの食産業の発展を推進できる人材を育成していきます。安心・安全で「ありがとう」、「おいしい」の顧客ニーズに応えられるものづくり教育を目指しています。



レトルト殺菌装置

●学びの特色

都立工科高校唯一の**「食品工業」**が学べる学校として、健康の維持・増進、疫病予防に期待のかかる食品について、学習していきます。

●卒業後の進路

「食品工業」の学びを生かし、食品メーカーや飲食店、外食産業などへの就職や、専門的な技能・技術を更に磨いていくための進学を支援します。

（学校HP）

北豊島工科高等学校　**都市防災技術科**

＜防災教育 × 工業技術＞

防災に関する様々な技術を工業的に捉え、災害時の避難所支援や地域復興など人的なものだけではなく、社会環境（インフラ関係）の整備に尽力できる人材を育成していきます。



ドローン操作

●学びの特色

予測不能な災害への備えや様々な災害での対応などを「探究活動」を通して、学習・体験し、各課題を分析します。そこから解決方法を学び新たな備えに対して立案する学習を行います。

●卒業後の進路

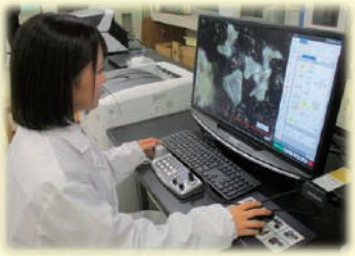
様々な職種への就職や専門学校・大学への進学を支援します。また、地域防災に関わる公務員を目指す生徒をサポートしていきます。企業等において**「防災」**を意識し、災害時に自分で考え、行動できる職業人を輩出していきます。

（学校HP）

杉並工科高等学校　**ＩＴ・環境科**

＜ IT × 環境＞

ITスキルと**環境リテラシー**を兼ね備え、ITを活用して、環境問題など社会の課題を解決に導く人材を育成していきます。



課題研究の様子

●学びの特色

全員がITと環境について学び、体験型・課題解決型の教科横断的な学習を通じて幅広い教養を身に付け、これからの社会に必要となる専門的な知見を深めることができます。

大学と連携した学びの取組で、高校の学びの先に大学の学びがあることが意識できます。

●卒業後の進路

進学重視型の学校として、高校での専門的な学びを生かし、四年制大学への進学を目指します。目的意識をもって進学することで、大学での学びを更に充実させることができます。

（学校HP）

都立工科高校
ドリーム・フェスタ2026

都立工科高校が一堂に会し、在校生と交流できるイベントを実施します。
工科高校の魅力が分かるステージイベントの開催、ものづくり体験やドローン操作等の最新デジタル技術を体験することができます！

日時

令和８年８月２日（日）
１０：００～１７：００

開催場所

新宿住友ビル　①三角広場、②住友ホール（新宿区西新宿２－６－１）
「西新宿駅」徒歩４分（丸ノ内線）
「都庁前駅」駅直結（大江戸線）
「新宿駅」徒歩８分（JR線・小田急線・京王線）

公式Webサイト

入場料

無料
※公式Webサイトで事前受付をしていただくとスムーズな入場が可能です。

主なイベント内容

●工科高校PRタイム
各校の生徒が動画やプレゼン等で自校の魅力を発信します！

●体験・実演コーナー
在校生と交流しながら、ものづくりやデジタル技術の体験ができます！

●工科高校ブース
在校生や先生に各校の特色などの話を聞くことができます！

（写真は昨年度のイベントの様子）





イベントにはタレントなども参加し、会場を盛り上げます。
工科高校に興味・関心がある方のご参加お待ちしています！

都立農業系高校

都立農業系高校は、民間教育機関と連携した講座等の実施や農業等関連資格取得の補助により、実社会や進学先で必要となる実践的なスキルを習得できるように支援していきます。

1　職場体験（アグリジョブキャンプ）

民間企業等と連携した「職場体験」

農業に関する企業での職場体験を通して、ビジネスマナー・コミュニケーションスキルを習得するとともに、農業分野の学びを生かす力を身に付け、進学先や将来の職業選択の可能性を広げます。

2　農業等関連資格取得の補助

専門知識を深める農業等関連の「資格取得支援制度」

スキルアップやキャリアアップに意欲のある生徒を支援するため、都立農業系高校では、農業系分野の資格取得にかかった費用が最大半額補助されます。

【対象資格例】　日本農業技術検定２級、生物分類技能検定３級、料理検定２級など

3　グローバルスキルの習得支援

民間事業者を活用した「英検講座」

実用英語技能検定の受験対策の指導を通じて、生徒が実用性の高い英語の技能の習得を図り、グローバル化が進む社会において活躍できるように支援します。個人のレベルに合わせて準２級～準１級に対応しており、二次試験（面接）対策コースも設置されています。

講座名	講座内容	開催形式
一次試験対策	英検準２級、２級 及び準１級の講座	対面 オンデマンド
二次試験対策		対面 オンライン オンデマンド



<フラワー技能士検定>



<農業高校重機免許取得>

スキルアッ

■「スキルアップ推進校」では、
リアプログラム）の実施によ
実践的なスキルを習得でき
■ 高校３年間のキャリアプロ



ジョブキャンプ

興味・関心のある分野での職場体験を通じて、ビジネスコミュニケーションスキルを習得するとともに、進学先や将来の職業選択の可能性を広げます。

講座名・内容

■職場体験

都内約３００社から、興味のある企業を選択して職場体験を行います。

■ビジネスマナー研修

経験豊富なプロ講師による、ビジネスマナー研修を受講します。



職場体験の様子
（酒造業）

デジタルスキル講座

オフィスソフトの基礎講座からプログラミング基礎まで、デジタル知識や技能を習得します。

講座名・内容

■オフィスソフト基礎・応用講座

基礎的な操作から実践的なテクニック、資料作成方法までを学びます。

■プログラミング基礎

プログラミングの基礎知識や各種ツールを学び、アプリ等を作成します。

スキルアップ

大森高校	蒲田高校
田柄高校	光丘高校
多摩高校	野津田高校
羽村高校	秋留台高校
大山高校	忍岡高校

プ推進校

民間事業者の多様な講座等（キャリ、実社会や進学先等で役立つます。
グラムで大きく成長しよう！



推進校 20 校

深沢高校	板橋有徳高校
青井高校	足立東高校
東村山高校	武蔵村山高校
五日市高校	八潮高校
葛西南高校	久留米西高校

グローバルスキル講座

実用英語技能検定（英検）対策講座

英検受験対策の指導等を通じ、実用性の高い英語の技能を習得し、大学やビジネスの現場等で求められる語学力を養います。

講座名・内容

■一次試験対策講座
４級から準１級までの対策講座

■二次試験対策講座
３級から準１級までの対策講座

使える英語力講座

TGGでの英語体験プログラムを通じて、英語を使う楽しさや必要性を体感し、学習意欲を高めます。

講座名・内容

■WORLD CULTURE QUEST
多国籍のイングリッシュスピーカーへのインタビューを通して、世界の文化や習慣を学びます。

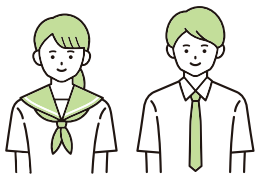
■GLOBAL QUIZ CHALLENGE
世界の多様性に関するパネルクイズを通して、多文化理解を深めます。

TGGとは株式会社TOKYO GLOBAL GATEWAYが提供する、海外をイメージした街並みでグローバルな世界を体験できる英語学習施設です。



TGGでの体験風景
（五日市高校）

ビジネス人材育成推進校



■東京都教育委員会は、商業高校１０校を「ビジネス人材育成推進校」として指定し、民間事業者の多様な講座等の受講を通じて、生徒が実社会や進学先等で役立つ実践的なスキルを習得できるようにしています。

■高校３年間の在学中に、ビジネスの現場や大学等で求められる「デジタルスキル」や「使える英語力」、職場体験を通じた「ビジネスコミュニケーションスキル」などをしっかり身に付けて、大きく成長しよう！

ビジネス人材育成推進校（商業高校 10 校）	●芝商業高校　●江東商業高校　●第三商業高校　●第一商業高校 ●第四商業高校　●葛飾商業高校　●第五商業高校　●大田桜台高校 ●千早高校　●足立高校（定時制）

1 簿記・会計等講座

日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）対策等の指導を通じて、実用性の高い知識や技能を習得します。

講座概要

資格取得のための効果的な教材を使用し、実用性の高い知識や技能を学べる講座

講座名・内容	開催形式
■日商簿記３級・２級・１級 ■ファイナンシャル・プランニング技能検定３級・２級 ■税理士試験（簿記論・財務諸表論） ■証券アナリスト ■ビジネス実務法務検定３級・２級　等	オンデマンド

2 デジタルスキル講座

講座概要

実践的なデジタルスキルを身に付けることを目的にITパスポート試験対策講座及びプログラミング基礎を学べる教材の配布を実施

講座名・内容	開催形式
■ITパスポート試験対策講座 問題演習や模擬テスト等の実施により、実践的に学習できる講座	オンデマンド
■プログラミング基礎 プログラミングに関する基礎的な内容や各種ツールを学べる内容	オンデマンド

3 グローバルスキル講座

講座概要

グローバル化が進む社会で活躍できるよう、ビジネス現場で必須となる「使える英語力」の育成に力を入れ、実用英語技能検定の受験対策の指導を通じて、生徒が実用性の高い英語の技能を習得できるよう支援

講座名	講座内容	開催形式
一次試験対策	英検３級・準２級・２級・準１級の講座	対面 オンデマンド
二次試験対策	英検３級・準２級・２級・準１級の講座	対面 オンライン オンデマンド

4 職場体験・特別プログラム

商業の専門的な学びを生かし、興味・関心のある分野・企業での職場体験を行います。ビジネス人材育成推進校では１週間程度の特別プログラムも実施します。
ビジネスマナー・コミュニケーションスキルを習得するとともに、進学先や将来の職業選択の可能性を広げます。

職場体験の目標

将来の目標に向けて、進学先や就職先等を考えるきっかけに！
高校３年間で３つの業界体験を予定

体験申込

体験先を企業約 300 社から選ぶ

●６つのテーマ

食べる　もてなす　創る
支える　楽しむ　届ける

●多様なプログラム

座学　ディスカッション
体験　提案

２つ以上を組み合わせたプログラム

１日目

ビジネスマナー研修を受講

経験豊富な講師によるビジネスマナー・体験先企業の業界研究等の研修を受講

２・３日目

職場体験に参加

どんな仕事をしているかの体験や、希望の業界に進むために身に付けるべき知識・スキル等の気付きの整理

特別プログラム

１週間程度の特別プログラムを実施

●商業高校での学びを生かしたプログラム
●「体験」を必ず実施

１日目

ビジネスマナー研修を受講

２～５日目

企業でのプログラムに参加

東京都が目指す「次世代の学びの基盤プロジェクト」
～「新たな教育のスタイル」の確立に向けて～

これからの世界は、政治や経済の複雑化や変化の加速などにより、一層予測が困難になります。

AIやロボット、IoTなどの技術が浸透し、誰もがあらゆる知識や技術に、いつでも・どこでもアクセスできる時代です。

こうした中で、これからの教育では、予測できない状況に柔軟に対応できる力を伸ばし、世界で生き抜く人材を育成することが必要です。



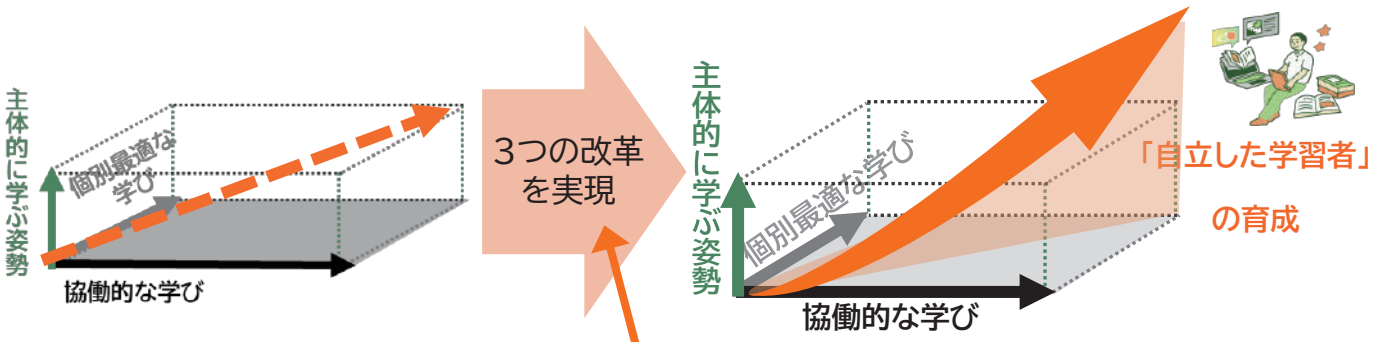
東京都は

AI × **グローバル・リーダー** **の力を結集して、**

「自立した学習者」　を育てます！

➢自分で学び方を選び、考え、決める力を身に付け、みんなで協力して課題を解決できる人を育てます。

「**自立した学習者**」の育成に向け、**３つの改革**を実施しています！



「AI」と「グローバル・リーダー」の力を結集

① DXによる学びの改革	デジタルとリアルの最適な組み合わせ
② 教員と組織の改革	教員の役割や組織のあり方の改善
③ 制度の改革	学習内容や方法、単位の認定等の柔軟な運用

国際金融と国際バカロレアを学ぶ学校

令和１０年４月、国際金融と国際バカロレアを学ぶ、新しい都立高校が生まれます。

国際金融を軸にした学びと、探究を重視する国際バカロレア教育を通して、国公立大学や難関私立大学、海外大学等への進学を実現するために必要な学習に取り組みます。（全日制・学年制・普通科）

校名については、今後公表いたします。（現在の第一商業高校を改編し、新たな高校へとリニューアルします。）

新たな高校の特徴は？

次の二つのコースを設置する予定です。

① グローバル・ファイナンスコース（仮称）

○ 国際金融を体系的に学ぶ

経済や金融の仕組みを基礎から学び、国際社会の中でどのようにお金や経済が動いているのかを学ぶことで、社会や企業の活動を多面的に捉える力を身に付けます。

○ 数学・英語等を「国際金融のツール」として学習するカリキュラム

国際金融の学びに不可欠な数学的思考力や英語力を重点的に育成します。統計の基礎に基づくデータ分析や、世界とつながる英語の学習を通じて、大学進学等に必要な学力を身に付けます。

② 国際バカロレアコース（仮称）

○ 日本語による国際バカロレア（ＩＢ）ディプロマプログラム（ＤＰ）

多様な価値観を尊重しながら学ぶことで、国際社会で必要とされる視野と姿勢を身に付けます。本コースでは一部の科目を日本語で学ぶ国際バカロレア（ＩＢ）ディプロマプログラム（ＤＰ）を実施します。探究的な学習を通して、課題を設定し、調査・分析・考察を行い、自分の考えを論理的に表現する力を養います。ディスカッションや協働的な学びを重視することが特徴です。

> 国際バカロレア（ＩＢ）ディプロマプログラム（ＤＰ）とは・・・
> 国際バカロレア機構が認定した学校で指定のプログラムを学び、世界共通の統一試験に合格することで、国際的に認められる大学進学資格（フルディプロマ）を取得できる仕組みです。

※　上記の内容は検討中のため、変更となる可能性があります。
入試に係る情報については、令和８年の秋頃に公表する予定です。

新たな受入環境充実校の設置（深沢高校の改編）

令和８年４月　深沢高校が新しく生まれ変わりました。

困難を抱える生徒を含め、生徒の多様性に幅広く対応できる学校として、柔軟できめ細かな教育課程や教育相談体制を充実させた新たなタイプの高校（全日制・単位制・普通科）へとリニューアルしました。

新たな深沢高校の特徴は？

○ 柔軟な登校時間

自分の学び方に合わせて、登校時間を８時４０分から１０時３５分までの間で選択することができます。

○ 多様な選択科目

必修科目（全員が学ぶ授業）と選択科目があります。必修科目は大学進学にも対応し、選択科目は、自分の興味・関心、進路等に応じて多様な科目の中から選択することができます。

《選択科目の例》ベーシック国語・数学・英語、歴史対話、アドバンス理科、スポーツⅡ基礎、ハングル、フードデザイン、プログラミング入門、日本の伝統・文化、哲学対話Ⅱ　等

○ きめ細かな指導

習熟度別の少人数指導など、学習状況に応じてきめ細かな指導を受けることができます。

（時間割例）

朝	8:40～ 9:30	選択科目等	1限
	9:40～10:30	選択科目等	2限
コアタイム	10:35～10:40	SHR	
	10:45～11:35	必履修科目等	3限
	11:45～12:35	必履修科目等	4限
	12:35～13:15	昼	
	13:20～14:10	必履修科目等	5限
	14:20～15:10	必履修科目等	6限
	15:15～15:30	SHR	
夕	15:35～16:25	選択科目等	7限

○ 教室以外でも学習できる環境

学校の教室以外の場所でオンデマンド教材等を活用して学習し、単位認定につなげる取組を試行的に実施します。

○ 充実した相談体制

スクールカウンセラー等の専門家が校内に常駐しますので、悩み事を相談しやすい体制が整っています。

○ 新たな入試方法の導入

中学校で不登校経験等がある生徒にも配慮した入試方法を導入します。具体的には、学力検査の得点と調査書点の比率について、受検者の得点として７：３と１０：０のどちらか高い方を採用して選考します。

Tokyo IBL(Inquiry-Based Learning) Project Scope【TIPS】

東京都教育委員会は、全ての都立高校等を対象に、Tokyo IBL Project Scope (東京IBLプロジェクトスコープ・通称TIPS「ティップス」)を展開し、探究学習を推進しています。

*IBL…Inquiry-Based Learning (探究学習) の略

全ての都立高校は Type2 からType4 までのいずれかの活動を行い、各校の探究学習を深めます。

※Type1は個人単位での申込み

また、各校が学習の成果を広く発信し、都立高校同士で成果を共有して探究学習の深化を図り、「チーム都立」として都立高校全体の魅力と価値を向上させるイベント「TIPS Forum (ティップス・フォーラム)」を１２月に開催します。

TIPS の各Type について

都教育委員会が実施・提供するプログラム

TIPS-Type1【生徒が個人で参加】

■**企業連携型**： 交通、アパレル、報道 等 ※R７実績

■**大学連携型**：東京大学、東京都立大学、電気通信大学、東京外国語大学、東京農工大学 等

・大学ごとに計画したプログラム(大学進学系)

・特定の分野に特化したプログラム(得意な才能)

■**東京の教育資源活用型**

森林・林業、海洋・水産業を活用したプログラム

■**産業教育型**：東京マイスターアカデミー

■**TokyoLaboBase プログラム**

都立高校科学技術科・農業科の資源を活用し、普通科と専門学科が協働して研究する環境の提供

TIPS-Type２【学校が選択して実施】

■**年間プログラム**

年間を通した探究のプロセスを経験するプログラムを実施することで、学校全体の探究的な学びの質を向上

■**短期プログラム**

学校の探究学習指導計画の中のあるテーマについて、企業等の人材やプログラムを活用して探究

学校が計画・実施するプログラム

TIPS-Type３【研究指定校等】

■**東京都独自科目活用校**〔商業系高校〕

■**高大連携教育プログラム**〔連携指定校〕

■**海外探究フィールドワーク指定校**

■**理数教育プログラム**〔理数に係る各指定校〕

■**Tokyo-IBL ハイスクール**

指定校間で連携した協働的な探究学習の推進

TIPS-Type４【学校独自プログラム】

■**専門学科を含む高校の新たな学びによる授業改善サポート**

専門高校が企業、地域、大学等と連携して最新の知識や研究を学ぶ機会の拡充及び外部専門家を活用した探究的な学びの推進

■**普通科高校等の探究サポート**

研究活動や論文作成等を指導・助言する大学等の外部人材を活用した生徒の探究活動の支援

TIPS Forum について

都立高校生による探究学習の成果発表会を開催します。

〇開催日　令和８年１２月１９日 (土)

〇開催場所　有明ＧＹＭ－ＥＸ
〒135-0063 東京都江東区有明一丁目１０－１

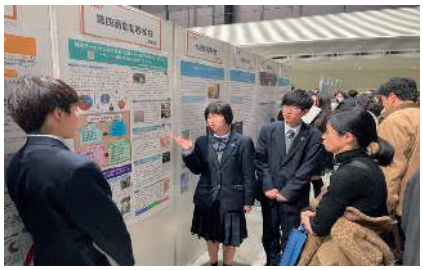
〇入場料　無料

〇主なイベント内容
舞台発表、ポスターセッション、講演、学校紹介等

※詳細は、東京都教育委員会のホームページでお知らせします。
(令和８年８月頃、専用ページ開設予定)



＜令和７年度メインステージ＞


＜ポスターセッション＞

都立高校における部活動の特別強化プロジェクト

Premier Club（プレミアクラブ）

プレミアクラブは、「ハイレベルなチャレンジをしたい！」という気持ちを後押しする、特別な部活動です。プロの指導者やフィジカルトレーナーなどの専門家チームの招へいのほか、楽器や道具、施設のグレードアップなど、活動をパワーアップできる取組を行っています。

「本気で挑戦する力」を都立高校から

Premier Club【Tier１】

運動部

	競　技	指定校
1	硬式野球	城東高校
2	硬式野球	日野高校
3	男子バスケットボール	東大和南高校
4	女子バスケットボール	目黒高校
5	男子バレーボール	上野高校
6	女子バレーボール	駒場高校
7	ラグビー	府中西高校
8	男子サッカー	東久留米総合高校
9	女子サッカー	東大和高校

文化部

	分　野	指定校
1	吹奏楽	片倉高校
2	吹奏楽	杉並高校

Premier Club【Tier２】

運動部

	競　技	指定校
1	相撲	足立新田高校
2	弓道	東高校
3	ローイング	小松川高校
4	自転車競技	八王子桑志高校
5	フェンシング	王子総合高校
6	少林寺拳法	国立高校
7	馬術	農芸高校

文化部

	分　野	指定校
1	ダンス	狛江高校
2	書道	井草高校
3	演劇	千早高校

Premier Club【Tier３】

運動部

	競　技	指定校
1	硬式野球	文京高校
2	陸上競技	東大和高校
3	陸上競技	国分寺高校
4	陸上競技	武蔵野北高校
5	体操競技	駒場高校
6	男子バスケットボール	大崎高校
7	女子バスケットボール	駒場高校
8	男子バレーボール	足立新田高校
9	女子バレーボール	府中高校
10	女子ソフトボール	小平西高校
11	ソフトテニス（男女）	清瀬高校
12	卓球（男女）	大田桜台高校
13	ラグビー	北園高校
14	男子サッカー	駒場高校
15	女子サッカー	杉並総合高校
16	ハンドボール	府中西高校
17	アメリカンフットボール	西高校
18	バドミントン（男女）	城東高校

運動部

	競　技	指定校
19	水泳	駒場高校
20	柔道	杉並工科高校
21	剣道	深川高校
22	硬式テニス（男女）	東大和高校
23	ボクシング	府中東高校
24	アーチェリー	東高校
25	なぎなた	城東高校

文化部

	分　野	指定校
1	吹奏楽	豊島高校
2	合唱	府中西高校
3	和太鼓	篠崎高校
4	競技かるた（百人一首）	白鷗高校
5	科学	桜修館中等教育学校
6	箏曲	東久留米総合高校
7	eスポーツ	町田工科高校
8	書道	深川高校

詳しくは、こちらのページを御覧ください！

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/physical_training_and_club_activity/premiere_club





2 都立高校等の種類と内容

課程

1 全日制課程・・・朝から午後までの日中に授業があります。

2 定時制課程・・・夜間、その他定められた時間帯に授業があります。

3 通信制課程・・・自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日（月２日程度）に登校し、面接指導（スクーリング）を受けます。

学年制と単位制

1 学年制・・・学習する教科・科目が、学年ごとに定められており、その学習成果が認められると単位が与えられ、次の学年に進級する制度です。全日制は３年、定時制は４年（一部は３年）を修了すると、卒業が認められます。

2 単位制・・・学年の区別がなく、３年間（又は４年間）の中で必修（必履修）科目の他に自分に適した教科・科目を選択し、その学習成果が認められ、入学から卒業までに決められた単位数を修得すれば卒業できる制度です。

都立高校の学科

※ 令和９年度入試で募集を行う予定の学科を記載しています。

1 普通科

国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、芸術、外国語、家庭、情報の各教科を中心に学習します。各教科は、更にいくつかの科目に分かれています。学校が定めた教育内容に従い、定められた科目や自分で選択した科目を学習します。大学・短大・専門学校への進学や就職など、幅広い進路に対応します。

2 普通科（コース制）

普通科の一部ですが、皆さんの興味・関心や希望に応じられるよう、学習内容の重点化を図り、様々な選択科目を設けています。1年次から語学系、美術系のコースに分かれて学習します。**深川高校**（外国語コース）、**片倉高校**（造形美術コース）、**松が谷高校**（外国語コース）、**小平高校**（外国語コース）があります。

3 総合学科

共通科目から専門科目まで幅広い選択科目の中から、自分の特性や進路希望に合った科目を選択し、系統的、専門的に学習します。自分の生き方や将来の進路を考える「産業社会と人間」を全員が学習し、科目選択に生かします。

4 農業に関する学科

農業の各分野で活躍できる技術者の育成を目指して、農業生産物の栽培や飼育を通し、自然に親しみながら専門的な知識やバイオテクノロジーなどの技術を身に付けます。

5 工業に関する学科

工業の各分野で活躍できる技術者の育成を目指して、専門的な知識やものづくりの技術・ハイテク技術などを身に付けます。

6 工業に関する学科（デュアルシステム科）

企業でものづくりの長期就業訓練を授業として受け、実践的な技術・技能を身に付けます。企業と生徒の合意により、卒業後、就業訓練先の企業に就職することもできます。

7 科学技術科

科学や技術について幅広く学び、卒業後、理系の大学等において専門性を高めるための基礎力を身に付けます。**科学技術高校**及び**多摩科学技術高校**に設置しています。

8 商業に関する学科（ビジネス科・商業科）

経理、情報処理などの商業の分野や国際化に対応する分野で活躍できる人材の育成を目指して、専門的な知識や技術を身に付けます。

9 ビジネスコミュニケーション科

激変する社会環境の中で、自立することのできる人材の育成を目指します。英語や実践的なビジネス科目を学び、社会科学系及び人文科学系大学への進学を目指します。**大田桜台高校**及び**千早高校**に設置しています。

10 情報に関する学科

高度情報通信社会の諸課題を主体的、合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てるため、情報の各分野に関する知識と技術を習得します。**新宿山吹高校**に設置しています。

11 産業科

生産・流通・消費の各過程の関連性を学び、起業家精神を育成します。従来の学科の枠を超えた新たな学科として、**橘高校**及び**八王子桑志高校**に設置しています。

12 水産に関する学科

海洋について様々な視点から学び、海洋課題に対応できる人材を育成します。**大島海洋国際高校**に設置しています。

13 家庭に関する学科

家庭生活に関する専門科目の学習を行うことにより、衣食住、保育、看護や介護などの知識や技術を身に付けます。**赤羽北桜高校**、**農業高校**、**瑞穂農芸高校**及び**忍岡高校**に設置しています。

14 福祉に関する学科

各種福祉施設、病院、保育園などで実習や体験学習を行いながら人間尊重の精神をしっかりと身に付け、社会の援助者として行動できる人材を育成します。**赤羽北桜高校**及び**野津田高校**に設置しています。

15 理数に関する学科

理数系の幅広い素養と情報活用能力等を高いレベルで併せ持ち、新しい価値を生み出すこと（イノベーション）のできる人材を育成します。**科学技術高校**及び**立川高校**に設置しています。

16 芸術に関する学科

音楽、美術、舞台表現に関する専門科目の学習を行うことにより、感性と表現力を身に付け、将来にわたって芸術の発展に寄与する人材の育成を目指します。**総合芸術高校**に、「音楽科」、「美術科」及び「舞台表現科」を設置しています。

17 体育に関する学科

体育・スポーツに関する専門科目の学習を行うことにより、保健体育に関する知識・技能を身に付けます。

共通科目の他に、学校によりバレーボール、バスケットボール、サッカー、体操、陸上、水泳、柔道、剣道などの専攻に分かれた専門の学習を行います。**駒場高校**及び**野津田高校**に設置しています。

18 国際関係に関する学科

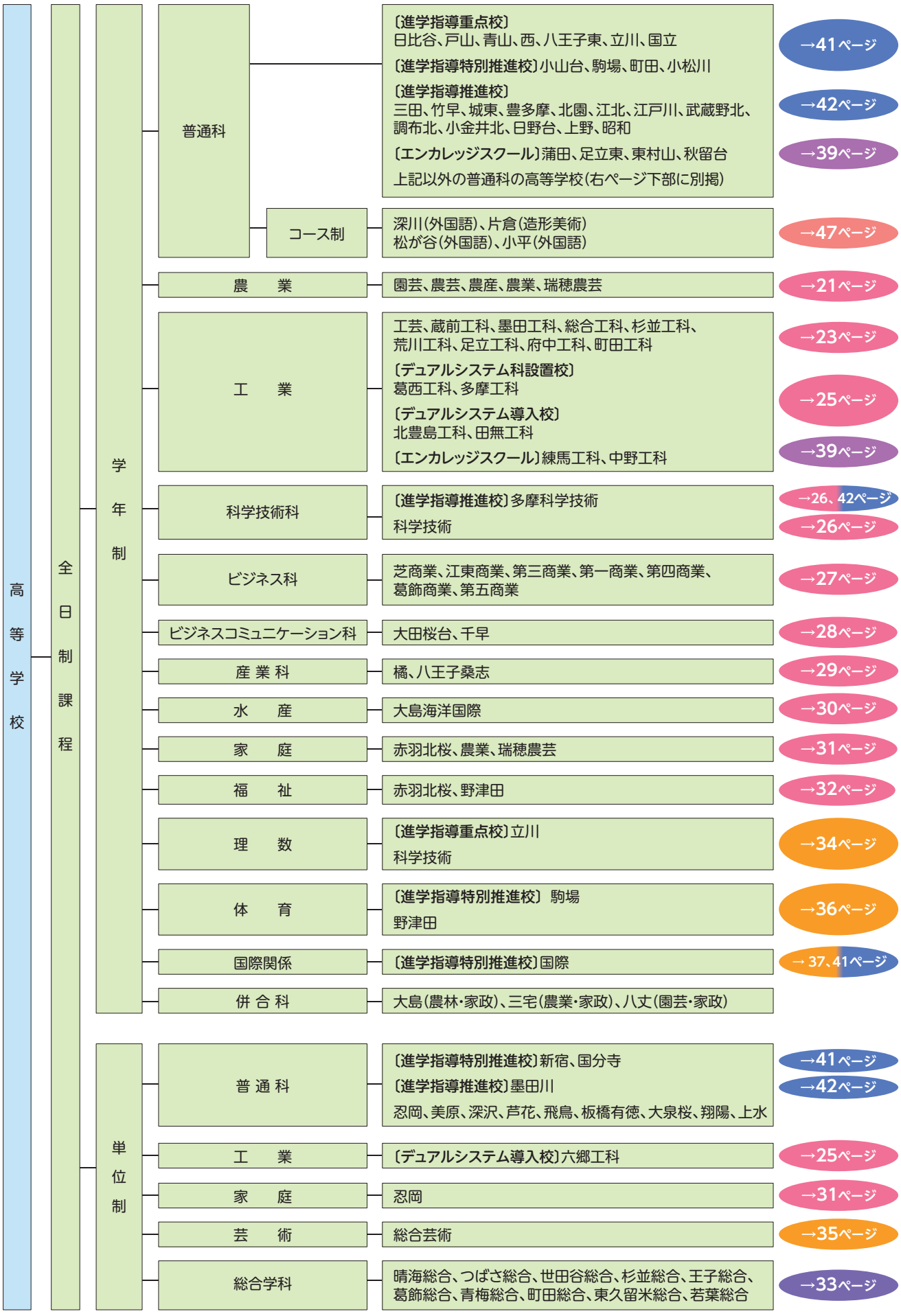
国際関係、日本の伝統文化、異文化理解などに関する学習や、自分が設定した課題を深く学ぶ課題研究型の学習を行います。また、外国語（英語など）の高度な運用能力を身に付けることを目指します。こうした学習を通して、豊かな国際感覚を身に付け、積極的に国際社会で行動できる人材を育成します。

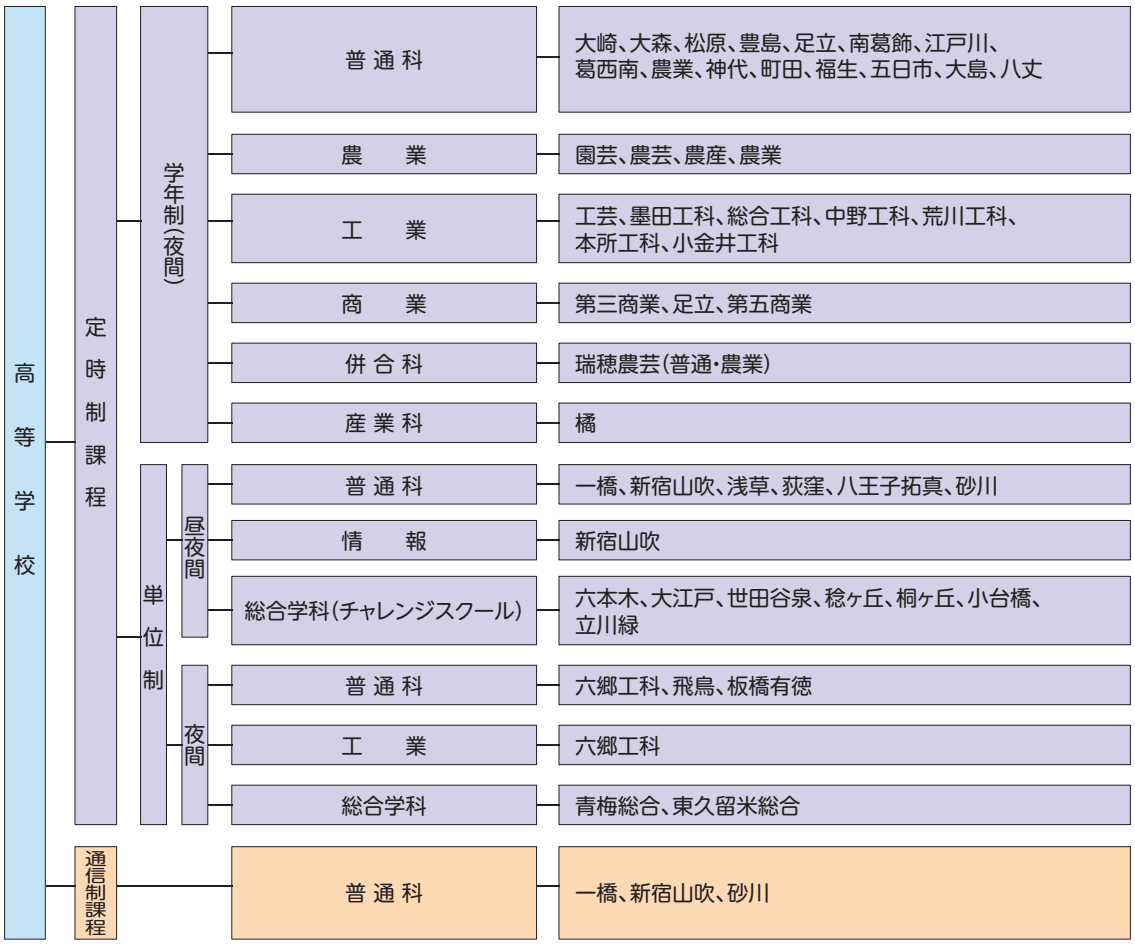
国際高校に、英語のほか、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語及び韓国語などを学ぶことができる「国際学科」を設置しています。また、海外の大学への進学を目指すためのコース「国際バカロレアコース」を設置しています。

19 併合科

二つの学科を一つの学級に編制している学校もあります。これを、併合科としています。全日制では、**大島高校**（農林・家政）、**三宅高校**（農業・家政）、**八丈高校**（園芸・家政）があります。定時制では、**瑞穂農芸高校**（普通・農業）があります。

※令和９年度入試で募集を行う予定の学校を掲載しています。





別掲　全日制学年制普通科高等学校

<23区内にある学校>
向丘、日本橋、本所、東、深川、大崎、八潮、目黒、大森、田園調布、雪谷、桜町、千歳丘、松原、広尾、鷺宮、武蔵丘、杉並、豊島、文京、竹台、板橋、大山、高島、井草、石神井、田柄、練馬、光丘、青井、足立、足立新田、足立西、淵江、葛飾野、南葛飾、葛西南、小岩、篠崎、紅葉川

<多摩地区にある学校>
片倉、八王子北、富士森、松が谷、多摩、府中、府中西、府中東、拝島、神代、調布南、小川、成瀬、野津田、山崎、小平、小平西、小平南、日野、南平、東村山西、福生、狛江、東大和、東大和南、清瀬、久留米西、武蔵村山、永山、羽村、五日市、田無、保谷

<島しょにある学校>
大島、新島、神津、三宅、八丈、小笠原

参考

高等専門学校 ― 東京都立産業技術高等専門学校

※東京都公立大学法人が所管しています。

→82ページ

3 専門高校（職業学科）の紹介

都立高校では、働くために必要な知識や実践的技術を学ぶことができる専門高校（職業学科）を用意しています。

《専門高校（職業学科）の一覧》

		学校名	学科	
			全日制	定時制
農　業	⇒P.21へ	園芸	園芸、食品、動物	園芸
		農芸	園芸科学、食品科学、緑地環境	農芸
		農産	園芸デザイン、食品	農産
		農業	都市園芸、食品科学、緑地計画	食品化学
		瑞穂農芸	園芸科学、畜産科学、食品	農業（併合科）
		大島	農林（併合科）	
		三宅	農業（併合科）	
		八丈	園芸（併合科）	
工　業	⇒P.23へ	工芸	マシンクラフト、アートクラフト、インテリア、デザイン、グラフィックアーツ	マシンクラフト、アートクラフト、インテリア、グラフィックアーツ
		蔵前工科	機械、電気、建築、設備工業	
		墨田工科	機械、自動車、電気、建築	総合技術
		六郷工科	ものづくり工学	生産工学
		総合工科	機械・自動車、電気・情報デザイン、建築・都市工学	総合技術
		中野工科	食品サイエンス	総合技術
		杉並工科	IT・環境	
		荒川工科	電気、電子、情報技術	電気・電子
		北豊島工科	都市防災技術	
		練馬工科	キャリア技術	
		足立工科	総合技術	
		本所工科		総合技術
		葛西工科	機械、電子、建築、デュアルシステム	
		府中工科	機械、工業技術、情報技術、電気	
		町田工科	総合情報	
		小金井工科		機械、電気・電子
		多摩工科	機械、電気、環境化学、デュアルシステム	
		田無工科	機械、建築、都市工学	
科学技術	⇒P.26へ	科学技術	科学技術	
		多摩科学技術	科学技術	
ビジネス・商業	⇒P.27へ	芝商業	ビジネス	
		江東商業	ビジネス	
		第三商業	ビジネス	商業
		第一商業	ビジネス	
		第四商業	ビジネス	
		足立		商業
		葛飾商業	ビジネス	
		第五商業	ビジネス	商業
ビジネスコミュニケーション	⇒P.28へ	大田桜台	ビジネスコミュニケーション	
		千早	ビジネスコミュニケーション	
情報	⇒P.28へ	新宿山吹		情報
産業	⇒P.29へ	橘	産業	産業
		八王子桑志	産業	
水産	⇒P.30へ	大島海洋国際	海洋国際	
家庭	⇒P.31へ	忍岡	生活科学	
		赤羽北桜	保育・栄養、調理	
		農業	服飾、食物	
		瑞穂農芸	生活デザイン	
		大島	家政（併合科）	
		三宅	家政（併合科）	
		八丈	家政（併合科）	
福祉	⇒P.32へ	赤羽北桜	介護福祉	
		野津田	福祉	

農　業

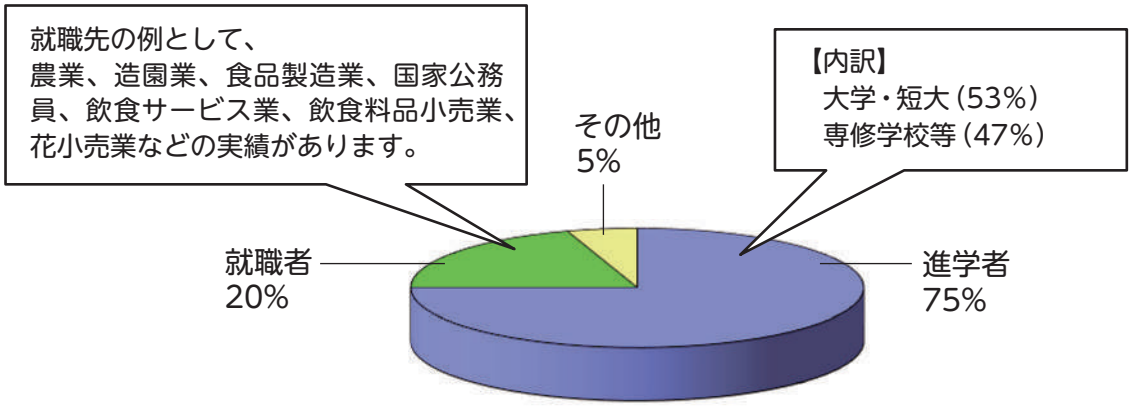
※学校及び学科の一覧はP.20に掲載

生き物を愛し、自然と触れ合いながら学びたい人におすすめ！

農業に関する学科を設置する高校の充実した施設・設備と、緑豊かな自然環境の中で学んだ知識や技術を生かし、農業分野のスペシャリストを目指しましょう。

なお、現在、農業系高校では、生徒の学びの充実と進路実現を支援する新たな取組を進めています。詳細は7ページを御覧ください。

≪進路の状況≫



数値は「令和７年度公立学校統計調査報告書：公立学校卒業者の進路状況調査編」による

≪卒業生の声≫



農業に関する学科についての紹介ページはこちらから⇒

1 園芸系（園芸科、都市園芸科、園芸科学科、園芸デザイン科、農芸科、農産科）

野菜・草花などの栽培技術や植物バイオテクノロジー、スマート農業などについて学びます。





<農場実習>



<乳牛へのエサやり>

2 畜産・動物系（畜産科学科、動物科）

乳牛やブタ、ニワトリなどの家畜、犬やウサギなどの動物の飼育技術などについて学びます。

3 食品系（食品科、食品科学科、食品化学科）

パンやジャム、ソーセージなどの食品製造の技術や食品分析・衛生検査の方法などについて学びます。



<製麹実習>



<庭園作り実習>

4 環境系（緑地計画科、緑地環境科）

花壇や庭園などの制作や、都市の緑化などについて学びます。

工　業

※学校及び学科の一覧はP.20に掲載

ものを作ること、機械・道具に触れること、考え工夫することが好きな人におすすめ！

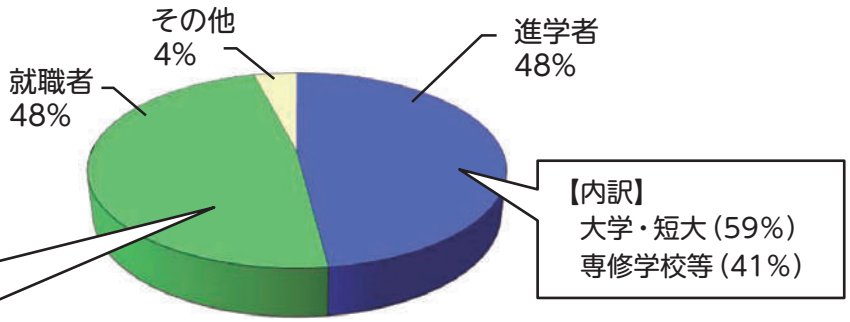
工業科では、機械工作やロボット製作、電気工事や製図・測量などの実習を通じて「ものづくり」に必要な知識・技能の習得や資格の取得を目指します。

社会が大きく変化する現代でも、将来にわたって活躍できるエンジニアとなるために必要な学習を行っていきます。

なお、現在、工科高校では、時代とともに発展し続ける学校を目指すための新たな取組を進めています。詳細は４～６ページを御覧ください。

≪進路の状況≫

就職先の例として、機械・電気器具等製造業、情報サービス業、建設業、設備工事業、化学工業、食品製造業、印刷業、機械器具小売業などの実績があります。



数値は「令和7年度公立学校統計調査報告書：公立学校卒業者の進路状況調査編」による

≪卒業生の声≫

学年が上がるにつれて、専門的な授業が増えていき、想像以上に専門的に学ぶことができます。自分が興味のあることを学ぶことができ、本当に満足しています。

工業科の専門科目は専用の器具を扱うので難しい印象がありましたが、先生方が丁寧に教えてくれるので心配不要です！



卒業後は、学んだ技術を更に深めて電気エンジニアになりたいと考えています。

学科に関する資格の取りやすさはもちろん、３Ｄプリンタを使った授業など、新しい技術に触れることができることが工業科の魅力です！

教育環境の充実のため、各学校の特色に合わせて色々な実習設備も導入しています。


ロボットアーム


味認識装置（味覚センサー）


3Dプリンタ


レーザー加工機　など

工業に関する学科についての紹介ページはこちらから⇒

1 機械系
（機械科、自動車科、工業技術科、機械・自動車科、生産工学科）

ものを作る楽しさを体験しながら、機械の仕組みや設計、材料の加工、自動車の整備方法などについて実験・実習で学びます。



<旋盤を使用した実習>



2 電気系
（電気科、電子科、情報技術科、電気・情報デザイン科）

電気・電子の工作の楽しさを体験しながら、発電や送電の仕組み、電気設備の保守・管理などを学びます。

<電気回路の製作>

3 化学系
（環境化学科、IT環境科）

化学反応の不思議さや分析を体験しながら、化学や環境などについて実験・実習で学びます。



<溶液成分の濃度分析>



4 建築系
（建築科、都市工学科、設備工業科、建築・都市工学科、建築工学科）

建物や道路などの設計、測量の楽しさを体験しながら、建物の構造やデザイン、工事の施工方法や、安全で暮らしやすいまちづくりなどについて実験・実習で学びます。

<コンクリート型枠の製作>

5 工芸系
（マシンクラフト科、アートクラフト科、インテリア科、グラフィックアーツ科、デザイン科）

工業デザインや広告制作など、主にデザインについてコンピュータを使って学びます。



<コンピュータを使用したポスター制作>



6 総合系
（総合技術科、総合情報科、キャリア技術科、ものづくり工学科）

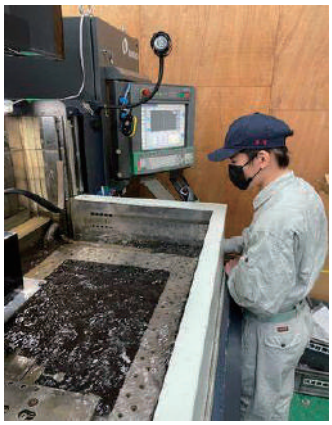
1年生では、工業や情報全般に関わる基礎的内容を学び、2年生以降、興味・関心、進路等に応じた系列を選択し、機械、電気、化学等に関する専門科目（総合技術科、キャリア技術科）や、情報を主体とした専門的内容（総合情報科）を学びます。

<サバ味噌煮缶の製造>

工　業（デュアルシステム）

デュアルシステムとは、学校と企業が一緒になって生徒を育成する職業教育です。

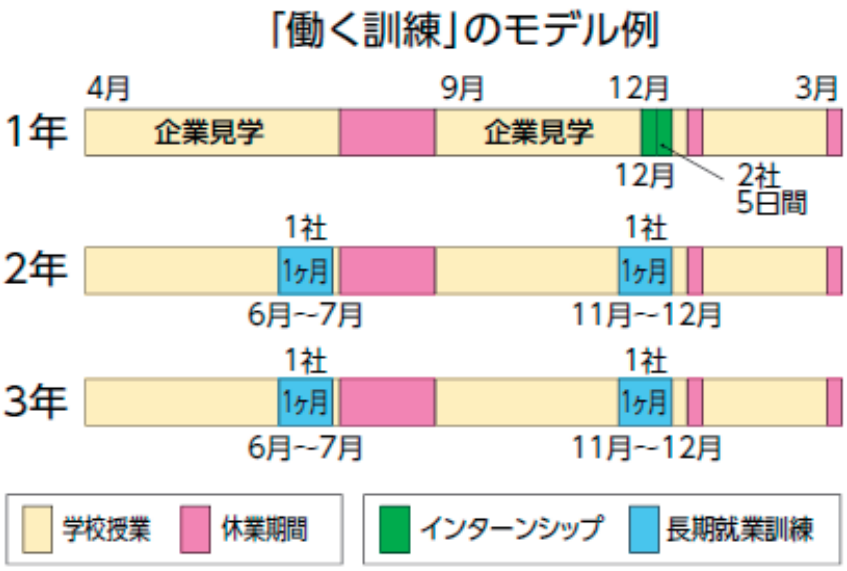
生徒が一定の期間、授業の一部として企業で「働く訓練」を行うシステムです。実際の企業現場での実習を通して、社会で具体的に役立つ知識や技術を身に付けることができます。企業と生徒が合意すれば、卒業後に実習先の企業に就職することもできます。





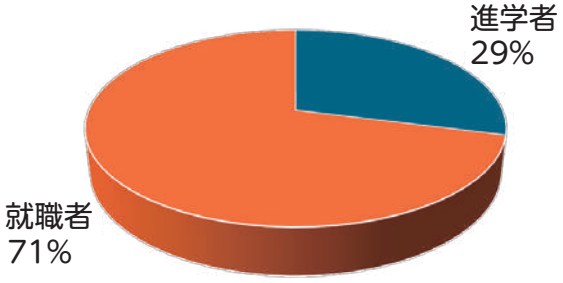
<企業現場での実習風景>

葛西工科高校及び多摩工科高校に「デュアルシステム科」を設置しています。



六郷工科高校、田無工科高校及び北豊島工科高校では、デュアルシステム科以外の学科で希望する生徒を対象にデュアルシステムを実施しています。

≪進路の状況≫



デュアルシステム科設置校における令和７年度卒業生の進路実績

デュアルシステム科及びデュアルシステムを
実施する学校についての紹介ページはこちらから ⇒

科学技術

先端技術を学ぼう！

豊富な実験や研究を通じて科学技術を学びながら、理系大学などへの進学を目指す進学型の専門学科です。

科学技術高校及び多摩科学技術高校に科学技術科を設置しています。

科学技術高校

◆ 分野選択

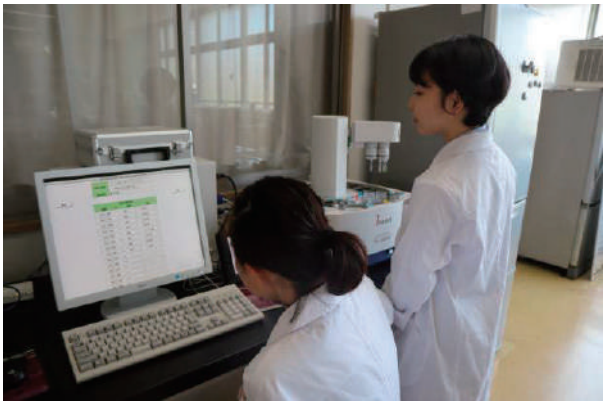
２年生以降、三つの分野（①材料力学、流体・熱力学など、②電磁気・通信・情報など、③有機・無機・バイオ・環境など）に分かれます。１年生で各分野の基礎を学び、自分に合った分野を見つけます。

◆ 理論・実験（実習）・研究の３ステップ学習

理論と実験（実習）で基礎を固め、2年次からの研究活動を通じて、実践的な探究・研究スキルを習得します。

◆ 問題解決能力、広い視野、コミュニケーション能力

チームでの実験や研究、発表練習を通して、大学進学に役立つ「考える力」「伝える力」を伸ばします。



<味覚センサーを使用した研究>

多摩科学技術高校

◆ 考える力と創造性を伸ばす科学技術教育

先端技術に触れながら、科学技術の基礎力を養います。第一線で活躍するアドバイザーによる講義に加え、豊富な実験・体験学習を通じて、課題解決能力やプレゼンテーション能力を育みます。

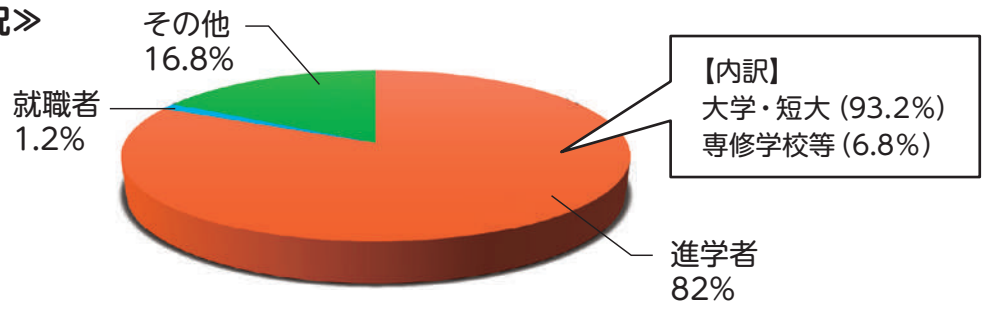
◆ 大学に確実に進学できる実力づくりと進学指導

普通科高校と同等、あるいはそれ以上の理系共通科目（数・理・英）の単位数を確保しています。習熟度別授業など、一人一人の理解度に合わせたきめ細かな指導で、志望校合格への実力を養成します。

◆ 科学技術科の４領域

「バイオテクノロジー（生物系）」「エコテクノロジー（化学）」「インフォメーションテクノロジー（情報）」「ナノテクノロジー（物理・力学系）」の４つのテクノロジー領域から、自身の興味・関心に合わせて専門的に学ぶことができます。

≪進路の状況≫



科学技術科　令和7年度卒業生の進路実績

科学技術科についての紹介ページはこちらから⇒

ビジネス・商業

※学校及び学科の一覧はP.20に掲載

将来役立つビジネススキルを学びたい人におすすめ！

ビジネス科は、簿記や情報処理など専門分野の学習に加え、東京都独自の学校設定科目「ビジネスアイデア」などで企業と連携してビジネスを実地に学ぶ機会を設け、創造的な能力と実践的な態度を身に付けます。

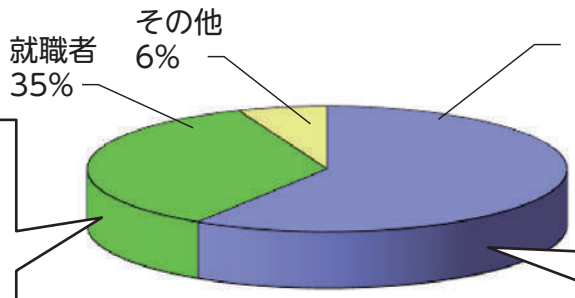
商業科は、簿記、会計、コンピュータなどの実用的な科目を学び、幅広い資格取得を目指します。また、ビジネス社会のマナーを身に付けます。

ビジネス科について

ビジネスについて学習し、「ビジネスを考え、動かし、変えていくことができる力」を身に付けます。

1年生 ビジネス基礎 → 2年生 ビジネスアイデア → 3年生 課題研究 → 希望する進路の実現！

≪進路の状況≫



就職先の例として、金融業（信用金庫等）、情報サービス業、各業種の事務職などの実績があります。

【内訳】
大学・短大（52%）
専修学校等（48%）

ビジネス科　令和７年度卒業生の進路実績

≪卒業生の声≫



商業に関する学科についての紹介ページはこちらから⇒

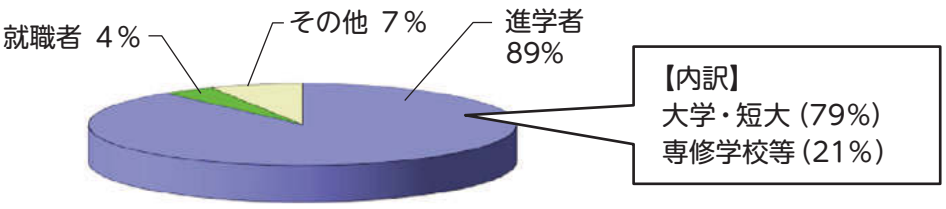
ビジネスコミュニケーション

国際社会で活躍したい人におすすめ！

英語とビジネスの学習に重点を置き、大学卒業後の将来を考える進学型の専門学科です。「使える英語」と「役に立つビジネス」を楽しく学びます。

千早高校及び大田桜台高校にビジネスコミュニケーション科を設置しています。

≪進路の状況≫



ビジネスコミュニケーション科　令和7年度卒業生の進路実績



＜卒業スピーチの様子（大田桜台高校）＞

大学卒業後に社会人として国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション力や課題解決力を実践的に身に付けるため、外国語（英語）教育やビジネス（商業）教育を重点的に学ぶ学校です。

スピーチコンテストや海外ビジネス研修などを行っています。

※学校により取組内容が異なります。

ビジネスコミュニケーション科についての紹介ページはこちらから⇒

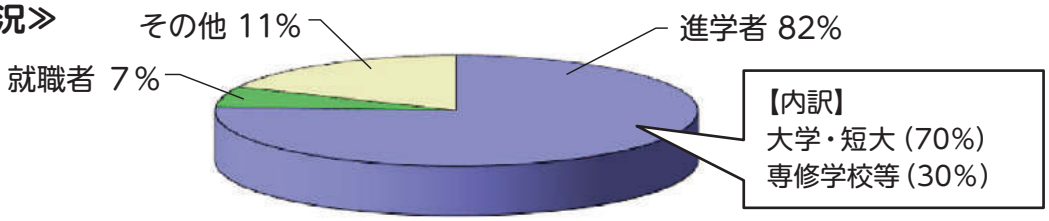
情　報

情報分野のスペシャリストを目指そう

プログラミングによるシステム開発・アプリ制作や画像処理によるコンテンツ制作など、コンピュータを利用した様々な仕事に必要な知識と技術を学習します。充実した設備、専門的に学習できる環境を用意しています。

新宿山吹高校に情報科を設置しています。

≪進路の状況≫



数値は「令和７年度公立学校統計調査報告書：公立学校卒業者の進路状況調査編」による



＜全国専門学科情報科研究協議会＞



＜ロゴマーク制作の様子（情報デザイン）＞

新宿山吹高校情報科ページはこちらから⇒

産　業

将来の起業家を目指して

産業科では、ものの生産から流通、消費に至るまでの過程全般を学ぶことにより、産業界全体を見渡せる力を身に付け、広い視野をもった将来の起業家や自営業の後継者の育成を目指します。大学等に進学し、更に高度な知識や技術の習得を目指す生徒にも対応した専門学科です。

橘高校及び八王子桑志高校に産業科を設置しています。

橘高校

◆　産業技術基礎

産業技術に関する基礎的な知識と技術を身に付け、産業に関する広い視野を養います。授業では、デザイン、陶芸、ガラス工芸、機械加工、食品加工、製図、電子工作などを、実習を通して学びます。

◆　ビジネス会計

会計の仕組みを学び、ビジネスで行われる取引を数量的に把握する能力と態度を育てます。授業では、記帳練習を中心に実践力を高めます。簿記検定に対応し、資格取得も目指します。

◆　起業家精神と職業生活

経済や企業に関する基礎・基本を学ぶとともに、将来社会人となる心構えやコミュニケーション能力を身に付けます。

◎橘高校では、伝統工芸に関する授業等を実施し、「産業科」の学びを充実させています。

八王子桑志高校

◆　産業技術基礎

デザイン・クラフト・システム情報・ビジネス情報各分野の産業技術に関する基礎・基本を分野ごとに１年生で学習します。

◆　企業会計（１年生全員必修）

簿記の基本を学ぶとともに、原価計算などの知識と技術を学習します。また、日本商工会議所の簿記検定に対応し、資格取得も目指します。更に高度な資格の取得を２年生以降の学習で目指します。

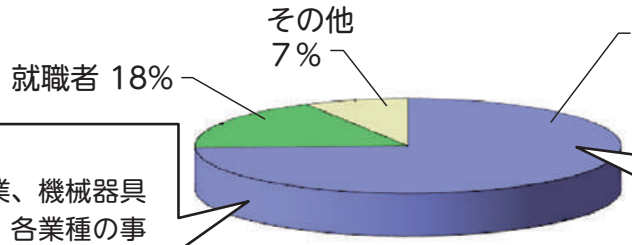
◆　キャリアデザインⅠ・Ⅱ

生徒自らが自己の適性を見極めながら「社会性」、「勤労観・職業観」、「社会との関わり方」等を身に付け、自信をもって一生のキャリアをデザインする力を育成します。

◆　情報関連科目の充実

「コンピュータの使い方」にとどまらず、「コンピュータの生かし方」すなわち「必要な情報を収集・整理し、分析・検討・評価を加え、求められる形にして表現・発信する方法」を学びます。

≪進路の状況≫



就職先の例として、
食品製造業、印刷業、機械器具等製造業、小売業、各業種の事務職などの実績があります。

【内訳】
大学・短大（47％）
専修学校等（53％）

産業科　令和７年度卒業生の進路実績



<陶芸実習>



<シルクスクリーン実習>

産業科についての紹介ページはこちらから⇒

水　産（海洋国際）

世界の海で活躍する人材を目指して

　水産科では、海洋に対する真摯な姿勢と態度を常に持ち続け、「誠実・礼節・協力」の精神の下、豊かさと幸福を世界にもたらし続ける広大な海洋を舞台に活躍する人材の育成を目指します。
　水産・海洋関連分野の学びを深めるため、海洋探究、船舶運航、海洋生物、海洋産業等に関する学習を充実させています。

大島海洋国際高校（大島町）に水産科（海洋国際科）を設置しています。

・「海に学び、未来を拓く。」という理念の下、海洋について学べる唯一の都立学校です。

・海洋に関する授業・実習や各種研究機関との連携を通して、実践的な海洋教育を行い、海洋関連産業の幅広い分野で活躍できる人材を育成します。

・１年生の段階では、海洋に関する基本的な学習を行い、２年生以降、海洋探究、船舶運航、海洋生物、海洋産業の４つの類系（コース）に分かれて専門的な学習を行います。水産・海洋系の専門教科だけでなく普通教科も充実させ、大学進学に向けたカリキュラムを編成しています。

・海、寄宿舎、実習船を活用し、「誠実」「礼節」「協力」という校訓で規律ある学校生活を送っています。

・大島の豊かな自然に囲まれた寄宿舎で共同生活を行います。生徒の代表と寄宿舎専任舎監が話し合いながら、寄宿舎生活を運営しています。



<乗船実習での操船訓練>



<ダイビング実習>



<寄宿舎での自習(宅習)>



<底釣り実習>



<マリンスポーツ実習>



<乗船実習における寄港地活動(屋久島)>

大島海洋国際高校ページはこちらから⇒

家　庭

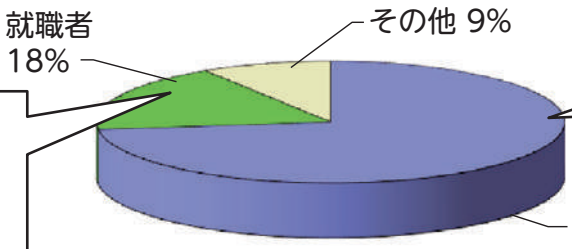
※学校及び学科の一覧はP. 20に掲載

生きていく中で豊かさを与える仕事をしてみたい人におすすめ！

家庭に関する学科では、生活産業に関連したスペシャリスト、心身ともに自立した生活者の育成に努めます。

将来、栄養士や保育士、デザイナー等になるための基礎・基本を学びます。

≪進路の状況≫



【内訳】
大学・短大（51%）
専修学校等（49%）

就職先の例として、食品製造業、飲食サービス業、介護事業、繊維製品製造業などの実績があります。

数値は「令和７年度公立学校統計調査報告書：公立学校卒業者の進路状況調査編」による

1 生活科学科（忍岡高校）

家庭科の専門科目を幅広く学ぶことができる学科です。

自分に合わせた、様々な科目選択ができます。家庭科技術検定等の資格取得を目標に知識・技術を高め、上級学校へ進学し、生活科学のスペシャリストを目指します。

2 保育・栄養科（赤羽北桜高校）

保育・栄養科は、幼児教育・保育系と栄養・健康系に分かれ、幼児教育・保育系は「保育」や「子育て支援」に必要な専門的知識・技術を学び、幼児教育・保育系の上級学校への進学を目指します。栄養・健康系は、「食」や「健康」における専門的知識・技術を学び、栄養・健康系の上級学校への進学を目指します。

3 調理科（赤羽北桜高校）

調理科は、「調理」のスペシャリストを養成する学科です。

料理コンクールへの挑戦やインターンシップなどを行い、食を通じて社会に貢献できる人材を育成します。

※所定の単位の修得により調理師免許を取得できます。

4 服飾科（農業高校）

「服飾」に関するスペシャリストを養成する学科です。

被服制作やファッションデザインを通して、服飾に関する知識・技術を身に付けるとともに、豊かな感性や創造性を表現できる人間を育成します。

5 食物科（農業高校）

「食」と「調理」のスペシャリストを目指します。

実践的な調理技術を身に付け、料理コンクールや検定試験にも挑戦します。農場の新鮮な作物を使用して実習を行い、豊かな感性や創造性を育みます。

※所定の単位の修得により調理師免許を取得できます。

6 生活デザイン科（瑞穂農芸高校）

家庭生活の各分野に関する学習を通して、社会の変化に対応できる判断力・表現力と豊かな生活を創造する能力の育成を目標としています。

２年生から保育・福祉、食物・調理、服飾デザインの３類型に分かれて学習します。



＜充実した調理設備を使用した実習＞



＜ピンワークの実習＞

家庭に関する学科についての紹介ページはこちらから⇒

福　祉

生命の尊さを学び、人の役に立ちたい人におすすめ！

福祉に関する学科では、生命の尊さを真摯（しんし）に学び、人間尊重の精神をしっかりと身に付け、共生の視点で社会の援助者として行動できる資質及び心を養います。

赤羽北桜高校に介護福祉科、野津田高校に福祉科を設置しています。

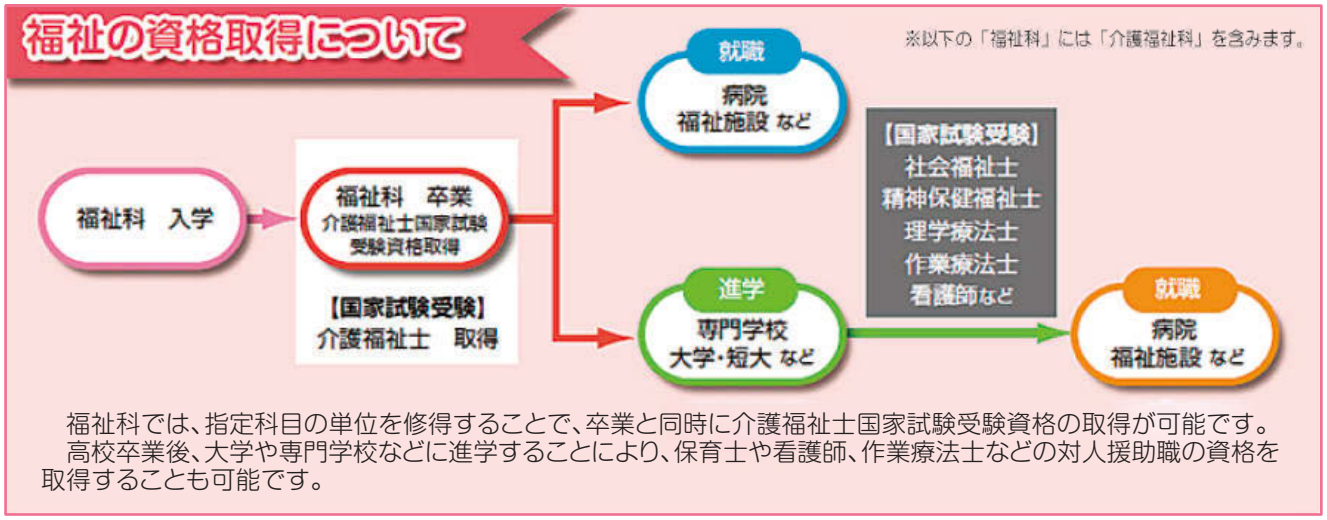
1 介護福祉科（赤羽北桜高校）

「介護福祉」のスペシャリストを養成する学科です。
３年間で50日以上の施設実習を始めとした体験的・実践的な学習を通じて、サービス利用者のニーズに対応するなど、人や地域社会に貢献する人材を育成します。
※所定の単位の修得により介護福祉士の国家試験受験資格を取得できます。


＜生徒同士で介護演習＞

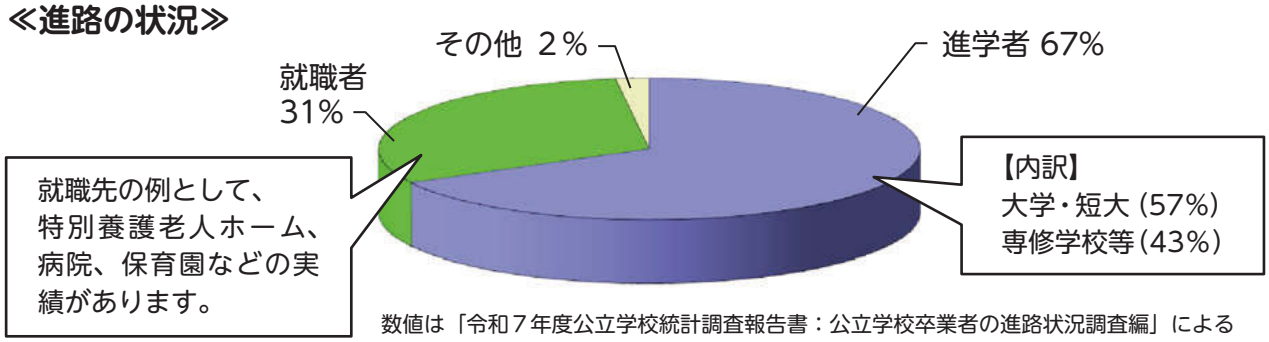
2 福祉科（野津田高校）

福祉系・医療関連職への就職や進学を目指す職業学科です。
介護における演習や各種福祉施設で介護実習を行いながら、対人援助に関する専門知識・技術・価値・倫理を学びます。
高齢者や障害者だけでなく、広く人の人生に寄り添うことのできる専門職を養成しています。
※所定の単位の修得により介護福祉士の国家試験受験資格を取得できます。



福祉科では、指定科目の単位を修得することで、卒業と同時に介護福祉士国家試験受験資格の取得が可能です。
高校卒業後、大学や専門学校などに進学することにより、保育士や看護師、作業療法士などの対人援助職の資格を取得することも可能です。

≪進路の状況≫



数値は「令和７年度公立学校統計調査報告書：公立学校卒業者の進路状況調査編」による

福祉に関する学科についての紹介ページはこちらから⇒

4 総合学科の高校の紹介

Q：「総合学科」とは、どのような学科ですか？

A：総合学科は、国語や理科などの普通科目から、情報や美術、国際関係や家政系などの専門科目まで、自分の興味・関心や進路希望に応じて幅広く学べる学科です。

Q：「総合学科」には、どのような特色がありますか？

A：○自分の将来の進路を見付け、その進路を叶えるために行動できる力を鍛えます。自分は「何をやりたいのか」、「何に向いているのか」、「何ができるのか」をじっくり考えながら、自らの将来の進路を探すことができます。

○入学年次に全ての生徒が「産業社会と人間」を履修し自己の進路への自覚を深め、社会ルールや職業と生活について学ぶとともに、選択科目や進路についてのガイダンスがあります。

○生徒の個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや達成感を体験できます。幅広い専門科目を設置しているので、自分の個性を生かした主体的な選択ができ、実践的・体験的な学習ができます。

○「産業社会と人間」や「多様な選択科目」の履修により、大学進学はもちろんのこと、専門学校や就職など多様な進路選択が可能です。

Q：総合学科の高校に設置している「系列」とは、どのようなものですか？

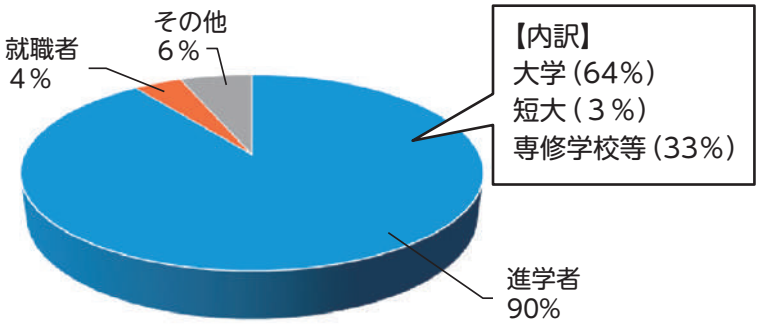
A：「系列」とは、まとまりのある学習を可能にするとともに、進路希望に沿った科目履修ができるように、体系性、専門性を考慮し、相互に関連する科目によって構成する科目群のことをいいます。
その「系列」を目安として、様々な選択科目の中から自分の進路に合った科目を選び、時間割をつくることができます。

学校名	系列（令和８年４月現在のものであり、変更になる場合があります。）
晴海総合高校	情報システム、国際ビジネス、語学コミュニケーション、芸術・文化、自然科学、社会・経済
つばさ総合高校	美術・工芸・デザイン、環境科学・理数・工学、国際理解・語学コミュニケーション、生活・文化・地域、福祉・保育、スポーツ・健康
世田谷総合高校	社会・教養、サイエンス・環境、国際・文化理解、情報デザイン、ライフデザイン、美術・ものづくり
杉並総合高校	人間・社会、科学・環境、メディア・文化、ビジネス、国際コミュニケーション
王子総合高校	国際・ビジネス、データサイエンス、芸術・デザイン、スポーツ・健康
葛飾総合高校	グローバル、スポーツ・ライフ、デザイン・アート、データサイエンス
青梅総合高校	文科・理科、国際・文化、生命・環境、食品・生活、人間・健康
町田総合高校	暮らし（生活全般）、ひと（心理・看護・福祉・芸術）、まち（ビジネス・情報）、自然（自然科学全般）
東久留米総合高校	国際・人文社会、自然科学探究、スポーツ、芸術・表現、看護・保育
若葉総合高校	人間探究、芸術文化、情報交流、未来創造



〈晴海総合高校： 日本文化実践の授業の様子〉

≪進路の状況≫



数値は「令和７年度公立学校統計調査報告書：公立学校卒業者の進路状況調査編」による

総合学科についての紹介ページはこちらから⇒

5 その他の学科の紹介

理　数

Q：「理数に関する学科」とはどのような学科ですか？

A：理数系分野の素養育成に重点を置きながら、幅広い教養を習得し、将来、新しい価値を生み出すことのできる人材の育成を目指す学科です。立川高校及び科学技術高校に設置しています。

Q：「理数に関する学科」にはどのような特色がありますか？

A：数学や理科などに関する課題に向き合い、数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を解決する学習を重視する「理数数学Ⅰ」「理数数学Ⅱ」等を学びます。また、「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうちから3科目以上を学び、観察や実験を行い科学的に探究する力を養います。更に、「理数探究」において、多角的、複合的にものごとを捉え、数学や理科などに関する課題を設定し探究する学習を通じて、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高めます。

創造理数科（立川高校）

立川高校では、学校の伝統やこれまでのＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）などの取組を深化させた学科として、令和４年４月に創造理数科を設置しました。

【主な特色】

○理数科に属する科目「理数探究」など、特色ある探究的な学習を通して、真理を探究し、自ら分析・考察・推論することにより、物事の本質を理解しようとする姿勢や、物事を広い視野で多角的に捉える力などを育成します。

○大学・企業などの研究機関や地域と連携して、探究的な学習を深めるとともに、授業外のフィールドワークやワークショップなども企画し、科学技術の発展についての説明や実物に触れたりする機会を提供することで、科学技術の理解を深め、生徒が自らの適性を知り、将来の姿を思い描く機会を創出します。

※ 学力検査に基づく選抜については、普通科との併願が可能です。



<立川高校：軽井沢・
草津フィールドワーク研修>



<立川高校：PLIJ（学びのイノベーション・プラットフォーム）産業探訪シリーズ>

創造理数科（科学技術高校）

科学技術高校では、科学技術科の一部を改編し、令和６年4月に創造理数科を設置しました。

【主な特色】

○ＳＳＨ（スーパーサイエンスハイスクール）の取組とともに、教科「理数」の特色ある科目や創造理数探究基礎、理数探究を学習し、探究力や数学的・科学的な思考を育成します。

○大学の研究機関と連携して、探究活動のためのプログラムに取り組むことや、企業等と連携して実践的な学びの機会を創出して、イノベーションを生み出すことのできる人材を育成します。

※ 学力検査に基づく選抜については、科学技術科との併願が可能です。



<科学技術高校：論理的・多角的な
視点を育む個性豊かな授業>

芸　術

Q：「芸術に関する学科」とは、どのような学科ですか？
A：芸術の世界でプロを目指すために、美術、舞台表現、音楽に関する専門的な科目を学習する学科です。

美術科、舞台表現科、音楽科（総合芸術高校）

・我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる人材を育てます。
・総合芸術高校は、都立唯一の芸術の専門高校です。美術科・舞台表現科・音楽科を設置しています。
・国際社会で活躍する一流のプロフェッショナルを育てるため、専門的な施設で専門性の高い授業を行い、表現を通して、自ら考え行動することのできる自律的な人間の育成を目指しています。

美　術　科

日本画、油彩画、彫刻、デザイン、映像の５専攻があります。
入学時に専攻を選択し、３年間、専門的な知識や高度な技術を学び作品制作を行います。

特色ある科目等
「日本画」「彫刻」「鑑賞研究」
「映像表現」「モデル授業」
「素描」「ビジュアルデザイン」
「野外写生」等

成果の発表
校内展示ホールで「年次展」
「有志展」「コンクール展」
東京都美術館での「卒業制作展」





舞台表現科

演劇と舞踊（クラシックバレエとコンテンポラリーダンス）専攻があります。専門家の指導により豊かな表現を身に付けます。音響・照明も学ぶことができます。

特色ある科目等
「日本舞踊」「ジャズダンス」
「創作演習」「アクション」
「舞踊論」「演出研究」等

成果の発表
校内舞台演習室や講堂棟ホールで
「発表会」「公開授業」
「成果発表会」等
外部会場での「定期公演」





音　楽　科

器楽、声楽、作曲、楽理の４専攻があります。個人レッスンを中心に、少人数編成授業により技術面と精神面の両面から専門的に音楽を学びます。

特色ある科目等
「ソルフェージュ」「声楽」「器楽」
「伴奏法」「音楽史」「音楽理論」
「作曲」「楽理」等

成果の発表
校内講堂棟ホールで「全生徒による合奏・合唱の演奏会」
「卒業演奏会」等
外部会場での「発表演奏会」





総合芸術高校は、同じ志をもつ生徒が集まっています。共に高め合い、学びを深める活動が詰まっています。
発表の機会もたくさんあり、多くの方に見ていただいています。詳細は学校のHPを御覧ください。

体　育

Q：「体育に関する学科」とはどのような学科ですか？
A：体育・スポーツに関する専門科目の学習を行うことにより、体育に関する知識・技能を身に付けることを目指す学科です。共通科目の他に、学校によりバレーボール、バスケットボール、サッカー、体操、陸上、水泳、柔道、剣道などの専攻に分かれた専門の学習を行います。

保健体育科（駒場高校）

・保健体育専門科目には、９種（陸上競技、水泳、体操競技、柔道、剣道、男子サッカー、女子バレーボール、男子バスケットボール、女子バスケットボール）の専攻種目があります。
・運動学、生理学、心理学と各種目の練習法、体育理論、体育測定など、体育についての知識、態度及び技術を学習して、将来スポーツ、体育に関する指導者として、また社会各方面で活躍し得る資質の向上を図ります。
・遠泳、スキー、キャンプの各実習を実施しています。


<駒場高校：充実した施設>

体育科（野津田高校）

・陸上競技（男女）、バスケットボール（男女）、サッカー（男子）、バレーボール（女子）の５つの競技から専攻種目を選択します。授業の「専攻スポーツ」と放課後の部活動で同じ種目に専念することで競技力を伸ばします。
・専攻種目を主としながら、心身の成長を図り、技能向上に努めて体育分野のスペシャリストを目指します。スポーツⅤの授業ではスキー・キャンプ・ダイビングの実習があり、インストラクターや専門家による指導を受け、資格取得を目指します。その他、テーピングやコーチング理論などの専門家を招いた講習会・授業もあります。


<野津田高校：部活動の様子>



国際関係

Q：「国際関係に関する学科」とは、どのような学科ですか？
A：国際理解教育や英語などの外国語教育を通して、国際社会で活躍できる人材を育成する学科です。

国際学科（国際高校）

・国際高校に国際学科を設置しています。様々な生徒たちが互いの違いを認めながら、行事や部活動を通して充実した学校生活を送っています。
・英語や第二外国語（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語）に加え、様々な国や地域の文化を学ぶことができます。
・国際高校の教育課程は、豊かで調和の取れた国際感覚と優れた外国語能力を身に付けた有為な人材の育成を目指し、多彩な専門教科・科目を用意しています。
・多様な進路選択に対応できるように、１年生では、普通教科・科目が多く、学年が進行するにしたがって選択科目が増えます。また、１年生から多くの科目で多展開授業を実施しています。
・授業では、生徒同士の活発なやり取りを重視し、ディスカッションやグループワークを取り入れています。
・総合的な探究活動として「課題研究」を行います。自分で設定したテーマについて、調査・研究し、論文を書き、発表します。
・世界９か国12校の姉妹校や提携校との国際交流活動が盛んです。また、東京都の事業「次世代リーダー育成道場」等のプログラムで、毎年国際高校から20名以上の生徒が長期留学をしています。
・海外修学旅行、イングリッシュ・サマーキャンプ、スピーチコンテスト、留学生やインターナショナルスクールとの交流を深める国際交流デーなど、様々な学校行事を行っています。
・多くが4年制大学進学を希望し、法律、経済、国際教養、総合政策、教育などの学部へ進学しています。また、海外大学への進学者が多数いることが特徴です。
・海外大学への進学を目指す「国際バカロレアコース」を設置しています。

国際バカロレア（ＩＢ）ディプロマプログラム（ＤＰ）とは

・国際バカロレア機構が認定した学校で指定のプログラムを学び、世界共通の統一試験に合格することで、国際的に認められる大学進学資格（フルディプロマ）を取得できる仕組みです。
・この資格は、ハーバード大学やケンブリッジ大学をはじめ、世界中の大学で活用されています。国内でも筑波大学や慶応義塾大学等で国際バカロレア入試を行っており、それ以外の大学においても総合型選抜等の出願資格の一つとして活用されています。


＜フランス提携校の受け入れ＞


＜韓国修学旅行（学校間交流）＞


＜オーストラリア研修旅行＞

国際高校ホームページはこちらから⇒

6 多様なタイプの学校の紹介

チャレンジスクール

Q：「チャレンジスクール」とは、どのような学校ですか？

A：○チャレンジスクールは、主に小・中学校で不登校の経験があったり、高校で中途退学を経験したりして、これまで能力や適性を十分に生かし切れなかった生徒が、自分の目標を見付け、それに向かってチャレンジする高校です。

○昼夜間の定時制・総合学科・単位制の高校です。自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯（午前・午後・夜間の三部）を選んで入学できます。

Q：「チャレンジスクール」には、どのような特色がありますか？

A：○４年間かけて学ぶことを基本としますが、他部の科目の履修等により、３年間での卒業も可能です。

○国語、数学、英語等では「わかる国語」といった基礎科目を開設し、少人数のきめ細かい指導を通して、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、中学校の復習にも対応します。

○体験的な学習を重視し、ボランティア、福祉活動等を授業の一環として行います。

○社会生活のルールやマナー、言葉遣いなどに関する学習も行い、コミュニケーション能力や社会性を育てます。

○ホームルーム活動や相談活動を重視し、先生と生徒のコミュニケーションや生徒同士の交流を大切にします。

☆チャレンジスクールの特色☆

・学力検査や中学校からの調査書によらず、生徒の学習や学校生活への意欲を重視した入試を行います。
・基礎・基本を重視した学習を行うとともに、総合学科の特性を生かし、職業系を含めいろいろな専門科目を設置しています。
・ボランティア活動などの体験的な活動を通じて、豊かな人間性を育成します。
・カウンセリングや教育相談の充実など、心のケアに配慮したきめ細かい指導を行います。

《チャレンジスクール一覧》

○六本木高校
○大江戸高校
○世田谷泉高校
○稔ヶ丘高校
○桐ヶ丘高校
○小台橋高校
○立川緑高校





稔ヶ丘高校（左）　多様な選択科目を設置しており、自分に合った時間割を組むことができます。
写真は「栽培と飼育」の授業の様子です。
（中央）部や学年の壁を越えて、体育祭などの行事を楽しみます。
（右）　充実した教育相談体制や校内の居場所を用意しています。

エンカレッジスクール

Q：「エンカレッジスクール」とは、どのような学校ですか？

A：エンカレッジ（encourage）とは、「励ます」、「力づける」を意味します。小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援しながら、勉強や学校行事・部活動などを通して学校生活を充実させる全日制の高校です。

Q：「エンカレッジスクール」には、どのような特色がありますか？

A：○生徒一人一人にきめ細かい指導を行うために、二人担任制を導入しています。
○1年次には、３０分授業を実施し、午前中は座学、午後は体験学習及び選択授業が中心となるように、時間割編成を工夫することで、生徒の集中力を維持し、向上させます。
○「個に応じた指導と分かる授業の確立」を目指し、少人数制・習熟度別授業を導入しています。
○1年生から3年生まで、各学年1単位時間は、キャリアガイダンスの授業を行い、職業観を育てます。また、人としての在り方・生き方などを３年間通して学び、規律正しい生活を重視することで、生徒の意欲と生きる力を育む教育を行います。
○多くの人との出会いにより、自らを律し、他者と協調し、他者を思いやる心など、豊かな人間性を育むため、体験学習を重視しています。
○ものづくりや資格取得など、自分の興味・関心に応じた専門的な学習ができるよう、工科高校も指定しています。

☆エンカレッジスクールの特色☆

＜学校の特色＞	＜授業の特色＞	＜時間割の特色＞
◎学力検査によらない入試 ◎二人の担任できめ細かな指導 ◎試験の点数よりも努力を評価	◎１年次には、集中できる30分授業により、基礎・基本を徹底 ◎少人数制・習熟度別授業によるきめ細かく分かる授業	◎キャリアガイダンス ◎選択授業 ◎多彩な体験学習

《エンカレッジスクール一覧》

○蒲田高校
○中野工科高校
○練馬工科高校
○足立東高校
○東村山高校
○秋留台高校







蒲田高校（左）　１学年では二人担任制により、学校生活や学習、進路に関する相談などにきめ細かく対応しています。
（中央）１学年では３０分授業を導入し、生徒が集中して学習に取り組めるよう工夫しています。
（右）　スポーツや芸術、パソコン、農業などの講座を開講し、体験を重視した学習を進めています。

昼夜間定時制高校　※チャレンジスクールを除く

Q：「昼夜間定時制高校」とは、どのような学校ですか？

A：昼夜間定時制高校は、自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて、午前・午後・夜間の三つの部の中から選んで入学する定時制・単位制・三部制の普通科高校です（新宿山吹高校は四部制で、情報科も設置しています。）。

Q：「昼夜間定時制高校」には、どのような特色がありますか？

A：○ホームルーム活動を重視するなど、学年制のよさを残しており、また、職業に関する専門科目を設置するなど、総合学科の特徴も取り入れています。
○基礎・基本を重視し、習熟度別授業や少人数授業など、多様な授業形態を取り入れています。
○修業年限は４年を基本としていますが、他部の科目の履修や学校外での学習活動等により、３年で卒業することも可能とする「三修制」を実施しています。
○学校外での学修の成果を単位認定するなど、単位認定の弾力化を図っています。

授業時間帯などの例

部	時限	時間帯	Ⅰ部の生徒	Ⅱ部の生徒	Ⅲ部の生徒
Ⅰ部	１限 ２限 ３限 ４限	8:50 〜 12:25 （午前）	必修科目 ＆ 選択科目	選択科目	
Ⅱ部	５限 ６限 ７限 ８限	13:10 〜 16:45 （午後）	選択科目	必修科目 ＆ 選択科目	選択科目
Ⅲ部	９限 １０限 １１限 １２限	17:20 〜 21:10 （夜間）	※Ⅲ部には学校給食があります。		必修科目 ＆ 選択科目

☆昼夜間定時制高校の特色☆

・Ⅰ部（午前部）・Ⅱ部（午後部）・Ⅲ部（夜間部）の中から自分の所属する部を選び、１日４時限ずつ４年間かけて学ぶことが基本ですが、他の部と合わせて１日に６時限の授業を受けられるため、３年で卒業することもできます。
・単位制なので、学習の進み具合に合わせて学習計画が立てられます。
・１学級30人で、習熟度別授業も行いますので、きめ細かい指導が受けられます。
・デザイン、ビジネス、ファッション等の特色ある科目を選択して学ぶことができます。

《昼夜間定時制高校一覧》

○一橋高校※
○新宿山吹高校※
○浅草高校
○荻窪高校
○八王子拓真高校
○砂川高校※

※一橋高校、新宿山吹高校及び砂川高校では、
併設している通信制課程との併修もできます。





八王子拓真高校（左）　少人数・習熟度別授業で、生徒それぞれの「わからない」に対応します。
（中央）スポーツ大会では、生徒一人一人が様々な競技に一生懸命取り組みます。
（右）　様々な相談の場所として、大きな相談室を設置しています。

7 特色ある教育活動を行う学校の紹介

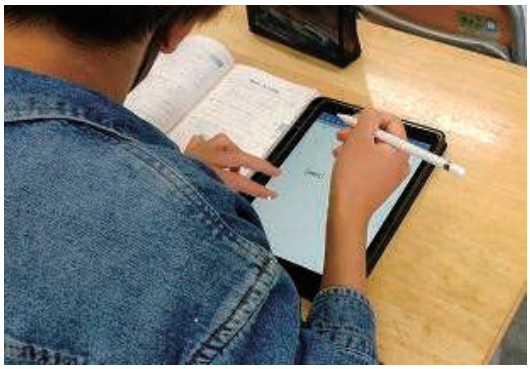
進学指導重点校

Q：「進学指導重点校」とは、どのような学校ですか？

A：難関国立大学や国公立大学医学部医学科への進学を実現するために必要な学習に取り組む学校です。進学指導重点校は、将来の日本のリーダーとなり得る高い資質をもった生徒に対し、国家や社会に対する責任と使命を自覚させるとともに、思考力、判断力、表現力を鍛え、難関国立大学等への進学希望も実現させるため、組織的・計画的に進学対策を推進し、都立高校全体をけん引する役割を担っています。

☆進学指導重点校の特色

・難関国立大学等への進学に対応した教育課程の編成
・自校作成問題による実力テストの実施
・土曜日や長期休業日等の補習・講習
・自習室の開放
・豊かな人間性や社会性を育む取組
（学校行事や部活動の充実、卒業生や各界の有識者による講演会、生徒同士の関わり合いの重視） 等



<青山高校：一人１台の学習者用端末を利用した学習の様子>

《進学指導重点校に指定されている学校》

指定期間：令和５年度から令和９年度まで

○日比谷高校　○西高校　○国立高校
○八王子東高校　○戸山高校　○青山高校　○立川高校

進学指導特別推進校

Q：「進学指導特別推進校」とは、どのような学校ですか？

A：国公立大学や難関私立大学等への進学を実現するために必要な学習に取り組む学校です。進学指導特別推進校は、生徒の進学希望に応えられるよう、学力向上に向けた進学指導を推進しています。将来の日本社会を支える高い資質をもった生徒の能力を一層伸長させ、進学希望を実現させるため、進学指導体制を充実させることにより、安定的な進学実績の確保に取り組んでいます。

☆進学指導特別推進校の特色

・国公立大学や難関私立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程の編成
・習熟度別授業や進路に関する個別相談
・土曜日や長期休業日等の補習・講習
・自習室や図書館の開放時間の延長



<駒場高校：国語授業風景>

《進学指導特別推進校に指定されている学校》

指定期間：令和５年度から令和９年度まで

○小山台高校　○駒場高校　○新宿高校
○町田高校　○国分寺高校　○国際高校
○小松川高校

進学指導推進校

Q：「進学指導推進校」とは、どのような学校ですか？
A：進学指導推進校では、生徒の進学希望を実現するため、優れた教育活動を実践するとともに、生徒の着実な学力の伸長を図り、進学実績の向上に取り組んでいます。
東京都教育委員会は、進学対策を進める都立高校の裾野を広げるため、全都的な配置バランス、地域のニーズ、過去の進学実績、進学指導に対する取り組み状況等を総合的に勘案して「進学指導推進校」を指定し、様々な支援を行っています。

☆進学指導推進校の特色

・国公立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程の編成
・１・２年生から大学受験を意識させるための個別面談やガイダンスの定期的な実施
・土曜日や長期休業日等の補習・講習
・家庭学習時間の定期的な把握や自習室の開放
・学力向上支援を実施


<江戸川高校：言語文化授業風景>

☆進学指導推進校の「学力向上支援」とは？

複雑化する大学入試に対応するため、これまでの通常の授業に加えて、塾や予備校等の民間事業者を活用して、土日・放課後・夏休み等の長期休業期間中に英語・数学等の講習を実施するものです。

《進学指導推進校に指定されている学校》

指定期間：令和５年度から令和９年度まで

○三田高校	○豊多摩高校	○竹早高校
○北園高校	○墨田川高校	○城東高校
○武蔵野北高校	○小金井北高校	○江北高校
○江戸川高校	○日野台高校	○調布北高校
○多摩科学技術高校	○上野高校	○昭和高校

進学指導研究校

Q：「進学指導研究校」とは、どのような学校ですか？
A：教科指導及び進学指導の実践力を高めるための研究協議を深めるとともに、生徒の進学希望を実現するための教育活動を積極的に行う学校です。
進学対策を進める都立高校の裾野を広げるために指定し、様々な支援を行っています。

☆進学指導研究校の特色

・学習状況や進路希望状況を踏まえた個人面談の実施
・学習到達度に応じた補習・補講の実施
・進学指導に対応した各教科の授業内容の研究

《進学指導研究校に指定されている学校》

指定期間：令和７年度から令和８年度まで

○板橋有徳高校	○小川高校	○永山高校
○翔陽高校	○東大和高校	○福生高校


<翔陽高校：図書室内の自習スペース>

進学指導等の充実事業推進校

Q：「進学指導等の充実事業推進校」とは、どのような学校ですか？
A：キャリア教育の視点に基づいた進路指導体制の構築を図るとともに、大学進学を目指す生徒一人一人に対して、進路希望や資質・能力に応じた指導を行う学校です。
進学対策を進める都立高校の裾野を広げるために指定し、様々な支援を行っています。

☆進学指導等の充実事業推進校の特色

・生徒一人一人の進路希望、学習状況、活動実績等の把握を踏まえた定期的な進路面談、学習指導等の実施
・外部人材を活用した放課後や長期休業期間中などの学習指導や自習室などの学習支援
・生徒が学習や進路に向けた準備に主体的に取り組むための自習室等の学習環境の整備


<南平高校：職員室前の自習スペースでの個別指導>

《進学指導等の充実事業推進校に指定されている学校》

指定期間： 令和８年度から令和10年度まで

○広尾高校	○新宿山吹高校	○向丘高校	○晴海総合高校	○大田桜台高校	○本所高校
○深川高校	○小岩高校	○科学技術高校	○芦花高校	○杉並高校	○神代高校
○狛江高校	○大崎高校	○雪谷高校	○田園調布高校	○目黒高校	○園芸高校
○文京高校	○武蔵丘高校	○石神井高校	○井草高校	○杉並工科高校	○豊島高校
○千早高校	○成瀬高校	○南平高校	○調布南高校	○府中高校	○保谷高校
○清瀬高校	○東大和南高校	○上水高校	○小平高校	○小平南高校	



東京サイエンスハイスクール

Q：「東京サイエンスハイスクール」とは、どのような学校ですか？
A：理数に係る高度な探究活動や、教科等横断的な新たな指導方法等に関する独自の研究開発課題を設定し、組織的に研究開発に取り組むとともに、構築した教育実践システムを他の高等学校等へ広める取組を行う学校です。

《東京サイエンスハイスクールに指定されている学校》

指定期間：令和６年度から令和８年度まで

〇白鷗高校　〇国立高校　〇武蔵高校

※白鷗高校、武蔵高校は、高校段階での募集を行っていません。

理数研究拠点校

Q：「理数研究拠点校」とは、どのような学校ですか？
A：理数分野について組織的な教育活動を実施し、大学等と連携した理数に関する取組、各種科学コンテスト等への参加及び研究成果をポスターにまとめた発表などを通して、生徒の科学的な探究活動の充実を図る学校です。

《理数研究拠点校に指定されている学校》

指定期間：令和８年度から令和10年度まで

〇竹早高校
〇西高校
〇三鷹中等教育学校
〇目黒高校
〇北園高校
〇町田高校
〇府中東高校
〇両国高校
〇調布北高校
〇雪谷高校
〇新宿高校
〇板橋高校
〇成瀬高校
〇清瀬高校
〇小松川高校
〇狛江高校
〇田園調布高校
〇深沢高校
〇大泉高校
〇八王子東高校

※両国高校、大泉高校は、高校段階での募集を行っていません。

Tokyo-IBL ハイスクール

Q：「Tokyo-IBLハイスクール」とは、どのような学校ですか？
A：「Tokyo-IBLハイスクール」は、指定校における探究的な学びを充実させ、各学校の特色化を実現します。相互発表会等を通じて指定校同士の連携を進め、各学校の探究的な学びに関する指導内容を発展させます。TIPS Forumで成果を共有し、都立高校全体で探究活動を推進するためのモデルとなる学校です。

☆Tokyo-IBLハイスクールでの取組
・指定校との相互成果発表会　　・TIPS Forumでの成果発表　等

《Tokyo-IBLハイスクールに指定されている学校》
指定期間：令和８年度　※単年度ごとに指定しますので、令和９年度の指定校は未定です。

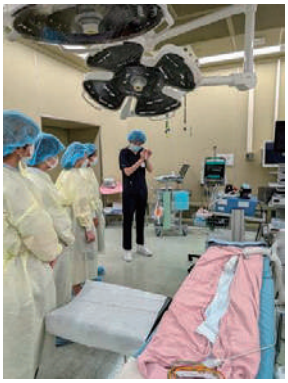
〇竹早高校　〇日本橋高校　〇両国高校
〇本所高校　〇小松川高校　〇葛西南高校
〇桜修館中等教育学校　〇町田高校　〇八王子東高校
〇日野高校　〇日野台高校　〇南平高校
〇小金井北高校　〇小平西高校
※両国高校は、高校段階での募集を行っていません。

チーム・メディカル

Q：「チーム・メディカル」とは、どのような取組ですか？
A：入学時に、医学部への進学を希望する生徒同士でクラス横断的なチームを結成し、互いに切磋琢磨（せっさたくま）し支え合いながら、希望の実現に向けて取り組むプログラムです。
総合的な進路指導と、病院の職場見学や医療関係者との交流、大学医学部の教授による模擬授業などのキャリア教育を通して、医療への理解を深め、医師になる志を育みます。

☆チーム・メディカルの取組
・医学部や病院等への見学・体験活動
・最先端医療に関する講演会
・医療関係者との交流・模擬授業
・論文指導　等

《実施している学校》
実施期間：平成28年度から
〇戸山高校

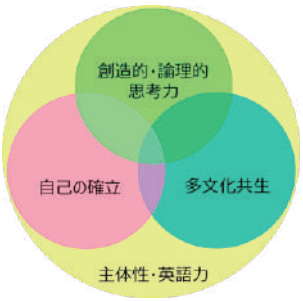
＜戸山高校：医学部や病院等の見学・体験活動の様子＞
（左）大学と連携した体験学習（東京女子医科大学）
（右）都立病院と連携した病院体験研修（都立広尾病院）

Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20

Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20 (GE-NET 20) は、東京グローバル人材育成指針に基づく先進的な取組を推進する学校です。「主体的に学び続ける態度と総合的な英語力の育成」、「国内外の課題を解決する創造的・論理的思考力の育成」、「世界の中の一員としての自覚と自己の確立」、「多文化共生の精神の涵養と協働する力の育成」など、将来、国際社会の様々な分野・組織で活躍できる人材の育成に資する取組を進めます。

☆GE-NET 20の主な取組

・英語等指導助手（JET）及び外国人英語等教育補助員（ALT）を活用した授業実践
・４技能（「聞く」「読む」「話す」「書く」）を測定する資格・検定試験の結果を踏まえた言語活動の実施
・持続可能な社会の実現に向けた国内外の課題に関する生徒の研究・発表の実施
・海外の学校等との継続的な国際交流の推進及び海外語学研修等の実施
・大使館や大学等の外部機関との連携による交流・講演会等の実施　等



★GE-NET 20における取組の視点

《GE-NET 20に指定されている学校》

指定期間：令和７年度から令和９年度まで
実施する取組の特色により、指定校を３つのグループに分けています。

【学問・探究グループ】… 外国語をツールとして探究的な学びを深める学校
〇日比谷高校　〇白鷗高校　〇深川高校　〇富士高校　〇西高校　〇戸山高校　〇大泉高校
〇八王子東高校　〇南多摩中等教育学校　〇武蔵野北高校

※白鷗高校、富士高校、大泉高校は、高校段階での募集を行っていません。

【対話・理解グループ】… 外国の生徒等との交流を通して世界の一員としての自覚を促す学校
〇小石川中等教育学校　〇三田高校　〇三鷹中等教育学校　〇国際高校　〇飛鳥高校
〇立川国際中等教育学校　〇小平高校

【実地・協働グループ】… 国内外の多様な他者との協働を通して社会貢献や地域貢献等に取り組む学校
〇大田桜台高校　〇千早高校　〇農産高校

Tokyo Metropolitan Global Education Network School for English Education

Tokyo Metropolitan Global Education Network School for English Education (GE-NET EE) は、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図るために英語教育の推進に重点を置く学校です。

☆GE-NET EEの主な取組

・ディベートやディスカッション、スピーチやプレゼンテーションなど英語の発信能力を高める英語授業の実践により４技能（「聞く」「読む」「話す」「書く」）の統合的な言語活動の充実を図る。
・資格・検定試験を活用して生徒の英語力を技能ごとに把握し、授業改善を図る。

《GE-NET EEに指定されている学校》

指定期間：令和７年度から令和９年度まで

〇江北高校　〇青山高校　〇竹早高校　〇上野高校　〇両国高校　〇城東高校
〇小松川高校　〇小岩高校　〇杉並高校　〇調布北高校　〇狛江高校　〇小山台高校
〇田園調布高校　〇駒場高校　〇新宿高校　〇桜修館中等教育学校　〇町田高校
〇成瀬高校　〇松が谷高校　〇日野台高校　〇翔陽高校　〇立川高校　〇昭和高校
〇国立高校　〇武蔵高校　〇小金井北高校　〇保谷高校　〇多摩科学技術高校
〇福生高校　〇国分寺高校

※両国高校、武蔵高校は、高校段階での募集を行っていません。

8 コースを設置する普通科高校の紹介

普通科コース

Q：普通科コースは、普通科とはどのように違うのですか？

A：普通科の中で、生徒の興味・関心や進路希望に応えられるよう、全ての生徒が履修することになっている基礎的な科目のほかに、特定の科目について一般に履修するよりも多く（20から25単位程度）履修できる教育課程で、1年生から、英語や美術など好きな科目を重点的に学ぶことができます。

☆コースを設置している学校の特色ある教育活動（令和9年度入試で募集を行う予定の学校〔コース〕）

○深川高校〔外国語コース〕

ＡＬＴ(※)及びＪＥＴ(※)による少人数授業（総合英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、エッセイライティングⅠ）、英語合宿（1年生・2年生）、オンライン英会話、海外語学研修（希望者）、外国語コース講演会（国際理解に関する講演）、各種英語検定試験、高校生英語ディベート・スピーチ大会等への参加。特徴的な授業や探究的活動を通し、英語力だけではなくグローバルな視点を身に付ける。

○片倉高校〔造形美術コース〕

〔1年生〕デッサンや絵画、彫刻、デザインなど美術全般の基礎学習、〔2年生〕アート専攻とデザイン専攻に分かれての選択授業、〔3年生〕洋画・日本画・彫刻・ビジュアルデザイン・クラフトデザインの五つの専攻に分かれての選択授業、美術系の授業は全て多展開の少人数授業

〔1年生〕学内展覧会、〔2年生〕学外展覧会、〔3年生〕卒業制作展（学外）

○松が谷高校〔外国語コース〕

ＡＬＴ及びＪＥＴによる少人数授業、ＰＣＬＬ(※)で映像を使った授業、英検全員受験、スピーチコンテスト、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート、英語多読、英語書評合戦、自由選択（韓国語・スペイン語）、大使館と連携した国際理解教室、海外語学研修（フィリピン・希望者）、国際交流行事等

○小平高校〔外国語コース〕

次世代リーダーズを含む海外の高校への留学指導、海外修学旅行（台湾）、第二外国語（中国語、ドイツ語、フランス語、韓国語、スペイン語）、夏期アメリカ語学研修、レシテーションコンテスト、海外からの留学生との国際交流事業、長期留学生のクラス受け入れ、オンライン英会話、英検受験（費用補助あり）、海外の大学への進学説明会、5人の外国人講師（英語）による少人数授業

※ＡＬＴ……外国人英語等教育補助員
※ＪＥＴ……海外から若者を招致し、語学指導等を行う指導者として、都道府県や区市町村が任用するもの
※ＰＣＬＬ…CALL対応PC教室（語学演習ができるPC教室）



<深川高校：海外語学研修>



<片倉高校：夏期講習「石膏デッサン」>



<松が谷高校：フィリピン留学>



<小平高校：留学生との国際交流>

9 島外生徒受入選考を活用した島しょの都立高校への進学について

島しょ以外の中学校又は他の島しょの中学校から島しょの都立高校を受検するためには、次のいずれかの応募要件に該当することが必要です。（※ただし、大島海洋国際高校は、寄宿舎を有しており、島しょ以外の中学生が受検することが可能なため除く。）

・島しょに保護者の1人以上とともに転居することが確実なこと。
・都内の中学生で、入学日までに島しょ在住の身元引受人になり得る親族と同居することが確実なこと。
・島しょの町村が独自に実施する**島外生徒受入選考**に合格していること。

（1）島外生徒受入選考とは

高校ごとの入学者選抜（学力検査）に先立って島しょの町村が独自で実施する選考のことです。同選考に合格することで、島しょの都立高校への応募資格が得られます。

高校ごとの入学者選抜合格後は、ホームステイや学生寮で自立した生活をしながら都立高校に通うことができます。

※実施する町村が確定するのは本年９月下旬から１０月上旬の予定です。
実施する町村は、東京都教育委員会のホームページ等に掲載します。

島外生徒受入事業HP →

（2）島外生徒受入選考を活用した際の島しょの都立高校入学までの流れ

島外生徒受入選考
実施する町村の確定（9月下旬から10月上旬予定）
島外生徒受入選考（11月下旬～12月中旬予定）
合　格（12月中旬～下旬予定）
（島しょ高校への応募資格を取得）

→ **都立高校の入学者選抜　受検**
→ **合　格**
→ **島しょ高校に入学**

（3）島外生徒受入選考の選考方法

島しょの町村が実施する書類選考及び面接

（4）過去の島外生徒受入選考実績

入学年度	令和５年度			令和６年度		令和７年度		令和８年度	
実施自治体	神津島村	八丈町	新島村	神津島村	新島村	神津島村	八丈町	大島町	神津島村
募集人数	５名程度	１名	２名	４名程度	２名	４名程度	２名程度	６名程度	４名程度
応募者数	17名	２名	４名	19名	２名	21名	５名	27名	18名
合格者数	５名	１名	２名	４名	２名	５名	２名	６名	４名


<学校の前に広がる砂浜（神津高校）>


<きめ細かな指導>

Q：令和９年度入学生において、どの島しょの町村で島外生徒受入選考を実施しますか？
A：現在、各島しょ町村と調整中で、本年９月下旬から１０月上旬に実施町村が確定する予定です。
Q：具体的な受入先はどうなりますか？
A：受入先は、島内の一般家庭でのホームステイや学生寮に住むなどの方法があります。

10 都立高校の入試の仕組み

都立高校の入試には、推薦に基づく入試（推薦入試）、学力検査に基づく入試（第一次募集・第二次募集・分割募集）、通信制課程の入試（前期選抜・後期選抜）があります。

なお、エンカレッジスクールやチャレンジスクールのように学力検査によらない入試を行う学校もあります。

推薦に基づく入試（推薦入試）

● 推薦入試の目的は、以下のとおりです。

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え、人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

● 推薦入試は、主に都立高校全日制課程で実施します。対象となるのは、以下の二つの条件を満たす生徒です。

（１）令和８年１２月３１日現在、都内在住で、都内の中学校に在学していて、入学後も引き続き都内に在住し、令和９年３月に都内の中学校を卒業する見込みの生徒
（２）志願する都立高校を**第１志望**とする生徒

● 推薦入試には、以下の３種類があります。

（１）一般推薦

○一般推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。
○検査は、集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査を組み合わせて実施します。集団討論、個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の内容については、各学校で定めます。
・個人面接は、原則として全ての学校で実施します。集団討論は必要と判断する学校で実施します。
・小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査は、それらの中から各学校が一つ以上を選んで実施します。
○選考は、調査書点のほか、集団討論及び個人面接、小論文又は作文、実技検査、その他学校が設定する検査の各点数を総合した成績で行います。

調査書点	集団討論・個人面接点	小論文又は作文点	実技検査点	その他学校が設定する検査の点数
総 合 成 績				

（２）文化・スポーツ等特別推薦

○文化・スポーツ等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。文化・スポーツ等特別推薦は、実施する学校と実施しない学校があります。また、募集人員は、一般推薦の募集人員に含まれます。
○検査は、文化・スポーツ等特別推薦を実施する全ての学校で、個人面接又は集団面接及び実技検査を実施します。作文など、その他の検査を実施する場合は、各学校で内容を定めます。
○選考は、調査書点のほか、個人面接又は集団面接、実技検査及び各学校が定めたその他の検査の各点数を総合した成績で行います。

（３）理数等特別推薦

○理数等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校長の推薦を受けた生徒が応募できます。
○検査は、理数等特別推薦を実施する立川高校の創造理数科及び科学技術高校の創造理数科で、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文を実施します。
○選考は、調査書点のほか、科学分野等の研究に関するレポートについての口頭試問、個人面接及び小論文の各点数を総合した成績で行います。

●推薦入試における調査書点は、調査書における各教科の観点別学習状況の評価（全２７観点）又は評定（９教科）のどちらか一方を点数化します。
点数化するに当たり、観点別学習状況の評価を用いる場合は、各都立高校の特色に応じて、特定の観点の配点を高くするなどして活用します。詳細については、５４、５５ページを御覧ください。
なお、エンカレッジスクールとして指定された都立高校は、観点別学習状況の評価を用います。
●各学校の募集人員に占める推薦入試の募集人員の割合については、１０月下旬に発行予定の「令和９年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

学力検査に基づく入試（第一次募集・第二次募集・分割募集）

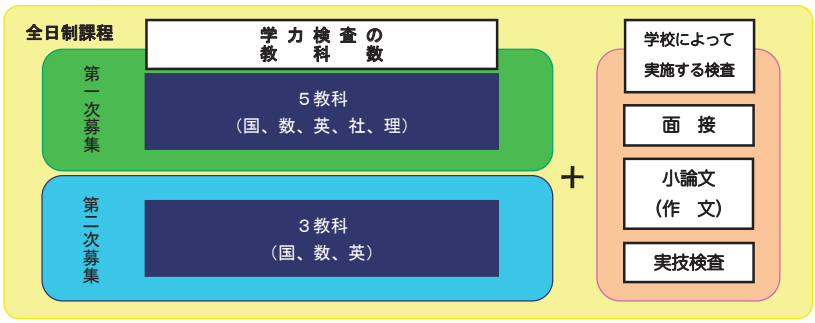
都立高校では、原則として全校が第一次募集を行います。第一次募集の結果、入学手続人員が募集人員に達しない学校は、第二次募集を行います。
ただし、一橋高校、八王子拓真高校、浅草高校、荻窪高校及び砂川高校においては、分割募集といい、あらかじめ募集人員を分割し、第一次募集期間における募集（分割前期募集）と第二次募集期間における募集（分割後期募集）の2回に分けて募集を行います。

●応募資格

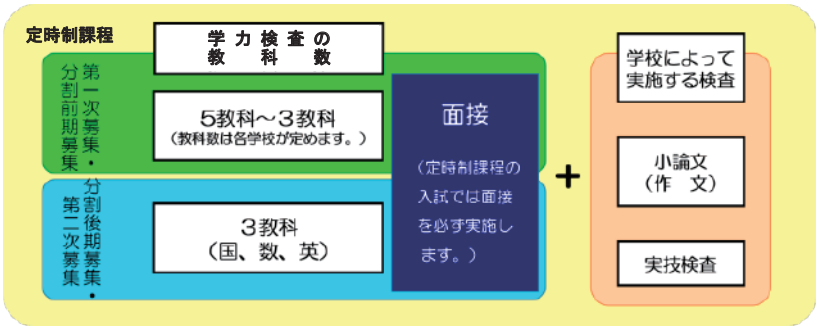
令和９年３月に中学校を卒業する見込み又は中学校を卒業していることが必要です。
全日制課程を志望する場合は、保護者と同居しており、都内に住所があり、入学後も引き続き都内から通学することが確実であることが必要です。
定時制課程を志望する場合は、都内に住所もしくは勤務先があり、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有すること、又は、入学日までに都内に住所もしくは勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有することが確実であることが必要です。

●受検教科

【全日制課程】
第一次募集では、原則として、国語、数学、英語、社会、理科の５教科を実施します（ただし、芸術及び体育に関する学科については、当該学科に関する能力、適性等をみるため実技検査を行うことから、学力検査は３教科となります。）。また、第二次募集では、原則として、国語、数学、英語の３教科を実施します。
なお、学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。



【定時制課程】
第一次募集・分割前期募集では、原則として、国語、数学、英語、社会、理科の５教科の中から３教科以上を実施します（実施する教科については、各学校が定めます。）。また、分割後期募集・第二次募集では、原則として、国語、数学、英語の３教科を実施します。第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集のどちらにおいても、面接を必ず実施します。
なお、学校によっては、学力検査と面接に加え、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。



●選考

学力検査の得点、調査書点及び点数化したスピーキングテスト結果のほか、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する学校ではこれらの点数を総合した成績で行います。

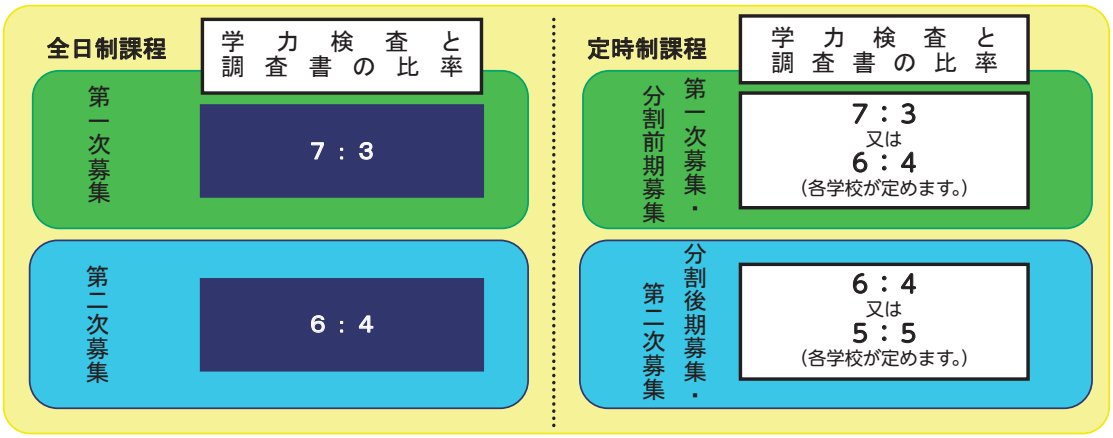
<table>
<tr><td>学力検査の
得 点</td><td>調 査 書 点</td><td>スピーキング
テスト結果</td><td rowspan="2">面 接 点 (※)</td><td rowspan="2">小論文又は
作文点 (※)</td><td rowspan="2">実技検査点 (※)</td></tr>
<tr><td colspan="3">総 合 得 点</td></tr>
<tr><td colspan="6">総 合 成 績</td></tr>
</table>

(※) 面接、小論文又は作文、実技検査は実施する学校と、実施しない学校とがあります。

●学力検査の得点と調査書点の比率

全日制課程の第一次募集では、原則として、「7：3」、第二次募集では、原則として、「6：4」になります（ただし、芸術及び体育に関する学科については、学力検査が3教科となることから、どちらの募集も「6：4」となります。）。また、定時制課程の第一次募集・分割前期募集では、原則として、「7：3」又は「6：4」のどちらかを各学校が定め、分割後期募集・第二次募集では、原則として、「6：4」又は「5：5」のどちらかを各学校が定めます。

※深沢高校については、13ページも併せて御覧ください。



●学力検査に基づく入試における調査書点

学力検査を5教科で実施する場合に、学力検査を実施しない実技4教科について、評定の合計を2倍にして、点数化します。学力検査が3教科（国語・数学・英語）の場合には、これらの教科を除いた6教科の評定の合計を2倍して、点数化することになります。

学力検査に基づく入試における調査書点の点数化については、56ページを御覧ください。

●その他

面接、小論文又は作文、実技検査の満点は、各学校で定めます。

「学力検査問題の自校作成」、「学力検査によらない入試」といった特色ある入試を実施する学校もあります（62～69ページのQ＆A参照）。

【 学力検査によらない入試 】

○チャレンジスクール（38ページ参照）では、調査書を用いず、また、学力検査を行わず、志願申告書、個人面接及び作文により選考を行います（調査書及び自己ＰＲカードの提出は不要です。）。

○エンカレッジスクール（39ページ参照）では、学力検査を行わず、調査書、面接、小論文又は作文及び実技検査の各得点を総合した成績で選考を行います。

通信制課程の入試（前期選抜・後期選抜）

通信制課程では、自宅等で学習し、レポートなどの添削指導を受けながら、定められた日（月２日程度）に登校し、面接指導（スクーリング）を受けることで学習を進めていきます。通信制課程の入試は、前期選抜と後期選抜の２回に分けて実施します。前期選抜は、第一次募集と同じ2月下旬に実施します。後期選抜は、４月上旬に実施します。

都立高校では、一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校の3校が通信制課程を設置しています。

●応募資格

ア　前期選抜

次の①又は②のどちらかに該当し、都内に住所もしくは勤務先があり、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有すること、又は、入学日までに都内に住所もしくは勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有することが確実であることが必要です。また、当該都立高校が実施する面接指導（スクーリング）に出席できることも必要です。

①令和９年３月に中学校を卒業する見込み又は既に中学校を卒業していること。

②相当年齢に達し、中学校を卒業と同等以上の学力があると認定されていること。

ただし、高校等を中途で退学した人は、高校等における単位を取得していない、又は高校等における修得単位数が当該都立高校で定める修得単位数以下で、かつ、修得単位を引き継がない場合に限ります。

※高等学校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍している場合は、応募できません。

イ　後期選抜

次の①又は②のどちらかに該当し、都内に住所もしくは勤務先があり、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有すること、又は、入学日までに都内に住所もしくは勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有することが確実であることが必要です。また、当該都立高校が実施する面接指導（スクーリング）に出席できることも必要です。

①令和９年３月に中学校を卒業する見込み又は既に中学校を卒業していること。

②相当年齢に達し、中学校を卒業と同等以上の学力があると認定されていること。

●学力検査

国語、数学、英語の３教科を総合した検査問題で実施します。

●選　考

選考方法については、各都立高校で定めます。

●その他

前期選抜では、通信制課程を設置する３校のうち、いずれか１校に出願することができます。また、通信制前期選抜と全日制や定時制の第一次募集の両方を志願することはできません。

後期選抜では、学力検査の日程が異なるため、３校にそれぞれ出願することができます。

11 インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査について

都立高校には、インフルエンザ等学校感染症の罹患や病気による入院等のために、第一次募集を受検できなかった生徒の受検機会を確保することを目的とした「追検査」という入試制度があります。追検査は、分割後期募集・全日制第二次募集と同日程で実施します。

なお、分割募集を実施する定時制及び通信制の学校は、追検査を実施しません。また、推薦入試や海外帰国生徒等対象の入試など、その他の選抜でも追検査は実施しません。

学校感染症等で検査を欠席した場合の申請について

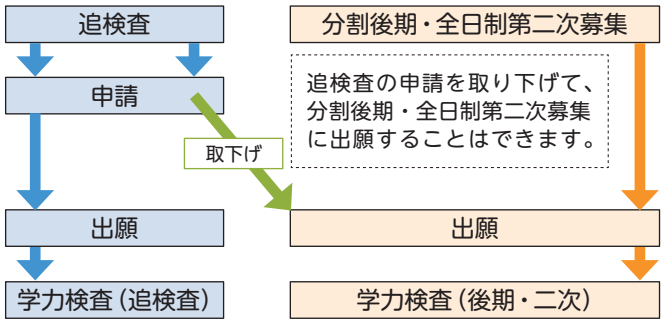
○学校感染症の罹患等により検査を欠席した場合で、追検査を希望するときは、中学校の先生に連絡し、相談してください（在籍する中学校から受検する高校へ欠席の連絡をすることになっています。）。
○中学校に連絡した後、速やかに追検査の措置申請書を中学校の先生にも確認してもらい、出願した高校へ提出します。
なお、既に中学校を卒業している人は、欠席の連絡と追検査の措置申請書の提出は、本人又は保護者が直接出願した高校に行います。
○出願日に、入学願書等のほか、医療機関の証明書（罹患証明書等）又は中学校長が出席停止の措置を行ったことを証明する書類を高校へ提出します。

追検査の日程

○追検査は、分割後期募集・全日制第二次募集と同じ日程で実施します。

○追検査に申請した人は、申請を取り下げて分割後期募集や全日制第二次募集に出願することはできますが、追検査か分割後期募集・全日制第二次募集かのどちらか一方にしか出願できません。また、分割後期募集・全日制第二次募集に出願後、出願を取り下げて追検査に再提出することもできません。

＜追検査実施の流れ＞



追検査の検査内容

○追検査では、国語・数学・英語の３教科の学力検査と、各学校で定める検査を組み合わせて実施します。各学校で定める検査内容については、中学校の先生又は都立高校に確認してください。
○追検査で使用する学力検査問題は、分割後期募集・全日制第二次募集と同一のものになります。

検査当日に向けて体調を整えることが大切です。うがい・手洗いをこまめに行い、体調管理をしっかり行うとともに、インフルエンザ等学校感染症に罹患した場合など万一のことを考え、追検査の制度について事前に確認をしておきましょう。

12 調査書の記載

(１) 推薦入試（一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦）における調査書点について

○推薦入試（一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦）では、観点別学習状況の評価（全２７観点）又は評定（９教科）のうち、どちらか一方を調査書点として点数化します。
以下の東京太郎さんの例で調査書点の点数化について説明します。

（例）東京太郎さんの各教科の観点別学習状況の評価及び評定

教科	国語			社会			数学			理科			音楽		
観点別学習状況	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
評価	B	A	A	A	A	A	B	C	B	B	B	B	B	A	B
評定	4			5			2			3			3		

① 評定を調査書点として点数化する学校（都立Ａ高校）の場合

・９教科の評定を点数化します。各教科に傾斜配点を設けません。

【 都立Ａ高校 】 ○ 調査書点の満点が４５０点の場合

▶ **調査書点は、 ４５０点×３３点÷４５点＝３３０点** となります。

② 各学校の求める生徒の姿に応じて、観点別学習状況の評価を調査書点として点数化する学校の場合

・９教科（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語（英語））の全２７観点の評価（A・B・C）を点数化します。
・各教科の特定の観点を重視する学校（都立Ｂ高校）や 、特定の教科を重視する学校（都立Ｃ高校）があります。

【 都立Ｂ高校 】 ○ 観点別学習状況のうち、「主体的に学習に取り組む態度」を重視する学校
○ 調査書点の満点が１８０点

教　科　名		国語			社会			数学			理科			音楽		
評価の観点		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
都立Ｂ高校の配点	A	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10
	B	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

▶ 「A」の配点を合計した「評価の得点の満点」１８０点を「調査書点の満点」１８０点に比例換算します。

【 都立Ｃ高校 】 ○ 数学、理科、美術、技術・家庭の教科を重視する学校
○ 調査書点の満点が３９０点

教　科　名		国語			社会			数学			理科			音楽		
評価の観点		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
都立Ｃ高校の配点	A	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	5	5	5
	B	3	3	3	3	3	3	7	7	7	7	7	7	3	3	3
	C	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

▶ 「A」の配点を合計した「評価の得点の満点」１９５点を「調査書点の満点」３９０点に比例換算します。

各学校が調査書点を点数化するときに、観点別学習状況の評価と評定のうち、どちらを活用するかと、各学校が定める調査書点の満点が何点になるかについては、10月下旬に発行予定の「令和9年度東京都立高等学校募集案内」に明示します。

美　術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ
B	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A	A
3			5			3			5		

○ 各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価したもの

A:「十分満足できる」状況と判断されるもの

B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの

C:「努力を要する」状況と判断されるもの

「**都立A高校**」を受検する場合の調査書点

330点

〈重視する観点〉　A:10点　B:3点　C:1点

〈その他の観点〉　A:5点　B:3点　C:1点

美　術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）			評価の得点の満点	調査書点の満点
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
5	5	10	5	5	10	5	5	10	5	5	10	180	180
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

「**都立B高校**」を受検する場合の調査書点

127点

東京太郎さんの場合、観点別学習状況の評価の得点は、網掛け部分を合計した127点となるので、

調査書点は、　180点×127点÷180点＝127点　となります。

〈重視する教科の観点〉　A:10点　B:7点　C:1点

〈その他の教科の観点〉　A:5点　B:3点　C:1点

美　術			保健体育			技術・家庭			外国語（英語）			評価の得点の満点	調査書点の満点
Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
10	10	10	5	5	5	10	10	10	5	5	5	195	390
7	7	7	3	3	3	7	7	7	3	3	3		
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

「**都立C高校**」を受検する場合の調査書点

306点

東京太郎さんの場合、観点別学習状況の評価の得点は、網掛け部分を合計した153点となるので、

調査書点は、　390点×153点÷195点＝306点　となります。

（２）学力検査に基づく入試（第一次募集・第二次募集・分割募集）における調査書点について

○学力検査に基づく入試では、評定を調査書点として点数化します。
○調査書点は、次の表のとおり、学力検査を実施する教科の評定を１倍、学力検査を実施しない教科の評定を**２倍**して、算出します。

学力検査の教科	１倍する教科	２倍する教科	評定の満点
５教科（国・数・英・社・理）の場合	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	６５点
３教科（国・数・英）の場合	国・数・英	社・理・音・美・保体・技家	７５点

（注）「評定の満点」は、各教科の評定が全て「５」である場合

○以下の東京花子さんの例で調査書点の点数化について説明します。

（例）東京花子さんの各教科の評定

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語（英語）
5	4	3	3	3	4	5	3	5

① 学力検査を５教科（国・数・英・社・理）、学力検査の得点と調査書点の比率を「７：３」で実施する学校の場合

学力検査の得点と調査書点の合計点は１０００点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「７：３」の場合、調査書点の満点は３００点となります。

・学力検査を実施する教科（国・数・英・社・理）の評定の合計は、５＋３＋５＋４＋３＝２０点
・学力検査を実施しない教科（音・美・保体・技家）の評定の合計は、（３＋４＋５＋３）**×２**＝３０点

これらを足すと、２０点＋３０点＝５０点　となります。

このため、東京花子さんの調査書点は、
３００点×５０点÷６５点（評定の満点）＝２３０点　となります。※小数点以下が発生した場合は切り捨て

② 学力検査を３教科（国・数・英）、学力検査の得点と調査書点の比率を「６：４」で実施する学校の場合

学力検査の得点と調査書点の合計点は１０００点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が「６：４」の場合、調査書点の満点は４００点となります。

・学力検査を実施する教科（国・数・英）の評定の合計は、５＋３＋５＝１３点
・学力検査を実施しない教科（社・理・音・美・保体・技家）の評定の合計は、(4+3+3+4+5+3)**×2**＝４４点

これらを足すと、１３点＋４４点＝５７点　となります。

このため、東京花子さんの調査書点は、
４００点×５７点÷７５点（評定の満点）＝３０４点　となります。※小数点以下が発生した場合は切り捨て

学力検査に基づく入試（第一次募集・第二次募集・分割募集）では、上記のとおり、評定を調査書点として点数化しますが、エンカレッジスクール（３９ページ参照）では、各教科の観点別学習状況の評価を用いて調査書点を算出します。

（３）都立高校入試における中学校3年生対象の中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）の結果活用について

〇都立高校入試では、中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 3）（以下「スピーキングテスト」といいます。）の結果を活用します。

①スピーキングテスト結果の都立高校への提出について

中学校は、スピーキングテスト結果として提供を受けた６段階の評価を、生徒の調査書に記載します。調査書は、生徒の志願先の都立高校へ提出します。

スピーキングテスト受験から結果を都立高校へ提出するまで

令和８年１１月２２日（日）
（追・再試験日）１２月１３日（日）
スピーキングテスト受験

令和９年１月中旬以降
スピーキングテスト
個人及び中学校
個人レポートの受取

令和９年２月上旬
都立高校へ
調査書の提出



調査書の「諸活動の記録」欄内に記載する。

②スピーキングテスト結果の都立高校入試における活用区分について

スピーキングテスト結果は、第一次募集・分割前期募集において活用します。
（エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校は対象外です。）

③評価の点数化について

都立高校ではＡからＦまでの６段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点の点数として取り扱います。

スピーキングテスト結果（評価）	A	B	C	D	E	F
都立高校で取り扱う点数	２０点	１６点	１２点	８点	４点	０点

④総合得点の算出について

都立高校では、学力検査の得点と調査書点の合計（１０００点満点）にスピーキングテスト結果の点数を加え、総合得点を算出します。

【第一次募集・分割前期募集】

学力検査の得点	７：３	調査書点		スピーキングテスト結果	
５００点 １００点×５教科		６５点 （５教科×５）＋（４教科×５×２）			
⬇		⬇		⬇	
７００点（換算後）	＋	**３００点（換算後）**	＋	**２０点（調査書に記載）**	＝１０２０点

⑤不受験者の扱いについて

スピーキングテスト不受験者については、都立高校入試において不利にならないように取り扱います。

(1)不受験者とは、次のア又はイに該当する者とします。

ア　東京都の公立中学校等に在籍する者のうち、スピーキングテスト実施日（追・再試験日を含む。）に、インフルエンザ等に罹患した者、学校保健安全法第１９条により中学校長が出席停止の措置を行った者及び受験者本人の責めによらず、やむを得ない理由（病気で入院、交通事故により負傷等）により受験することができなかった者

イ　スピーキングテスト実施日時点で、東京都の公立中学校等に在籍していないため、スピーキングテストを受験していない者（国私立中学校在籍者、他県中学校在籍者 等）

(2)不受験者については、「仮のスピーキングテスト結果」を次のとおり算出します。

英語学力検査の得点で順位を決め、不受験者と英語学力検査の得点が同じ者のスピーキングテスト結果を「③評価の点数化について」に基づいてそれぞれ点数化し、その平均値により、不受験者の「仮のスピーキングテスト結果」を求めます。

その際、平均値が18点以上はA、14点以上18点未満はB、10点以上14点未満はC、6点以上10点未満はD、2点以上6点未満はE、2点未満はFとします。

右の表では、英語の学力検査の得点が同じ者のスピーキングテスト結果はAが3名、Bが5名、Cが2名であり、平均値は16.4点となるため、不受験者の「仮のスピーキングテスト結果」はBになります。

英語学力検査の順位	英語学力検査の得点	ESAT-J YEAR3結果
３６	７８	A
３７	７６	B
３８	７５	A
３８	７５	B
３８	７５	A
３８	７５	B
３８	７５	C
３８	**７５**	**不受験者**
３８	７５	A
３８	７５	B
３８	７５	B
３８	７５	B
３８	７５	C
４９	７４	B

不受験者の換算方法の詳細はこちら　⇒

13 マークシート方式による学力検査

第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集において、共通問題を使用して学力検査を実施する全ての高校で「マークシート方式」による学力検査を実施します。

ここでは、「マークシート方式」の問題の特徴やマーク欄の塗り方の注意事項などについて紹介します。

マークシート方式の問題の特徴

Q：マークシート方式による学力検査では、どのように解答するのですか。

A：マークシート方式による学力検査のうち、記号を選択する問題では、「ア、イ、ウ、エ」等の記号を書くのではなく、記号のマーク欄を塗って解答します。記述式の問題では、解答欄に解答を記述することになります。

Q：マークシート方式を実施しない高校はありますか。

A：次の①のとおり、第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集において、マークシート方式ではない学力検査問題で入試を行う高校があります。また、障害のある受検者に対する受検上の配慮など、受検上の配慮を申請した場合にも、申請の内容によって、②のとおり、マークシート方式による学力検査を実施しない場合があります。マークシート方式ではない学力検査問題では、③のとおり、選択した記号や解答などを解答欄に記述することになります。

＜ ① マークシート方式ではない学力検査問題で入試を行う高校 ＞

	マークシート方式により実施しない教科	備　　考
全日制自校作成校 (※1)	国語、数学、英語	社会、理科はマークシート方式
国際高校 (※1)	英語	英語以外はマークシート方式
定時制自校作成校 (※2)	自校で作成する教科 (※2)	

※１　学力検査問題を自校で作成する高校については、６３ページのQ&Aを参照してください。

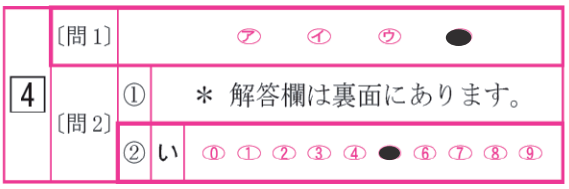
※２　定時制自校作成校及び自校で作成する教科の詳細については、１０月下旬に発行予定の「令和９年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

＜ ② 受検上の配慮を申請した場合 ＞

障害のある受検者に対する受検上の配慮や、事故や病気等による学力検査等実施上の配慮を申請した場合、配慮の内容によってマークシート方式ではないことがあります。

＜ ③ マークシート方式ではない場合の解答方法 ＞

マークシート方式の場合の解答方法



マークシート方式ではない場合の解答方法

4	〔問１〕	エ	
	〔問２〕	①	（　省略　）
		②	い　5

マーク欄の塗り方

Q：マーク欄を塗るときに使う筆記用具は何がよいですか。また、どのように塗ればよいですか。

A：筆記用具やマーク欄の塗り方については、次の点に注意しましょう。

筆記用具について

筆記用具は、鉛筆が適しています。シャープペンシルも使用できますが、極細芯のシャープペンシルを使用すると、消しゴムで消したときに書いた跡が残る場合があるので、避けた方がよいでしょう。

シャープペンシルを使用する場合には、芯の太さが0.5mm以上のものにしましょう。

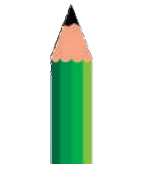
筆記用具の芯の濃さについて

固い芯の筆記用具の場合、塗りつぶしが薄くなったり、消したときに書いた跡が残ったりすることがあります。HB又はBの濃さの筆記用具を使用するとよいでしょう。

マーク欄の塗り方について

決められた枠内を次の例に従って丁寧に塗りつぶしましょう。多少、はみ出しても大丈夫ですが、悪い例のような場合は、読み取りエラーが起こる可能性があるので注意しましょう。

良い例



悪い例

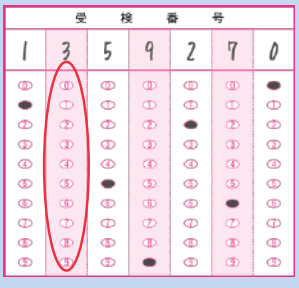


- 線しか書いておらず、塗りつぶしていない。
- 塗りつぶし箇所が小さい。
- はみ出している。
- 輪郭をなぞって、塗りつぶしていない。
- レ点を記入して、塗りつぶしていない。
- 塗りつぶしが薄い。

気を付けよう！ マークミス事例集

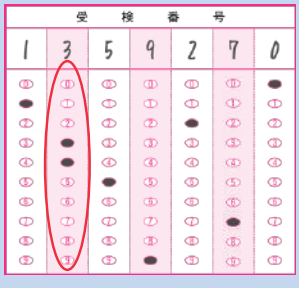
マーク欄を塗るときに、不注意などから塗り間違えてしまうことがあります。そういった塗り間違いの中でも、特に間違いやすいものについて、受検番号欄を例に紹介します。受検番号欄や解答欄のマーク欄を塗るときには、これらの事例に注意するとともに、慌てず丁寧に塗るようにしましょう。また、マーク欄を塗り間違えたときは、消しゴムで丁寧に消してから正しいマーク欄を塗るようにしましょう。

事例1 マーク漏れ



7桁のマーク欄のうち塗られていないマーク欄がある。

事例2 複数マーク



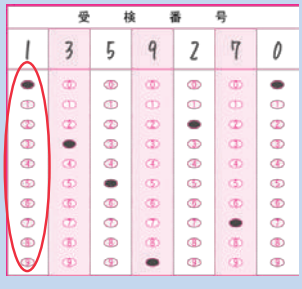
同一の桁のマーク欄を複数塗っている。

事例3 桁間違い



別の桁のマーク欄を誤って塗っている。

事例4 0と1の間違い



一番上のマーク欄が「1」だと勘違いして、「0」のマーク欄を塗っている。

東京都教育委員会のホームページには、令和８年度入試問題を掲載していますので、マーク欄の塗り方を練習する際などに活用してください（東京都教育委員会のホームページのＵＲＬは、この冊子の裏表紙を確認してください。）。

14 在京外国人生徒等対象の入試について

■在京外国人生徒等対象の入試とは

都立高校における在京外国人生徒等対象の入試は、日本語指導が必要な方を対象としており、国籍を問わず、日本に入国後３年以内など、一定の応募資格を満たせば、受検をすることができます。

在京外国人生徒等対象の入試を実施する学校は、全日制課程では、竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、国際高校の８校、定時制課程では、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、砂川高校の４校です。

検査内容は、作文と面接です。言語については、それぞれの検査において日本語又は英語を選択することができます。

なお、在京外国人生徒等対象の選抜における日本語の検査問題については、受検者全員に対して、ひらがなのルビを振った問題で実施しています。そのため、日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の配慮申請書（ルビ付問題）を提出する必要はありません。

在京外国人生徒等対象の入試は、一般入試（学力検査に基づく入試（第一次募集・分割前期募集））よりも前の日程で行いますので、在京外国人生徒等対象の入試と一般入試を併願することができます。ただし、在京外国人生徒等対象の入試で合格した場合は、一般入試を受検することはできません。

一般入試を受検する場合、日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮の申請をすることができます。詳細は８０ページを御覧ください。

■在京外国人生徒等対象の入試のための事前応募資格確認について

在京外国人生徒等対象の入試における応募資格の有無は、入学願書を提出する際に各学校で確認しますが、東京都教育委員会では事前に応募資格の有無を確認する機会を設けています。

入学願書提出時に必要な書類が不足し、すぐに提出することができない場合、受検ができなくなることもあります。できる限り、事前に応募資格確認を受けるようにしてください。

事前の応募資格確認は、東京都庁で11月から12月にかけて計３回行う予定です。なお、参加には事前の予約が必要になります。詳細は、10月以降東京都教育委員会のホームページでお知らせしますので確認してください。また、事前応募資格確認は在京外国人生徒等対象の入試を行う志願先の学校でも行っています。

15 都立高校入試 インターネット出願について

令和９年度都立高校入試（推薦、第一次募集・分割前期募集、国際バカロレア（ＩＢ）コース、海外帰国生徒対象入試（４月入学）、在京外国人生徒等対象入試（国際高校）、通信制（前期選抜））において、インターネットを活用した出願（以下「インターネット出願」といいます。）を実施します。

インターネット出願の手続きの流れは以下のとおりです。

インターネット出願サイトにアクセス	出願サイトにアクセスし、ユーザＩＤを取得します。
顔写真の登録	顔写真データ（JPEG形式又はPNG形式）を用意し、出願サイトに顔写真を登録します。
志願者情報の入力	志願者氏名、生年月日、中学校名、保護者名、現住所等を入力します。
出願情報の承認（中学校が行う）	中学校で出願情報の確認を行い、必要に応じて修正します。 内容に問題がなければ中学校が承認します。 ※都外の中学校等に在学している場合や、中学校等に在学していない場合は、この承認手続はありません。
入学考査料の支払い	中学校から出願の承認を受けたら、入学考査料の支払いの手続きができるようになります。 クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easyによる支払い、納付書による支払いのいずれかを選択して支払います。
提出書類の郵送	**【都内の中学校等に在学している場合】** 出願に必要な書類は**在学している中学校**から都立高校へ、郵送により提出します。 **【都内の中学校等に在学していない場合】** 出願に必要な書類は**志願者本人（又は保護者）**から都立高校へ簡易書留郵便等により直接送付します。
取下げ・再提出（必要な場合のみ）	※志願を取り下げた都立高校への再提出はできません。
受検票のダウンロード・印刷	都立高校で出願書類等の確認を行い、書類不備等がなければ受検票をダウンロードできるようになります。 受検票はご家庭のプリンターやコンビニエンスストア等で印刷をしてください。
入　試	検査日当日は、印刷した受検票を必ず持参してください。
合格発表	専用の合否照会サイトで、合否照会を行います。 合否の照会には、受検番号とパスワードが必要です。

※出願に際し、インターネットに接続できる環境（パソコン・スマートフォン・タブレット端末）が必要となります。
※事情があり、インターネット出願を行えない方については、別途対応を御案内します。
※本ページの記載は、令和８年度入試の内容に基づくものであり、今後変更が生じる可能性があります。

16 都立高校の入試について Q&A

Q１　都立高校には様々なタイプの学校があるようですが、各高校の特色を知るにはどうしたらよいですか。

A１　各学校のホームページのほかに、都立学校魅力ＰＲ動画「まなびゅ～」や、特設サイト「＃だから都立高」を活用することで、各高校の特色や魅力を知ることができます。ぜひ活用してみてください。

※詳細は表紙裏面を御覧ください。

まなびゅ～動画リンク集はこちら　⇒

Q２　推薦入試で必ず実施される、個人面接について教えてください。

A２　個人面接では、出願の動機・理由、興味・関心、高校生活に対する意欲、適性、規範意識・生活態度や自己ＰＲカードの記載内容、中学校における様々な活動の状況及び将来の進路希望などを確かめたり、質問の内容を的確に把握し適切に応答する能力や表現力などを評価したりします。また、これまでの経験を今後の高校生活に生かすことができる力があるかなどを確認します。

Q３　推薦入試の集団討論の内容を教えてください。

A３　集団討論では、コミュニケーション能力や協調性、思考力、判断力、表現力などを評価します。与えられたテーマについて自分の考えを明確に述べることができるか、複数名の受検生同士が協力して一つのテーマに関して議論を進めて結論を導くことができるかなどを確認します。

学級活動の時間に話し合いをしたことや、各教科の授業時間に皆で意見交換をしたことがあると思います。その経験を生かし、「自分自身の考え・意見をしっかりともつこと」、「相手の考えを理解した上で、自分の考えを的確に相手に伝えること」などを意識して臨んでください。

なお、集団討論の形態には、「面接官が司会役となって議論を進めていく形」や「受検生だけで自主的に議論を進めていく形」があります。どの形態で行うかは、各高校が決めることになります。

Q４　文化・スポーツ等特別推薦とはどのような推薦入試ですか。

A４　皆さんが今までつちかってきた運動の技量や芸術的な感性など優れた能力を評価するとともに、各高校の個性化や特色化を推進するための入試です。

文化・スポーツ等特別推薦を実施する高校は、自校の教育活動等の特色に合わせて募集する種目や募集人数、検査内容を定めています。また、選考の際は、個人面接又は集団面接、実技検査、小論文又は作文などの各点数を基に、各高校で定めた各種目の基準に達している受検生の中から、合格者を決定します。

令和８年度入試では、**９１校**で実施しました。

なお、この特別推薦と同時に、同一校の一般推薦にも出願することができます。

詳しくは、１０月下旬に発行予定の「令和９年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

※　文化・スポーツ等特別推薦により高校に入学した場合でも、必ずしも特定の顧問からの指導が受けられるわけではありません。

Q５　推薦入試で合格できなかった都立高校を、学力検査に基づく入試で再度受検できますか。

A５　受検できます。ただし、推薦入試と同じ学校を受検しても有利になるということはありません。また、他の都立高校に出願し、受検することもできます。

なお、都立高校ではいずれかの入試（推薦、第一次募集・分割前期募集、分割後期募集・第二次募集等）の合格者は、それ以降に行われる入試には出願できません。

Q６　国際高校に設置されている国際バカロレアコースには、どのような人が応募できますか。また、どのような検査を実施するのですか。

A６　次の１又は２に該当し、国際高校の国際バカロレアコースを第１志望とする生徒が応募できます。

１　日本人生徒募集

日本国籍を有し、第一次募集・分割前期募集における都立高校の全日制の応募資格に該当し、高校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者

２　外国人生徒募集

外国籍を有し、第一次募集・分割前期募集における都立高校の全日制の応募資格に該当し、高校、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程又は高等専門学校に在籍していない者

推薦入試と同じ日に検査を実施するので、他の高校の推薦入試（国際高校を含む。）に出願することはできません。

英語運用能力検査、数学活用能力検査、小論文及び個人面接の検査を実施します。

なお、英語運用能力検査以外の検査では、出願時に、検査ごとに使用する言語を日本語又は英語から選ぶことができます。どちらを選んでも、有利・不利はありません。

国際バカロレアコースの詳しい応募資格や内容等については、国際高校に問い合わせていただくか、１０月下旬に発行予定の「令和９年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

Q７　分割募集について教えてください。

A７　分割募集とは、募集人員をあらかじめ分割し、２回に分けて募集を行う方法です。第一次募集と同日程に実施する募集（分割前期募集）と、第二次募集と同日程に実施する募集（分割後期募集）があります。一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校、砂川高校の５校の昼夜間定時制高校で実施しています。

第二次募集は第一次募集で定員が満たなかった学校が実施するのに対して、分割後期募集は必ず実施します。

Q８　学力検査問題を自校で作成する高校について教えてください。

A８　全日制高校のうち以下の１０校では、第一次募集において、学力検査問題を自校で作成します。これらの学校については、自校で作成した問題（国語、数学、英語）と都立高校共通問題（社会、理科）で学力検査を実施します。

学校名	作成方法
日比谷高校、戸山高校、青山高校、西高校、八王子東高校、立川高校、国立高校、新宿高校、墨田川高校、国分寺高校	国語、数学、英語の学力検査問題をそれぞれの高校（自校）で作成

なお、国際高校については、英語の学力検査問題のみを自校で作成しています。

また、一部の定時制高校及び通信制高校でも、自校で作成した問題により入試を行っています。

Q９　入学願書を提出した後、志望校の変更はできますか。

Ａ９　推薦入試では、志望校を変更することは一切できません。

学力検査に基づく入試では、全日制の都立高校で入学願書の取下げ・再提出期間に限り、志望校の変更（取下げ及び再提出）ができます。また、定時制の都立高校のうち、六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校、立川緑高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、八王子拓真高校及び砂川高校の各昼夜間定時制高校においては入学願書の取下げ・再提出期間に限り、志望校の変更ができます。

なお、その他の定時制高校及び通信制高校の選抜では志望校の変更はできません。

詳しくは、１０月下旬に発行予定の「令和９年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。

Q１０　入学願書はどのように入手するのですか。

Ａ１０　「推薦に基づく入試」、「学力検査に基づく入試（第一次募集・分割前期募集）」、「国際バカロレア（ＩＢ）コース」、「海外帰国生徒対象入試」、「在京外国人生徒等対象の入試（国際高校）」及び「通信制（前期選抜）」では、原則としてインターネットを通じて出願を行うため、紙の入学願書は必要ありません。「学力検査に基づく入試（分割後期募集・第二次募集）」用の入学願書は、都内公立中学校に在学している方には在学する中学校で配布します。それ以外の方には東京都教育相談センター（郵送対応可）、各都立高校、都庁内にある都立高校入試相談コーナーで配布します。入学願書の配布時期は、12月上旬ごろからとなります。やむを得ない事情により、インターネット出願を行えず、紙の入学願書を使用する場合も同様です。ただし、「国際バカロレア（ＩＢ）コース」、「海外帰国生徒対象の入試」、「在京外国人生徒等対象の入試（国際高校）」、「通信制（前期選抜）」について、やむを得ない事情によりインターネット出願を行えず、紙の入学願書を使用する場合は、都立高校共通の入学願書ではなく、独自様式の入学願書を用いますので、各高校へお問い合わせください。

なお、以下に記載のある高校を受検する場合は、各校独自の入学願書となりますので、各高校に問い合わせてください。

○ 次の昼夜間定時制高校※

一橋高校、新宿山吹高校

※八王子拓真高校、砂川高校、浅草高校及び荻窪高校は都立高校共通の入学願書を使用しますが、記入の仕方については直接各学校に問い合わせてください。

○ チャレンジスクール※

六本木高校、大江戸高校、世田谷泉高校、稔ヶ丘高校、桐ヶ丘高校、小台橋高校、立川緑高校

○ 通信制課程の高校※

一橋高校、新宿山吹高校、砂川高校

○ 引揚生徒対象の高校

深川高校、光丘高校、富士森高校

○ 在京外国人生徒等対象の高校

竹台高校、田柄高校、南葛飾高校、府中西高校、飛鳥高校、六郷工科高校、杉並総合高校、一橋高校、浅草高校、荻窪高校、砂川高校

※「学力検査に基づく入試（第一次募集・分割前期募集）」及び「通信制課程（前期選抜）」を受検する場合には、インターネット出願を行い、「学力検査に基づく入試（分割後期募集・第二次募集）」及び「通信制課程（後期選抜）」を受検する場合には、各校独自の入学願書を使用します。

Q１１　学力検査の実施日直前に急にけがをしたり病気になったりした場合は、どのような手続きをとればよいのでしょうか。

A11　まず、体調面で受検することが可能か、医師や中学校の先生、保護者の方に相談してください。
　受検ができるようであり、受検上の配慮が必要な場合は、在学する中学校を通して出願した高校に相談し、「事故や病気等による学力検査等実施上の配慮申請書」等により、必要な手続きを行ってください（都内の中学校に在学していない場合は、配慮申請のための手続き等について、直接、出願した高校に相談してください。）。

Q１２　都内在住で都外の中学校に通っていますが、全日制の都立高校に応募できますか。

A12　以下のいずれかの条件に当てはまる場合には、応募することが可能です。
・保護者が父母である場合は父母の両方と同居している場合
・父母のどちらか一方が志願者と同居できない理由が、介護や病気療養等の特別の事情（Ａ１６の※２参照）による場合
・志願者と保護者がやむを得ず別居中であると、志願者の在学する中学校の校長が認めた場合（具申書の提出が必要です。）

Q１３　中学校を卒業後、都外へ引っ越すことが決まっていますが、全日制の都立高校に応募できますか。

A13　応募することはできません。
　全日制の都立高校への応募は、都内に保護者（Ａ１６の※１参照）と同居し、入学後も引き続き都内から通学することが確実であることが条件です。
　中学校を卒業後、都外へ引っ越すことが決まっていて公立高校の受検を希望する場合は、引っ越し先の道府県の公立高校に応募することになります。
　なお、定時制の都立高校へは、志願者が都内に住所又は勤務先があれば応募することができます。

Q１４　現在、一家で都外に住んでおり、母とともに都内に転入（父は単身赴任で別居（都外））する予定ですが、全日制の都立高校に応募できますか。

A14　Ａ１６の「特別の事情（Ａ１６の※２参照）」に該当しない場合には、保護者（Ａ１６の※１参照）と都内に転入しなければ、全日制の都立高校に応募することはできません。
　都立高校に応募する場合には、出願時に、転居前の道府県の公立高校を志願しないことを証明する書類・転居を証明する書類などの提出が必要です。
　なお、定時制の都立高校へは、志願者が都内に住所又は勤務先があれば応募することができます。

Q１５　現在海外に住んでいますが、全日制の都立高校に応募できますか。

A15　日本人学校（在外教育施設）や現地の学校などにおいて、学校教育における９年の課程を修了する見込み又は修了した生徒については、入学日までに保護者（Ａ１６の※１参照）と都内に転入することが確実な場合には、どの都立高校にも応募することができます。
　また、三田高校、竹早高校、日野台高校及び国際高校では、一定の応募資格の下、海外帰国生徒等対象の入試（４月入学・９月入学）を実施しています。
　詳しくは各高校又は裏表紙に記載してある都立高校入試相談コーナーに問い合わせてください。

Q１６　現在都外に住んでいますが、全日制の都立高校に応募できますか。

A16 入学日までに保護者（※1）と都内に転入することが確実な場合には、どの都立高校にも応募することができます。ただし、一時的に都内に転入することがあっても、入学後再び都外に、志願者、保護者又は志願者と保護者が転居する予定のある場合には、応募することはできません。

また、保護者が父母であり、特別の事情（※2）により父母のどちらか一方が都内に転居できない場合は、その理由を明記するとともに必要な書類を提出して審査を受けた上で、応募資格を認められることがあります。どのような場合でも認められるということではありません。

応募資格や必要な手続きの詳細については、裏表紙に記載してある都立高校入試相談コーナーに問い合わせてください。

※１　保護者とは、本人に対し親権を行う者であって、原則として父母のことを言います。

※２　特別の事情の考え方

「特別の事情」とは、次の(1)～(4)のいずれかに該当する場合です。

(1) 父母のどちらか一方が都内に転入することができない理由が、介護、病気療養（又は出産）のためであり、志願者にとって、都内に転入（在住）する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合
　※　病気療養については、志願者の保護者又は志願者の兄弟姉妹が病気療養中である場合を対象とします。

(2) 父母のどちらか一方が都内に転入する理由が、介護のためであり、志願者にとって、都内に転入する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合
　※　介護については、志願者の２親等内の親族が、要介護２、３、４、５である場合を対象とします。要介護１、要支援１、２である場合、対象とはなりません。

(3) 父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由が、父と母が離婚調停中のためであり、志願者にとって、都内に転入（在住）する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合

(4) 日本国籍を有する志願者の父母のどちらか一方が都内に志願者と同居できない理由が、海外勤務の継続のためであり、志願者にとって、海外から都内に転入又は都内に在住する一方の保護者と同居した方が身上監護を受けられる場合。ただし、父母の両方が帰国できない場合は、保護者に代わる都内在住の身元引受人がいること、保護者（保護者が父母である場合は、父又は母の一方でよい。）が志願者の入学後１年以内に帰国し、都内に志願者と同居することが必要です。

◆ 応募資格が認められる事例

事例１　中学３年生である志願者は、一家でＡ県に在住しており、要介護５の認定を受けている祖父と同居している。父に都内勤務の命令が出され、Ａ県からの通勤が困難なことから父のみが都内に転居することになった。母は、引き続き、祖父の介護に専念する必要があることから、父及び母は、志願者が父と同居する方が身上監護を受けられると判断し、中学校卒業を機に、志願者は父と都内で同居することとした。

事例２　中学３年生である志願者は、一家でＢ県に在住している。都内に在住する母方の祖母が要介護３の認定を受けたので、母は祖母を介護するため、都内の祖母宅で同居することとした。父は仕事の関係でＢ県に残らなければならないことから、父及び母は、志願者が母と同居する方が身上監護を受けられると判断し、中学校卒業を機に、志願者は母と都内の祖母宅で同居することとした。

事例３　中学３年生である志願者は、一家でＣ県に在住し、祖母と同居している。母が病気療養中でＣ県内の病院に入院している中で、父に都内転勤の命令が出され、Ｃ県からの通勤が困難なことから父のみが先に都内へ転居した。母は令和９年４月１日以降も、Ｃ県内の病院に入院する予定であることから、父及び母は、志願者が父と同居する方が身上監護を受けられると判断し、中学校卒業を機に、志願者は父と都内で同居することとした。母は、病気が回復し次第、都内に転居する予定である。

※　応募資格審査及び応募資格審査に係る提出書類について、詳しくは、９月下旬に発行予定の「令和９年度東京都立高等学校応募資格審査取扱要項」を確認してください。

Q１７　島しょの中学校から、島しょ以外の都立高校（全日制）に応募できますか。

A17　入学日までに、保護者（保護者が父母である場合は父母又は父母のどちらか一方）とともに転居するか、保護者に代わる島しょ以外の都内に在住の身元引受人（成人の親族等）のもとに転居することが確実な場合には、島しょ以外の都立高校に応募することができます。

なお、身元引受人には学生寮等の寮長（寮に常駐しており、保護者の役割を担える者）も含みます。

Q１８　島しょ以外の中学校から、島しょの都立高校（全日制）に応募できますか。

A18　島しょ以外の都内在住の方については、入学日までに、保護者の１人以上とともに島しょに転居するか、保護者に代わる島しょに在住の身元引受人になり得る親族の元に転居することが確実な場合には、島しょの都立高校に応募することができます。都外在住の方については、入学日までに、保護者の１人以上とともに島しょに転居することが確実な場合には、島しょの都立高校に応募することができます。

また、島しょの町村が独自に実施する島外生徒受入選考に合格した場合についても、島しょの都立高校に応募することができます。詳細は４８ページの「９　島外生徒受入選考を活用した島しょの都立高校への進学について」を確認してください。

なお、一部の島しょの町村において、入学前に島しょの学生寮や高校見学ができる中学生対象の島しょ見学会を実施します。募集の詳細は東京都教育委員会ホームページや各町村教育委員会ホームページで公表しています。



Q１９　定時制又は通信制の都立高校に応募するには、どのような条件がありますか。

A１９　定時制に応募するには、まず、中学校を卒業する見込みであるか既に卒業したことが必要です。その上で、都内に住所もしくは勤務先を有し、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有することが確実な方又は入学日までに都内に住所もしくは勤務先を有することが確実で、入学後も引き続き都内に住所もしくは勤務先を有することが確実な方が応募資格を有します。

通信制の応募資格は、上記に該当し、かつ当該都立高校が実施する面接指導（スクーリング）に対応（出席）可能な方となります。詳細は５２ページの「通信制課程の入試（前期選抜・後期選抜）」を確認してください。

Q２０　都立高校に理解してほしい事情を都立高校に説明できると聞きましたが、どのような方法がありますか。

A20　伝えたい事情を「自己申告書」の用紙に記入し、出願時に志願する高校へ提出することで、事情を説明することができます。「自己申告書」の用紙は、東京都教育委員会ホームページからダウンロードできます。また、都立高校等の窓口でも配布します。中学校からの配布を希望する場合は、中学校の先生に相談してください。

自己申告書は、志願者及び保護者が記入し、厳封して、入学願書等の出願書類とともに志願する都立高校に提出することになります。

Q２１　自己ＰＲカードとはどのようなものですか。

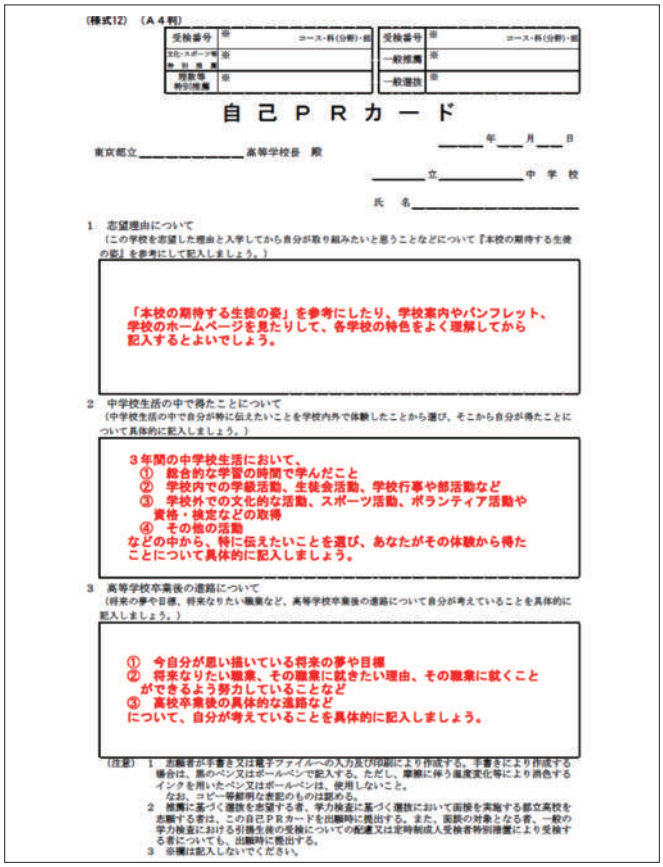
A21　自己ＰＲカードは、志望理由や皆さんが中学校で取り組んできた学習や様々な活動から得たことなど、志望校に最も伝えたいことを記入して提出するものです。

自己ＰＲカードを点数化することはありませんが、面接を行う場合の面接資料や入試の合格判定資料の一部として活用したり、学校生活に対する意欲等を確認したりする資料になります。

面接を実施する高校を志願する場合は、この自己ＰＲカードを出願時に志願する高校へ提出します。

面接を実施しない高校を志願する場合は、提出の必要はありません。




（様式12）（Ａ４判）

自己ＰＲカード

東京都立＿＿＿＿＿＿高等学校長　殿

＿＿＿年＿＿月＿＿日

＿＿＿＿＿立＿＿＿＿＿＿中学校

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　志望理由について
（この学校を志望した理由と入学してから自分が取り組みたいと思うことなどについて『本校の期待する生徒の姿』を参考にして記入しましょう。）

「本校の期待する生徒の姿」を参考にしたり、学校案内やパンフレット、学校のホームページを見たりして、各学校の特色をよく理解してから記入するとよいでしょう。

2　中学校生活の中で得たことについて
（中学校生活の中で自分が特に伝えたいことを学校内外で体験したことから選び、そこから自分が得たことについて具体的に記入しましょう。）

３年間の中学校生活において、
①　総合的な学習の時間で学んだこと
②　学校内での学級活動、生徒会活動、学校行事や部活動など
③　学校外での文化的な活動、スポーツ活動、ボランティア活動や資格・検定などの取得
④　その他の活動
などの中から、特に伝えたいことを選び、あなたがその体験から得たことについて具体的に記入しましょう。

3　高等学校卒業後の進路について
（将来の夢や目標、将来なりたい職業など、高等学校卒業後の進路について自分が考えていることを具体的に記入しましょう。）

①　今自分が思い描いている将来の夢や目標
②　将来なりたい職業、その職業に就きたい理由、その職業に就くことができるよう努力していることなど
③　高校卒業後の具体的な進路など
について、自分が考えていることを具体的に記入しましょう。

（注意）　1　志願者が手書き又は電子ファイルへの入力及び印刷により作成する。手書きにより作成する場合は、黒のペン又はボールペンで記入する。ただし、摩擦に伴う温度変化等により消色するインクを用いたペン又はボールペンは、使用しないこと。
なお、コピー等鮮明な書類のものは認める。
2　推薦に基づく選抜を志望する者、学力検査に基づく選抜において面接を実施する都立高校を志願する者は、この自己ＰＲカードを出願時に提出する。また、面談の対象となる者、一般の学力検査における引揚生徒の受検についての配慮又は定時制成人受検者特別措置により受検する者についても、出願時に提出する。
3　※欄は記入しないでください。

※チャレンジスクールの各学校に出願する場合は、自己ＰＲカードの代わりに、所定の「志願申告書」を提出します。

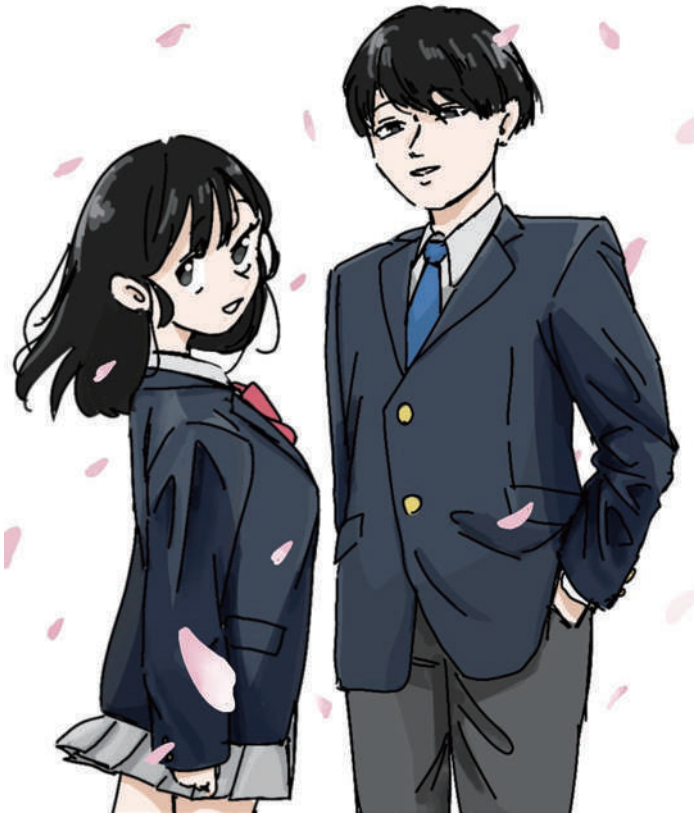
※インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査では、面接を実施する学校があります。

Ｑ２２　合格発表後、学力検査等の得点を知りたい場合や、学力検査における自分自身の答案を見たい場合は、どのようにすればよいですか。

Ａ22　入試における透明性の確保を目的として、「本人得点の開示」及び「学力検査における答案の開示」の制度があります。

　開示請求の受付は、３月から（合格者は５月から）８月末までの期間となります。開示請求書を受検した高校に提出し、本人確認ができるもの（受検票や身分証明書など）を提示することにより、学力検査等の得点が記載された表や学力検査における答案の写しを受け取ることができます（保護者が開示請求する場合は、受検票と保護者の本人確認ができるもの及び受検者と保護者との関係を証明するものの提示が必要です。）。また、窓口での申請に加えて、電子での申請も行えます。

　手続きの方法などについては、１０月下旬に発行予定の「令和９年度東京都立高等学校募集案内」で確認してください。



17 入学考査料及び授業料等について

(1)入学考査料・入学料・授業料

(令和８年４月１日現在)

区　　分	入学考査料	入 学 料	授　　業　　料(注1) (通信制課程は通信教育受講料)		
			年　　額	納入回数	１回の納入額
全日制課程	2,200円	5,650円	118,800円	2回	第１回： 年額の３/１２ 第２回： 年額の９/１２
定時制課程	950円	2,100円	32,400円		
定時制課程 (単位制)	950円	2,100円	１単位当たり1,740円 ×履修単位数		
通信制課程	950円	500円	１単位当たり　336円 ×履修単位数		

(注１)　現在、**高等学校等就学支援金制度**が導入されています。就学支援金制度とは、国籍・在留資格等の要件を満たした世帯について、生徒が申請を行い受給認定された場合に、学校へ就学支援金を支給することで、その生徒の授業料が無料となる制度です。返済の必要はありません。**ただし、支給手続を行わない場合は、授業料をご負担いただくこととなります。**

また、国籍・在留資格等の要件により就学支援金の対象とならない場合についても、保護者等の「区市町村民税の課税標準額×６％－区市町村民税の調整控除の額（※）」が304,200円未満（年収目安約910万円未満）の世帯は高校生等・新修学支援制度、所得要件等により高校生等・新修学支援制度の対象とならない場合には東京都の授業料等減免制度の申請により、授業料が無料となります。

なお、既に高校を卒業したことがある方及び修業年限（全日制３６か月、定時制４８か月）を超えて在学している方については、就学支援金等の対象者とならないため、原則として授業料を徴収します。(授業料の納入回数は２回ですが、分割払いとすることも可能です。)

※　政令指定都市の場合は、調整控除の額に３／４を乗じて計算します。

(注２)　**入学料及び授業料の納入が経済的に困難な家庭については、免除又は２分の１に減額する制度があります。**

(2)奨学のための給付金について

高校では、入学料及び授業料とは別に、学校ごとに決定した修学旅行等積立金、生徒会費等の学校徴収金の徴収があります。

奨学のための給付金は、授業料・通信教育受講料以外の教育に必要な経費（教科書費、教材費、学用品費、通学用品費、教科外活動費、生徒会費等）の負担を軽減するため、高校生等がいる生活保護受給世帯、都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が非課税の世帯、都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が105,500円未満である世帯（非課税世帯を除く。）及び都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が182,500円未満である世帯（非課税世帯及び所得割額105,500円未満である世帯を除く。）を対象に奨学のための給付金の認定を受けた方に給付金を支給する制度です。返済の必要はありません。

世帯区分	課程等	給付額(年額)
生活保護受給世帯	全日制課程	32,300円
	定時制課程	
	通信制課程	
都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が非課税の世帯	全日制課程	143,700円
	定時制課程	
	通信制課程	50,500円
都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が105,500円未満である世帯	全日制課程	47,900円
	定時制課程	
	通信制課程	16,830円
都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が182,500円未満である世帯	全日制課程	35,930円
	定時制課程	
	通信制課程	12,630円

（３）給付型奨学金について

給付型奨学金は、家庭の経済状況にかかわらず、誰もが安心して学び、もてる可能性を最大限伸ばすことができるよう、学習の成果を明らかにする資格試験や学校における勉強合宿・語学合宿等の教育活動にかかる経費等を、保護者の代わりに負担する都独自の現物給付方式の奨学金です。

支給対象者は、都立高校等に在籍する生徒のうち、以下の条件に該当する方です。

世帯区分	給付限度額（上限）
生活保護受給世帯 都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が非課税の世帯 家計急変により都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額が非課税相当となる世帯	50,000円
都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額の合算が182,500円未満の世帯 家計急変により都道府県民税所得割額及び区市町村民税所得割額の合算が182,500円未満相当となる世帯	30,000円

※上記世帯の生徒が申請を行い、受給認定されることにより、生徒が通う学校の教育活動にかかる経費にあてるものとして支給する制度です。返済の必要はありません。**ただし、学校の教育活動に参加しない場合は支給対象となりません。**

具体的な対象経費については学校によって異なりますので、詳細は入学が決定した際に、入学予定の学校に問い合わせてください。

（1）から（３）まで、また、制度全般については、以下に問い合わせてください。
東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課経理担当　　電話　０３（５３２０）７８６２（直通）

◎ 受験生チャレンジ支援貸付事業のご案内

中学３年生等の受験生を養育する一定所得以下の世帯を対象に、学習塾代や受験料に必要な資金を貸し付けることにより、子供たちの進学を支援します。

＜概要＞

1　対象　　中学３年生又はこれに準じる方を養育する一定所得以下の世帯の生計中心者
2　貸付内容　　塾代及び受験料の貸付を行い、**進学（入学）した場合は償還を免除します。**
3　貸付金額等　　塾代　上限 300,000円、　受験料　上限 27,400円
※ 受験料は、都立高校入学考査料のほか、私立高校等の受験料も対象です。
4　貸付利率　　**無利子**
5　申込方法　　お住まいの区市町村の窓口にお問い合わせの上、お申し込みください。

＜貸付要件＞

〇世帯（父母等養育者）の総収入又は合計所得金額が一定の基準以下であること。

（収入基準の一例）※総収入の場合

世帯人数	２人	３人	４人
一般世帯		4,410,000円	5,049,000円
ひとり親世帯	4,057,000円	4,966,000円	5,772,000円



事業キャラクター
「チャレニャン」

〇そのほかにも貸付の要件があります。

〇詳細は専用Webサイト（https://jukenchallenge.jp/）をご確認ください。 ←

本事業の詳細及びお住まいの区市町村の窓口の連絡先については、以下に問い合わせてください。
東京都福祉局生活福祉部地域福祉課生活援助担当　電話　０３（５３２０）４０７２（直通）

18 都立高校への転学・編入学について

都立高校では、高校入学後に将来の目標が変わり、他の高校で勉強したいなどの進路変更希望に対応できるよう、学期ごとに「転学・編入学募集」を行っています。

Ａ高校に入学したけれど、学校の雰囲気や勉強内容が入学前に考えていたものと違ったな。Ｂ高校で勉強するには、退学をして、もう一度入試を受けないといけないのかな？





いいえ、退学はしなくてもＢ高校に転学希望を出せます。都立高校では、学期ごとに「**転学・編入学募集**」を行って生徒を受け入れているので、転学・編入学募集に応募して、学力検査や面接等を受検し、合格すれば、転学（転校）できます。

各高校の定員に空きがある場合に募集を行うほか、学校により、転学希望に対応できるよう、転入学者のための特別枠を設けている場合もあります。

今は普通科のＣ高校に通っているけれど、もっと工業に関する専門的な教科を学びたいからＤ高校の工業科に転学したいな。普通科から工業科の転学・編入学募集に応募できるのかな？





高校１年生の第二学期の募集であれば、

・**異なる学科への応募**（例：普通科から工業科への転学など）**ができます。**

・**また、異なる課程への応募**（例：定時制の高校から全日制の高校への転学など）**も行うことができます。**

高校１年生の第三学期以降の募集では、原則、同じ学科間・同じ課程間での転学になるので、注意が必要です。

転学とは？　編入学とは？

（１）転学

○転学とは、高校（都立に限らず、国公立や私立も含みます。）に在学している生徒が、引き続き他の高校の相当学年に入学することをいいます。

○高校に入学後、何らかの事情により転学を希望する生徒のために、都立高校では、転学の機会として学期ごとに転学・編入学募集を実施しています。ただし、全日制の都立高校に在学している生徒がやむを得ない事情により他の全日制の都立高校の転学・編入学募集に出願を希望する場合は、１年度に１回を原則として、在学している都立高校長及び志願先の都立高校長の承認を得た上で出願することができます。

【第１学年の第二学期】・・・・・在籍している課程・学科とは異なる課程・異なる学科への出願が可能です。

【第１学年の第三学期以降】・・・原則、在籍している課程・学科と同じ課程・同じ学科への出願となります。ただし、転学後、卒業に必要な単位の履修及び修得が可能であると志願先の都立高校長が認める場合には、異なる課程・学科へも出願することができます。

（２）編入学

○編入学とは、種類の異なる学校からの入学や、外国からの帰国者などが第１学年当初の入学時以外の時期に高校に入学することです。また、高校に入学後、第１学年以上の課程を修了し、一度退学した後に改めて高校に入学する場合も編入学となります。ただし、専修学校や各種学校から高校への編入学は、原則としてできません。

○都立高校では、編入学を希望する方のために、第２・３学年の第一学期の募集に限り、編入学の機会を設けています。編入学の扱いでの募集は第一学期のみですが、海外帰国生徒対象の応募資格に該当する生徒や、外国における連続した在住期間が１年以上で海外から帰国した日本国籍を有する生徒等については、帰国後の直近の募集に限り、第二学期又は第三学期の募集においても、転学に準じて出願することができます。

転学・編入学を考えたら、まずは相談してみましょう！

○高校入学後、将来の目標が変わり、他の高校で勉強したいなど、進路変更に悩んだら、早めに在学している高校の先生に相談しましょう。

○また、本冊子の裏表紙に記載してある都立高校入試相談コーナー又は東京都教育相談センターでも、転学・編入学募集に関する相談を受け付けています。

出願する前に、単位の照合が必要です！

○転学・編入学募集に出願をする場合には、事前に、志願先の都立高校へ連絡し、「単位の照合」を行う必要があります。

○「単位の照合」とは、志願先の都立高校において、転学前に修得済みの単位と自校の教育課程などを照合し、転学後に卒業に必要な単位が修得できるかどうかの確認をすることです。

○転学後、卒業に必要な単位の履修及び修得が可能であると志願先の都立高校長が認める場合は、その学校の転学・編入学募集に出願することができます（単位の照合の結果、出願できない場合もあります。）。転学・編入学募集はどの高校にでも出願できるわけではありません。

○この単位の照合は、転学・編入学募集の出願前に行わなければならないことから、早めに志願先の都立高校へ照合を依頼しましょう。

過去に実施した転学・編入学募集の検査問題を学校選びの参考にしたい場合には・・・

○転学・編入学募集の検査は、各都立高校が独自に作成した問題により行います。

○学校選びの参考として、過去に実施した転学・編入学募集の検査問題を確認したい場合は、志願先の都立高校に問い合わせてください。
なお、過去の転学・編入学募集において検査を実施しなかった場合などは、検査問題がない場合もあります。

○各都立高校が、過去のどの時期に転学・編入学募集の検査を実施したのかは、東京都教育委員会のホームページで確認することができます。

転学・編入学募集の実施日程や実施結果を公表しています！

○都立高校の転学・編入学募集は、年に3回、学期ごとに実施しています。大まかな日程等については下の表のとおりです。

	第一学期募集 （転学及び編入学）	第二学期募集 （転学のみ）※1、2	第三学期募集 （転学のみ）※2
募集状況の発表	2月中旬	6月下旬	11月上旬
入学願書の受付	3月中旬	8月上旬	12月上旬
検査日	3月中旬	8月上旬	12月上旬
入学の時期	学年の初め	第二学期の初め	第三学期の初め

※1　海外帰国生徒対象の第二学期転学・編入学募集では、募集状況の発表を5月下旬、入学願書の受付及び検査を7月上旬に行います。

※2　日本国籍を有する生徒が海外から帰国する場合、条件を満たせば編入学募集に出願することが可能です。

○募集する高校、募集人員など、詳しい情報については、各学期の募集ごとに事前に発表し、東京都教育委員会のホームページに掲載しています。また、転学・編入学募集の実施結果（応募人員や合格人員など）についても、東京都教育委員会のホームページで公表しています。

19 都立高等学校一覧

令和９年度入試で募集を行う予定の学校を掲載しています。
なお、令和９年度入試の募集校等については、令和８年１０月頃に正式に発表する予定です。
◎印の高校は、昼夜間定時制で、昼間からも学べる定時制高校です。

【全日制課程・定時制課程】

高校名	全日制		定時制		所在地	電話
	学科等	コース名又は科名	学科	科名		
◎ 一橋			普通	(単位制1～3部)	千代田区東神田1-12-13	03(3862)6061
日比谷	普通				千代田区永田町2-16-1	03(3581)0808
晴海総合	総合	(単位制)			中央区晴海1-2-1	03(3531)5021
三田	普通				港区三田1-4-46	03(3453)1991
芝商業	商業	ビジネス			港区海岸1-8-25	03(3431)0760
◎ 六本木			総合	(単位制1～3部)	港区六本木6-16-36	03(5411)7327
新宿	普通	(単位制)			新宿区内藤町11-4	03(3354)7411
◎ 新宿山吹			普通	(単位制1～4部)	新宿区山吹町81	03(5261)9771
			情報	(単位制2部・4部)		
戸山	普通				新宿区戸山3-19-1	03(3202)4301
総合芸術	芸術	音楽　美術　舞台表現(単位制)			新宿区富久町22-1	03(3354)5288
竹早	普通				文京区小石川4-2-1	03(3811)6961
向丘	普通				文京区向丘1-11-18	03(3811)2022
工芸	工業	マシンクラフト	工業	マシンクラフト	文京区本郷1-3-9	03(3814)8755
		アートクラフト		アートクラフト		
		インテリア　デザイン		インテリア		
		グラフィックアーツ		グラフィックアーツ		
◎ 浅草			普通	(単位制1～3部)	台東区今戸1-8-13	03(3874)3182
上野	普通				台東区上野公園10-14	03(3821)3706
忍岡	普通	(単位制)			台東区浅草橋5-1-24	03(3863)3131
	家庭	生活科学(単位制)				
蔵前工科	工業	機械　電気　建築　設備工業			台東区蔵前1-3-57	03(3862)4488
墨田川	普通	(単位制)			墨田区東向島3-34-14	03(3611)2125
日本橋	普通				墨田区八広1-28-21	03(3617)1811
本所	普通				墨田区向島3-37-25	03(3622)0344
橘	産業	産業	産業	産業	墨田区立花4-29-7	03(3617)8311
城東	普通				江東区大島3-22-1	03(3637)3561
東	普通				江東区東砂7-19-24	03(3644)7176
深川	普通				江東区東陽5-32-19	03(3649)2101
	コース	外国語				
科学技術	科学技術	科学技術			江東区大島1-2-31	03(5609)0227
	理数	創造理数				
墨田工科	工業	機械　自動車　電気　建築	工業	総合技術	江東区森下5-1-7	03(3631)4928
江東商業	商業	ビジネス			江東区亀戸4-50-1	03(3685)1711
第三商業	商業	ビジネス	商業	商業	江東区越中島3-3-1	03(3641)0380
◎ 大江戸			総合	(単位制1～3部)	江東区千石3-2-11	03(5606)9500
大崎	普通		普通		品川区豊町2-1-7	03(3786)3355
小山台	普通				品川区小山3-3-32	03(3714)8155
八潮	普通				品川区東品川3-27-22	03(3471)7384
駒場	普通				目黒区大橋2-18-1	03(3466)2481
	体育	保健体育				
目黒	普通				目黒区祐天寺2-7-15	03(3792)5541
国際	国際	国際			目黒区駒場2-19-59	03(3468)6811
大森	普通		普通		大田区西蒲田2-2-1	03(3753)3161
蒲田	普通				大田区蒲田本町1-1-30	03(3737)1331
田園調布	普通				大田区田園調布南27-1	03(3750)4346
美原	普通	(単位制)			大田区大森東1-33-1	03(3764)3883
雪谷	普通				大田区久が原1-14-1	03(3753)0115

高校名	全日制		定時制		所在地	電話
	学科等	コース名又は科名	学科	科名		
六郷工科	工業	ものづくり工学	普通	(単位制)	大田区東六郷2-18-2	03(3737)6565
			工業	生産工学(単位制)		
大田桜台	商業	ビジネスコミュニケーション			大田区中馬込3-11-10	03(6303)7980
つばさ総合	総合	(単位制)			大田区本羽田3-11-5	03(5737)0151
桜町	普通				世田谷区用賀2-4-1	03(3700)4330
千歳丘	普通				世田谷区船橋3-18-1	03(3429)7271
深沢	普通	(単位制)			世田谷区深沢7-3-14	03(3702)4145
松原	普通		普通		世田谷区桜上水4-3-5	03(3303)5381
芦花	普通	(単位制)			世田谷区粕谷3-8-1	03(5315)3322
園芸	農業	園芸　食品　動物	農業	園芸	世田谷区深沢5-38-1	03(3705)2154
総合工科	工業	機械・自動車	工業	総合技術	世田谷区成城9-25-1	03(3483)0204
		電気・情報デザイン				
		建築・都市工学				
◎ 世田谷泉			総合	(単位制1～3部)	世田谷区北烏山9-22-1	03(3300)6131
世田谷総合	総合	(単位制)			世田谷区岡本2-9-1	03(3700)4771
青山	普通				渋谷区神宮前2-1-8	03(3404)7801
広尾	普通				渋谷区東4-14-14	03(3400)1761
第一商業	商業	ビジネス			渋谷区鉢山町8-1	03(3463)2606
鷺宮	普通				中野区若宮3-46-8	03(3330)0101
武蔵丘	普通				中野区上鷺宮2-14-1	03(3999)9308
中野工科	工業	食品サイエンス	工業	総合技術	中野区野方3-5-5	03(3385)7445
◎ 稔ヶ丘			総合	(単位制1～3部)	中野区上鷺宮5-11-1	03(3970)8655
◎ 荻窪			普通	(単位制1～3部)	杉並区荻窪5-7-20	03(3392)6436
杉並	普通				杉並区成田西4-15-15	03(3391)6530
豊多摩	普通				杉並区成田西2-6-18	03(3393)1331
西	普通				杉並区宮前4-21-32	03(3333)7771
農芸	農業	園芸科学　食品科学	農業	農芸	杉並区今川3-25-1	03(3399)0191
		緑地環境				
杉並工科	工業	IT・環境			杉並区上井草4-13-31	03(3394)2471
杉並総合	総合	(単位制)			杉並区下高井戸5-17-1	03(3303)1003
豊島	普通		普通		豊島区千早4-9-21	03(3958)0121
文京	普通				豊島区西巣鴨1-1-5	03(3910)8231
千早	商業	ビジネスコミュニケーション			豊島区千早3-46-21	03(5964)1721
飛鳥	普通	(単位制)	普通	(単位制)	北区王子6-8-8	03(3913)5071
赤羽北桜	家庭	保育・栄養　調理			北区西が丘3-14-20	03(5948)4390
	福祉	介護福祉				
王子総合	総合	(単位制)			北区滝野川3-54-7	03(3576)0602
◎ 桐ヶ丘			総合	(単位制1～3部)	北区赤羽北3-5-22	03(3906)2173
竹台	普通				荒川区東日暮里5-14-1	03(3891)1515
荒川工科	工業	電気　電子　情報技術	工業	電気・電子	荒川区南千住6-42-1	03(3802)1178
板橋	普通				板橋区大谷口1-54-1	03(3973)3150
板橋有徳	普通	(単位制)	普通	(単位制)	板橋区徳丸2-17-1	03(3937)6911
大山	普通				板橋区小茂根5-18-1	03(3958)2121
北園	普通				板橋区板橋4-14-1	03(3962)7885
高島	普通				板橋区高島平3-7-1	03(3938)3125
北豊島工科	工業	都市防災技術			板橋区富士見町28-1	03(3963)4331
井草	普通				練馬区上石神井2-2-43	03(3920)0319
大泉桜	普通	(単位制)			練馬区大泉町3-5-7	03(3978)1180
石神井	普通				練馬区関町北4-32-48	03(3929)0831
田柄	普通				練馬区光が丘2-3-1	03(3977)2555
練馬	普通				練馬区春日町4-28-25	03(3990)8643
光丘	普通				練馬区旭町2-1-35	03(3977)1501
練馬工科	工業	キャリア技術			練馬区早宮2-9-18	03(3932)9251
第四商業	商業	ビジネス			練馬区貫井3-45-19	03(3990)4221
青井	普通				足立区青井1-7-35	03(3848)2781
足立	普通		普通		足立区中央本町1-3-9	03(3889)2204
			商業	商業		
足立新田	普通				足立区新田2-10-16	03(3914)4211
足立西	普通				足立区江北5-7-1	03(3898)7020

高校名	全日制		定時制		所在地	電話
	学科等	コース名又は科名	学科	科名		
足立東	普通				足立区大谷田2-3-5	03(3620)5991
江北	普通				足立区西綾瀬4-14-30	03(3880)3411
淵江	普通				足立区東保木間2-10-1	03(3885)6971
足立工科	工業	総合技術			足立区西新井4-30-1	03(3899)1196
◎ 小台橋			総合	(単位制1～3部)	足立区小台2-1-31	03(3913)1111
葛飾野	普通				葛飾区亀有1-7-1	03(3602)7131
南葛飾	普通		普通		葛飾区立石6-4-1	03(3691)8476
農産	農業	園芸デザイン　食品	農業	農産	葛飾区西亀有1-28-1	03(3602)2865
本所工科			工業	総合技術	葛飾区南水元4-21-1	03(3607)4500
葛飾商業	商業	ビジネス			葛飾区新宿3-14-1	03(3607)5178
葛飾総合	総合	(単位制)			葛飾区南水元4-21-1	03(3607)3878
江戸川	普通		普通		江戸川区松島2-38-1	03(3651)0297
葛西南	普通		普通		江戸川区南葛西1-11-1	03(3687)4491
小岩	普通				江戸川区本一色3-10-1	03(3651)2250
小松川	普通				江戸川区平井1-27-10	03(3685)1010
篠崎	普通				江戸川区東篠崎1-10-1	03(3678)9331
紅葉川	普通				江戸川区臨海町2-1-1	03(3878)3021
葛西工科	工業	機械　電子　建築			江戸川区一之江7-68-1	03(3653)4111
		デュアルシステム				
片倉	普通				八王子市片倉町1643	042(635)3621
	コース	造形美術				
翔陽	普通	(単位制)			八王子市館町1097-136	042(663)3318
八王子北	普通				八王子市楢原町601	042(626)3787
◎ 八王子拓真			普通	一般枠(単位制1～3部)	八王子市台町3-25-1	042(622)7563
				チャレンジ枠(単位制1･2部)		
八王子東	普通				八王子市高倉町68-1	042(644)6996
富士森	普通				八王子市長房町420-2	042(661)0444
松が谷	普通				八王子市松が谷1772	042(676)1231
	コース	外国語				
八王子桑志	産業	デザイン分野　クラフト分野			八王子市千人町4-8-1	042(663)5970
		システム情報分野				
		ビジネス情報分野				
◎ 砂川			普通	(単位制1～3部)	立川市泉町935-4	042(537)4611
立川	普通				立川市錦町2-13-5	042(524)8195
	理数	創造理数				
◎ 立川緑			総合	(単位制1～3部)	立川市錦町6-3-1	042(529)3080
武蔵野北	普通				武蔵野市八幡町2-3-10	0422(55)2071
多摩	普通				青梅市裏宿町580	0428(23)2151
青梅総合	総合	(単位制)	総合	(単位制)	青梅市勝沼1-60-1	0428(22)7604
府中	普通				府中市栄町3-3-1	042(364)8411
府中西	普通				府中市日新町4-6-7	042(365)5933
府中東	普通				府中市押立町4-21	042(365)7611
農業	農業	都市園芸　食品科学	普通		府中市寿町1-10-2	042(362)2211
		緑地計画	農業	食品化学		
	家庭	服飾　食物				
府中工科	工業	機械　工業技術　情報技術			府中市若松町2-19	042(362)7237
		電気				
昭和	普通				昭島市東町2-3-21	042(541)0222
拝島	普通				昭島市拝島町4-13-1	042(543)1772
神代	普通		普通		調布市若葉町1-46-1	03(3300)8261
調布北	普通				調布市深大寺北町5-39-1	042(487)1860
調布南	普通				調布市多摩川6-2-1	042(483)0765
小川	普通				町田市小川2-1002-1	042(796)9301
成瀬	普通				町田市成瀬7-4-1	042(725)1533
野津田	普通				町田市野津田町2001	042(734)2311
	福祉	福祉				
	体育	体育				
町田	普通		普通		町田市中町4-25-3	042(722)2201
山崎	普通				町田市山崎町1453-1	042(792)2891

高校名	全日制		定時制		所在地	電話
	学科等	コース名又は科名	学科	科名		
町田工科	工業	総合情報			町田市忠生1-20-2	042(791)1035
町田総合	総合	(単位制)			町田市木曽西3-5-1	042(791)7980
小金井北	普通				小金井市緑町4-1-1	042(385)2611
小金井工科			工業	機械　電気・電子	小金井市本町6-8-9	042(381)4141
多摩科学技術	科学技術	科学技術			小金井市本町6-8-9	042(381)4164
小平	普通				小平市仲町112	042(341)5410
	コース	外国語				
小平西	普通				小平市小川町1-502-95	042(345)1411
小平南	普通				小平市上水本町6-21-1	042(325)9331
日野	普通				日野市石田1-190-1	042(581)7123
日野台	普通				日野市大坂上4-16-1	042(582)2511
南平	普通				日野市南平8-2-3	042(593)5121
東村山	普通				東村山市恩多町4-26-1	042(392)1235
東村山西	普通				東村山市富士見町5-4-41	042(395)9121
国分寺	普通	(単位制)			国分寺市新町3-2-5	042(323)3371
国立	普通				国立市東4-25-1	042(575)0126
第五商業	商業	ビジネス	商業	商業	国立市中3-4	042(572)0132
福生	普通		普通		福生市北田園2-11-3	042(552)5601
多摩工科	工業	機械　電気　環境化学			福生市熊川215	042(551)3435
		デュアルシステム				
狛江	普通				狛江市元和泉3-9-1	03(3489)2241
東大和	普通				東大和市中央3-945	042(563)1741
東大和南	普通				東大和市桜が丘3-44-8	042(565)7117
清瀬	普通				清瀬市松山3-1-56	042(492)3500
久留米西	普通				東久留米市野火止2-1-44	042(474)2661
東久留米総合	総合	(単位制)	総合	(単位制)	東久留米市幸町5-8-46	042(471)2510
上水	普通	(単位制)			武蔵村山市大南4-62-1	042(590)4580
武蔵村山	普通				武蔵村山市中原1-7-1	042(560)1271
永山	普通				多摩市永山5-22	042(374)9891
若葉総合	総合	(単位制)			稲城市坂浜1434-3	042(350)0300
羽村	普通				羽村市羽4152-1	042(555)6631
秋留台	普通				あきる野市平沢153-4	042(559)6821
五日市	普通		普通		あきる野市五日市894	042(596)0176
田無	普通				西東京市向台町5-4-34	042(463)8511
保谷	普通				西東京市住吉町5-8-23	042(422)3223
田無工科	工業	機械　建築　都市工学			西東京市向台町1-9-1	042(464)2225
瑞穂農芸	農業	園芸科学　畜産科学　食品	併合	普通・農業	西多摩郡瑞穂町石畑2027	042(557)0142
	家庭	生活デザイン				
大島	普通		普通		大島町元町字八重の水127	04992(2)1431
	併合	農林・家政				
大島海洋国際	水産	海洋国際			大島町差木地字下原996	04992(4)0385
新島	普通				新島村本村4-10-1	04992(5)0091
神津	普通				神津島村1620	04992(8)0706
三宅	普通				三宅村坪田4586	04994(6)1136
	併合	農業・家政				
八丈	普通		普通		八丈町大賀郷3020	04996(2)1181
	併合	園芸・家政				
小笠原	普通				小笠原村父島字清瀬	04998(2)2346

【通信制課程】

高校名	学科	所在地	電話
一橋	普通	千代田区東神田1-12-13	03(3862)6061
新宿山吹	普通	新宿区山吹町81	03(5261)9771
砂川	普通	立川市泉町935-4	042(537)4611

都立高等学校等の配置図

※令和９年度入試で募集を行う予定の学校



（令和８年度）

を掲載しています。



【凡例（記号一覧）】
- ● 普通科
- ◉ 普通科（単位制）
- ■ 農業科
- ▲ 工業科
- ▶ 工業科（科学技術科）
- ◆ 商業科（ビジネス科）
- ❖ 商業科（ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ科）
- ▙ 産業科
- ◀ 水産科
- ☆ 家庭科
- ◐ 国際科
- ★ 芸術科
- ◎ 総合学科
- ▼ 高等専門学校
- ● 夜間定時制
- ◉ 昼夜間定時制
- ◉ 昼夜間定時制（ﾁｬﾚﾝｼﾞｽｸｰﾙ）
- ○ 通信制

※を付している学校には、凡例による学科のほかに以下の学科等を併置しています。

学校名	併置している学科等
深川高校、松が谷高校、小平高校	外国語コース（普通科）
片倉高校	造形美術コース（普通科）
駒場高校	体育科
野津田高校	体育科、福祉科
立川高校、科学技術高校	創造理数科
赤羽北桜高校	福祉科
新宿山吹高校	情報科
忍岡高校、瑞穂農芸高校、農業高校	家庭科
大島高校、三宅高校、八丈高校	併合科

凡　例
- 都県界
- 特別区・市・町・村界
- JR線
- その他鉄道

20 受検上の配慮について

都立高校の入試では、一般の学力検査において、日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮を行っています。

また、障害のある志願者が受検する場合、学力検査や小論文（作文）、面接等において、検査方法、検査時間及び検査会場等について、受検上の配慮を申請することが可能です。

日本語指導を必要とする生徒等に対する配慮

○国籍を問わず、入国後の在日期間に応じて、日本語指導を必要とする生徒等に対する学力検査実施上の配慮を行います。

○日本に入国後６年以内で、配慮を希望する志願者に対し、第一次募集・分割前期募集及び分割後期募集・第二次募集における学力検査問題の共通問題について、ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査を実施します。

○上記に加えて、日本に入国後３年以内で、配慮を希望する志願者に対しては、希望する外国語について、日本語に対する当該外国語の訳が記載されている辞書１冊、当該外国語に対する日本語の訳が記載されている辞書１冊の合計２冊（例：日中辞典と中日辞典）の持込みと検査時間の延長（10分）の配慮があります。

○所定の申請書により、出願時に志願する都立高校長へ申請します。

障害のある受検者に対する配慮

○障害のある志願者が受検する場合、学力検査、小論文（作文）、面接等において、検査方法、検査時間及び検査会場等について受検上の配慮を申請することが可能です。

○実際に行う配慮の内容は、在学する中学校等で受検者が現在受けている配慮の内容を十分参考にしながら、受検者の状況に応じ、個別に決定します。なお、障害のある受検者に対する配慮として、以下のような事例があります。

○所定の申請書により、志願先の都立高校長へ事前に申請します。申請は、在学する中学校を通して行いますので、中学校の先生に確認してください（現在中学校に在学していない場合は、志願先の都立高校に申請します。詳しくは、志願先の都立高校に問い合わせてください。）。

○都立高校への申請時期は、例年、１２月中旬頃となっています（令和８年度入学者選抜では、令和７年１２月１９日までに提出としていました。）。

【受検上の配慮の例】

障害等の内容	受検上の配慮（例）
視覚関係	・問題用紙・解答用紙の拡大 ・拡大鏡等の持込み
聴覚関係	・補聴器の持込み ・英語リスニングテストでの座席の配慮（スピーカーの近くなど） ・面接等における筆談（メモ、ホワイトボードの使用など）
発達障害	・別室受検 ・検査時間の延長 ・問題用紙・解答用紙へのルビ振り ・ＩＣＴ機器の使用 ・記号選択式での受検
肢体不自由	・介助者の同行 ・家族による送迎 ・車いすの使用 ・エレベーターの使用
その他、疾病、怪我などに関するもの	・医療用器具（インスリン注射、吸入器等）の持込み（糖尿病、喘息等） ・飴、チョコレートなどの補食品の持込み（糖尿病、低血糖等） ・松葉杖（骨折） ・タオル、ハンカチの持込み、手袋の着用（多汗症）　　等

【参考】入学後の合理的配慮について

障害のある生徒等が都立高校に入学する場合、聴覚障害用のデジタル機器や車椅子用の昇降式机等の備品整備、スロープ新設工事や手すり取付工事等の実施など、必要に応じて生徒等の障害に合わせた対応を行っています。

また、学校生活における様々な場面で支援を行うため、障害のある生徒等に対しては介助職員を配置するとともに、医療的ケアを必要とする生徒に対しては看護師を配置するなど、学校生活を安心して送るために必要な支援を実施しています。

【参考】都立特別支援学校高等部の入学相談及び入学者選考について

都立特別支援学校高等部の入学相談及び入学者選考の日程は次のとおりです。

◎都立特別支援学校高等部普通科の入学相談

視覚障害：令和９年１月２７日（水）
聴覚障害：令和９年１月２８日（木）
肢体不自由：令和９年１月２７日（水）
知的障害：令和９年２月　２日（火）
（分教室）：令和９年２月　３日（水）
病　　弱：令和９年１月２７日（水）・１月２８日（木）のいずれかの日

◎都立中高一貫型聴覚障害特別支援学校高等部普通科の入学者選考

前　　期：令和８年１２月　４日（金）
後　　期：令和９年　１月２８日（木）

◎都立知的障害特別支援学校高等部就業技術科及び職能開発科の入学者選考

就業技術科：令和８年１１月１４日（土）（適性検査・面接）
職能開発科：令和８年１１月１４日（土）（適性検査）
　　１２月　５日（土）（面接）

都立特別支援学校高等部の入学相談及び入学者選考に関することは、以下に問い合わせてください。
東京都特別支援教育推進室　電話　０３（５２２８）３４３３（直通）

【参考】東京都立産業技術高等専門学校について

東京都立産業技術高等専門学校（以下「都立高専」といいます。）は、卒業までの５年間で、工業に関する専門的な知識の修得とともに、実践や体験を重視したものづくり教育を行う学校です。東京都公立大学法人のもとで、東京都立大学及び東京都立産業技術大学院大学との一体的な管理・運営が行われています。

低学年で、基礎学力を身に付けるため一般科目を多く学び、高学年になると、より高度な専門知識を修得するために機械、電気、情報などの専門科目を多く学びます。更に都立高専の教育の特長として、実験や実習などの体験的学習の時間が豊富に用意されており、実践的な能力を身に付けることができます。

また、都立高専では東京都の課題解決に貢献する中核的技術者の育成を目指し、情報セキュリティ及び航空の２つの技術者育成プログラムの開設や、医工連携教育・研究プロジェクトの実施をしています。

卒業年度（５年生）には、１年間をかけて「卒業研究」を行い、卒業する時に「準学士」と称することができます。

卒業後の進路としては、就職のほか、大学３、４年次に相当する２年間の専攻科へ進学し、学士の学位を取得することや、国公私立の大学３年次への編入学も可能です。

【ものづくり工学科（８コース）】

高専品川キャンパス：機械システム工学コース・ＡＩスマート工学コース・電気電子エネルギー工学コース・情報システム工学コース
高専荒川キャンパス：情報通信工学コース・ロボット工学コース・航空宇宙工学コース・医療福祉工学コース

１　入試日程

（１）推薦に基づく入試

出願受付期間	令和９年１月８日（金）～１８日（月）
検　　査	令和９年１月２７日（水）
合 格 発 表	令和９年２月２日（火）

（２）学力検査に基づく入試

出願受付期間	令和９年１月２９日（金）～２月４日（木）
検　　査	令和９年２月１５日（月）
合 格 発 表	令和９年２月１９日（金）

※インターネットを活用した出願に係る出願受付期間等については、別途定めます。

２　入学考査料・入学料・授業料

（令和８年４月１日現在）

入学考査料	入　学　料	授　業　料		
		年額	納入回数	１回の納入額
12,600円	42,300円（東京都の住民） 84,600円（東京都の住民以外）	234,600円	４回	年額の１／４

※東京都立産業技術高等専門学校は、東京都の住民以外の方も受検することができます。
※入学料の改定があった場合には、改定後の入学料が適用されます。
※在学中に授業料の改定があった場合には、改定後の授業料の年額が適用されます。
※所定の要件を満たす場合、授業料減額・免除制度の申請が可能です。

３　入試等についての問合せ先及び各キャンパス所在地

東京都立産業技術高等専門学校ウェブサイト　https://www.metro-cit.ac.jp
高専品川キャンパス：品川区東大井1−10−40　　電話　03（3471）6331（代表）
高専荒川キャンパス：荒川区南千住8−17−1　　電話　03（3801）0145（代表）

「令和９年度東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」

令和８年７月発行
東京都教育委員会印刷物登録
令和８年度　第４号

編集・発行　東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
電話　03（5320）6745

印刷・製本　株式会社 アイネット

都立高等学校等への入学に関することは、中学校の先生又は以下に問い合わせてください。

○ 都立高校入試相談コーナー

〒163-8001　東京都新宿区西新宿2−8−1　都庁第二本庁舎15階
電話　03 (5320) 6755 (直通)
問い合わせ時間　月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）　午前9時から午後5時まで

※電話相談のほかに、来庁相談も行っています。予約は不要です。
相談時間　月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）　午前9時から午後5時まで

○東京都教育相談センター　高校進級・進路・入学相談

〒169-0074　東京都新宿区北新宿4−6−1　東京都子供家庭総合センター 4階
電話　03 (3360) 4175 (直通)
問い合わせ時間　月曜日から土曜日まで　午前9時から午後5時まで
（祝日・年末年始を除く。）

※電話相談のほかに、事前の予約による来所相談も行っています。
相談時間　月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）　午前９時から午後５時まで
土曜日（年間24回）　午前９時から午後５時まで
なお、LoGoフォームによる来所予約及びメール相談は、24時間受付しています。

都立特別支援学校高等部への入学に関することは、中学校の先生又は以下に問い合わせてください。

○東京都特別支援教育推進室

〒162-0817　東京都新宿区赤城元町1−3　教育庁神楽坂庁舎
電話　03 (5228) 3433 (直通)
問い合わせ時間　月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）　午前9時から午後5時まで

都立産業技術高等専門学校への入学に関することは、中学校の先生又は以下に問い合わせてください。

○東京都公立大学法人　東京都立産業技術高等専門学校（高専品川キャンパス）

〒140-0011　東京都品川区東大井1−10−40
電話　03 (3471) 6331 (代表)

○東京都公立大学法人　東京都立産業技術高等専門学校（高専荒川キャンパス）

〒116-8523　東京都荒川区南千住8−17−1
電話　03 (3801) 0145 (代表)

＊各学校の詳細については、直接該当の学校にお尋ねください。

東京都教育委員会のホームページ（https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/）

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。